

NetSupport Manager

Mac - Version 12.00



マニュアルの著作権 ©2017 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。

この文書に書かれている情報は、予告なく変更されることがあります。株式会社ピー・ シー・アイ・パシフィック(以下、当社という)は、この文書を改訂したり随時内容を変更 する権利を持ち、そうした改訂や変更をお客様に通知する責務を負いません。

この文書に記述されているソフトウェアは、国際著作権条約で保護されており、ライセンス契約の下に提供されます。このソフトウェアはライセンス契約書に記載されている方法でのみ使用でき、バックアップを目的とする場合に限ってコピーを作成できます。

どのような暗黙的な保証(商業的あるいは特定の目的に適合することの保証を含む) も、

ライセンス契約書に明示的に記載されている保証条項に制限されます。

プログラムの著作権 ©1991 - 2017 NetSupport Ltd. 無断転載を禁ず。

商標について

NetSupport は、NetSupport Ltd.社の登録商標です。

その他の製品名、商標、登録商標は、それらを所有する各社に帰属します。

ソフトウェアライセンス使用許諾

NetSupport ソフトウェアを使用する前に本契約をお読みください。これは、お客様と NetSupport Ltd との 間で締結される法的な契約です。本ライセンス契約の条項に同意されない場合は、本ソフトウェアを起動、アク ティブ化または使用することはできません。

期間: 下記の解除条項における解除をしない限り、本ライセンスは永続的なものとします。

ライセンス許諾:該当するライセンス料の支払い、本契約の条項および条件によるお客様の順守を条件に、 NetSupport Ltd は、ここにお客様が取得したソフトウェアの指定されたバージョンを使用する通常実施権、 譲渡禁止の権利を許諾します。

使用: 本ソフトウェアは、該当する注文確認、製品請求書、ライセンス証明書または製品パッケージに指定さ れた数量の使用条件に基づきライセンスされています。条件で指定された数だけデバイスにソフトウェアの追 加を作成、インストールそして使用することができます。お客様は、本ソフトウェアがインストールされたデバイ ス数がお客様の取得したライセンス数を超えないための合理的なメカニズムを設ける必要があります。

サーバでの使用: 該当する注文確認、製品請求書、製品パッケージまたはライセンス証明書が定めた範囲 内において、お客様はデバイスやマルチユーザーまたはネットワーク環境(「サーバでの使用」という)内のサ ーバ上のソフトウェアを使用することができます。そのようなデバイスまたは座席がソフトウェアに同時に接続 している、または実際に使用するときに関係なく、ソフトウェアに随時接続する各デバイスまたは「座席」には個 別のライセンスが必要になります。接続して直接または同時(例えば「マルチプレキシング」または「プーリン グ」ソフトウェアまたはハードウェア)にソフトウェアを使用するデバイスや座席数を減少させるソフトウェアまた はハードウェアの使用は必要なライセンス数を減らすことはありません。具体的には、マルチプレキシングまた はプーリングのソフトウェアまたはハードウェア(「フロントエンド」)に対し個別の接続数と同じ数のライセンス数 を所持する必要があります。ソフトウェアに接続できるデバイスまたは座席数が取得したライセンス数を超える 場合、お客様はソフトウェアの使用が取得したライセンスに指定された使用限度を超えないための合理的なメ カニズムを設ける必要があります。

著作権: 本ソフトウェアは、国際著作権法により保護されています。お客様はバックアップの目的以外にそれ を複製することはできません。本ソフトウェアは、お客様に使用を許可したものであり、お客様に販売されたも のではありません。

制限事項: すべてのコピーを保持しないことを条件に、オリジナルのコピーを販売または無償で譲渡する場合 を除き、お客様ならびに販売店は、本ライセンスを賃貸、リース、販売、または本ソフトウェアを使用する権利を 第三者に譲渡することはできません。NetSupport Ltd の書面による事前の承諾がある場合を除き、ソフトウ ェアを変更、逆アセンブルまたはリバースエンジニアリングすることはできません。

限定保証: NetSupport Ltd は、購入日から 90 日の期間に対しソフトウェアが付属のマニュアルに従って 実質的に動作することを保証します。NetSupport の全責任およびお客様の救済手段は、a)欠陥のあるソフ トウェアの交換、または b)支払った価格の返金のいずれかとする。本救済手段は NetSupport の判断、許 可された発行元からの購入証明書を条件とします。

特定の目的に対する品質または適合性のいかなる保証を含むすべての黙示的な保証は、明示的な保証の条件に制限されています。いかなる場合においても、NetSupport Ltd は、これらの保証の不履行、またはその ような損害の可能性について助言されているにも関わらずソフトウェアの使用に起因するあらゆる種類の利益、 データまたは情報の損失、または特別な、偶発的、必然的、間接的またはその他の同様の損害について責任 を負いません。一部の国では、偶発的または間接的な損害の制限または免責を許可しないため、上記の制限 または免責がお客様に適用されない場合もあります。本保証は、お客様の法的権利には影響しません。そし て国ごとに異なるその他の権利が認められる場合があります。いかなる場合においても、NetSupport の最 大の責任はエンドユーザー/ライセンシーが支払った価格を上限とします。

契約の解除:お客様は、いつでもプログラムと付属の書類そしてすべての形式のコピーを破棄することにより 本ライセンスおよび本契約書を解除することができます。 お客様が本ライセンスのいずれかの条項の重大な違反を犯した場合、(改善される違反の場合) NetSupport Ltd からの書面による要求の受領後 30 日以内にこれを怠った場合、NetSupport はお客様 に書面で通知することにより本ライセンスを直ちに解除することができます。違反(そのような要求には NetSupport の解除意思の警告を意味しています)を解決するために、これを実行いたします。解除に際し、 本ソフトウェアのオリジナルとすべての複製を破棄または NetSupport Ltd に返却し、これが実行されたこと を宛ての書面にて確認します。

サポート: 本ソフトウェアのインストールで問題がある場合は、まず販売店に連絡してください。機能強化やアップグレードの提供を含むサポートとメインテナンスを別途購入することができます。

準拠法: 本契約は、英国法に準拠するものとします。

目次

表記について、 10 本マニュアルで使用している専門用語 10 NetSupport について 11 特徴 12 インストール 15 システム条件 16 インストールと開始する 18 セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux ブラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デパイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10 OS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport Manager コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールシーレールツールパーボタン 30 コントロールウィンドウ 24 NetSupport Manager コントロールシリーレビュ 33 コントロールウィンドウ 10 ビュー 36 ウライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントと検索する 41 サブネットを検索するように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアントに接続する 51 クライアントを検索する 51 クライアントを切断する 5	NetSupport へようこそ	
本マニアルで使用している専門用語 10 NetSupport について 11 特徴 12 インストール 15 システム条件 16 インストールを開始する 18 NetSupport Manager のインストールプログラム 18 セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デパイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10S iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールパーボタン 30 コントロールウィンドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールジールパーボタン 30 コントロールウィンドウ 13 コントロールウィンドウ 10 ダウイック技続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索束できるようにといクライアントノーントロールを設定する 41 サブネットを検	表記について	10
NetSupport について 11 特徴 12 インストール 15 システム条件 16 インストールを開始する 18 NetSupport Manager のインストールプログラム 18 セットアップの種類の選択 19 インストール 19 Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デパイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10 S よび Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールパーポタン 30 コントロールウィンドウ 29 ハetSupport Manager コントロールボーボタン 30 コントロールウィンドウ 29 ウライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントと検索できるようにたやうイアント/コントロールを接続する 40 アイアウォールやプロキンサーバを発展して後続する 41 ウスマクライアントを切断する 51 オールやプロールやライアントを切断する		10
特徴 12 インストール 15 システム条件 16 インストールを開始する 18 NetSupport Manager のインストールプログラム 18 セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デパイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10S および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 NetSupport コントロールを起動する 28 NetSupport コントロールを起動する 28 NetSupport Manager コントロールペールペール 24 NetSupport Manager コントロールペールペールペール 29 ハレパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールペールペールペール 24 NetSupport Manager コントロールペールペーール 24 NetSupport Manager コントロールペールペーーー 28 ハーレウィンドウ ツリービュー 30 コントロールウィンドウ ツリービュー 33 コントロールウィンドウ リスド 36 クライアントと検索できるように NetSupport コントロールを設定する 40 アイアウォールやプローシャー・パを発展する 51 ウオイアントを対象できるように NetSupport コントロールを設定する	NetSupport について	11
インストール 15 システム条件 16 インストールを開始する	特徴	12
システム条件 16 インストールを開始する 18 NetSupport Manager のインストールプログラム 18 セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デパイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10S および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウインドウ 26 ツールパーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールパーボタン 30 コントロールウインドウ 29 ウライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クインクタ接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 クライアントを切断する 51 オペてのクライアントを切断する 51 オペてのクライアントを切断する 51 クライアントを再起動またはログアウトする 53 クライアントでを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの面面を表示する 57 <td>インストール</td> <td>15</td>	インストール	15
インストールを開始する	システム条件	16
NetSupport Manager のインストールプログラム 18 セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux ブラットフォームIC NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デバイスIC NetSupport Manager のインストールと設定 21 105 iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ - ツリービュー 33 コントロールウィンドウ - リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールをプレージロントロールを 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを 51 ウイアウトマートやウロートウローシーグ 5	インストールを開始する	18
セットアップの種類の選択 19 インストール開始 19 Linux プラットフォームIC NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デバイスIC NetSupport Manager のインストールと設定 21 105 iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 30 コントロールウィンドウ 36 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるようIC NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 フィイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 ウライアントを切断する 51 クライアントを振起動またはログアウトする 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントの電源オフ 54 <	NetSupport Manager のインストールプログラム	18
インストール開始	セットアップの種類の選択	19
Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする 20 Google Chrome OS デバイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 10S および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 31 コントロールウィンドウ 33 コントロールウィンドウ 36 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 40 フィイアウォールやプロキシサーバを経続する 41 ウライアントを切断する 51 クライアントを切断する 51 クライアントを切断する 51 クライアントを再起動すべてのクライアントを切断する 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl + Alt + Delete を送信する 56 クライアントの	インストール開始	19
Google Chrome OS デバイスに NetSupport Manager のインストールと設定 21 iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ 90 カライアンドを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 ウライアントで電源オン/電源オフ 53 クライアント電源オン 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインストールする	20
iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール 23 拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ - ツリービュー 33 コントロールウィンドウ - リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 ウライアントに自動ログイン 52 電源管理 - 電源オン/電源オフ 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	Google Chrome OS デバイスに NetSupport Manager のインストール	と設定 21
拡張インストール 24 NetSupport コントロールを起動する 25 コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ - ツリービュー 33 コントロールウィンドウ - リリービュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 ウライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 ウライアントに自動ログイン 52 電源管理 - 電源オン/電源オフ 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロール	23
NetSupport コントロールを起動する. 25 コントロールウィンドウ. 26 ツールバーをカスタマイズする. 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン. 30 コントロールウィンドウ. 33 コントロールウィンドウ. 33 コントロールウィンドウ. 36 クライアントを検索する. 37 クライアントを検索する. 37 クライアントに接続する. 39 クイック接続. 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する. 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する. 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する. 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する. 51 ウライアントを切断する. 51 クライアントを切断する. 51 クライアントを切断する. 51 クライアントを調測すつ. 53 クライアントを調測すつ. 53 クライアントを調測すつ. 53 クライアントを調測すつ. 54 クライアントを再起動またはログアウトする. 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する. 56 クライアントの画面を表示する. 57	拡張インストール	24
コントロールウィンドウ 26 ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ – ツリービュー 33 コントロールウィンドウ – リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントを検索する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 ウライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	NetSupport コントロールを起動する	25
ツールバーをカスタマイズする 28 NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ – ツリービュー 33 コントロールウィンドウ – リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 ウライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアント電源オン 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	コントロールウィンドウ	26
NetSupport Manager コントロールツールバーボタン 30 コントロールウィンドウ – ツリービュー 33 コントロールウィンドウ – リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	ツールバーをカスタマイズする	
コントロールウィンドウ – ツリービュー 33 コントロールウィンドウ – リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 すべてのクライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	NetSupport Manager コントロールツールバーボタン	30
コントロールウィンドウ – リストビュー 36 クライアントを検索する 37 クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを設定する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	コントロールウィンドウ – ツリービュー	33
クライアントを検索する	コントロールウィンドウ – リストビュー	36
クライアントに接続する 39 クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	クライアントを検索する	37
クイック接続 40 異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 - 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	クライアントに接続する	
異なるプロトコルのクライアントに接続する 41 サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する 42 NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	クイック接続	40
サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する	異なるプロトコルのクライアントに接続する	41
NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する 44 ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを両起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定する	42
ファイアウォールやフロキシサーバを経田して接続する 49 クライアントを切断する 51 すべてのクライアントを切断する 51 クライアントに自動ログイン 52 電源管理 – 電源オン/電源オフ 53 クライアントを再源オン 53 クライアントの電源オフ 54 クライアントを再起動またはログアウトする 55 Ctrl+Alt+Delete を送信する 56 クライアントの画面を表示する 57	NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する	
クライアントを切断する	ファイアウォールやフロキシサーハを経田して接続する	49
すべてのクライアントを切断する	クライアントを切断する	51
クライアントに自動ログイン	すべてのクライアントを切断する	51
 電源管理 – 電源オン/電源オフ		52
 クライアント電源オン		
クライアントを再起動またはログアウトする	クライアント電源オン	53 54
クライアントを再起動またはログアウトする	クノイノンドの电源オノ	
CTTI+AIT+Delete を达信する	ソフィティアで守起到またはロンテラア9 @	
クフィアントの画面を表示する57	UTI+AIT+DEIETEを达信する	
ᄕューウスボウ 57	クフイ / ントの画面を表示する	

クライアントの画面を表示する	59
画面受信モード	59
複数のクライアント画面を同時に表示する	60
クライアントの画面を表示中は、クライアントのモニタを黒抜けにする	60
画面サイズ	60
クライアントの画面受信の設定を表示する	61
縮小画面表示/モニタモード	62
リストビューのクライアントを管理する	63
アプリケーションを起動する	64
コントロールの画面をクライアントに表示する	68
クライアント画面を複数のクライアントに表示する	71
リプレイファイル	72
ローカルの操作を記録する	72
クライアント PC 側のリプレイファイルを録画する	73
録画したリプレイファイルを見る	74
クライアントにリプレイファイルを見せる	75
ファイル転送	76
ファイル転送ウィンドウ	76
ファイルやフォルダをコピーする	77
クライアント間でファイルを転送するには	79
ファイルやフォルダを削除する	79
フォルダを作成する	79
ファイル名を変更する	80
ファイルの属性を変更する	80
フォルダを同期する	80
リストビューのファイルにフィルタを適用する	81
ファイル転送ウィンドウの表示方法を変更する	81
ファイル転送ウィンドウの並び順を変更する	82
ファイル配布	83
ファイル配布ウィンドウ	83
ファイルを配布する	84
ファイル管理	86
ファイル管理ウィンドウ	86
コントロールのコンピュータのファイルを管理する	87
コントロール/クライアントチャットセッション	88
チャットを禁止する	92
クライアントにメッセージを送信する	93
ヘルプ要求に対応する	94
リモートクリップボード	95
リモートコマンドプロンプト	97

クライアントを使用する	98
クライアントメインウィンドウ	
コントロールに接続する	100
PIN 接続を使用してコントロールに接続する	101
コントロールから切断する	102
ヘルプを要請する	103
NetSupport Manager は、クライアントがコントロールワークステーショ	ンから
の手助けを依頼することができます。	103
ヘルプを要求するには	103
コントロールとチャットをする	103
チャットウィンドウを開いて、接続中のコントロールとチャットが可能です。	103
チャットを開始するには	103
コントロールのコンピュータからメッセージを受信する	104
クライアントを設定する	105
クライアントを設定する	106
プロトコルオプション	107
TCP/IP 接続を設定する	107
HTTP 接続を設定する	108
PIN サーバ	109
セキュリティオプション	110
ユーザ情報	110
アクセス権限	111
ユーザー認証オプション	113
接続オプション	115
クライアント設定を保護する	117
ファイル転送設定	118
リプレイファイル設定	119
リモートコントロールオプション	120
ビュー設定	120
ショー設定	121
クライアントインターフェイスオプション	122
クライアント設定	122
テキストのカスタマイズ	124
コントロールを設定する	125
コントロールを設定する	126
コントロールセッションのクライアント設定を調整する	127
一般設定	128
プロトコルオプション	
TCP/IP 接続設定	
HTTP 接続設定	131

セキュリティオプション	
セキュリティ設定	
イベントログ	134
リプレイファイル	
スタートアップ設定	136
リモートコントロール設定	
ビュー設定	
コントロールインターフェイス設定	
インターフェイス設定	141
機能	143
ファイル転送設定	145
ファイルの場所設定	
クライアントを管理及び構成する	148
新しいクライアントを追加する	149
クライアントを削除する	
クライアントの名前を変更する	
クライアントのプロパティの設定	
新しいグループを作成する	
グループにクライアントを追加/削除する	
グループのプロパティを設定する	
インターネット経由で NetSupport を使用する	
テクニカルレファレンス	157
圧縮を効率よく使用する	
リモートハードウェア/ソフトウェアのシステム構成	
システム構成ウィンドウ	
IP アドレスを理解する	
コマンドラインを使用する	
読者のコメント	167

NetSupport へようこそ

ネットワークは日々進化し、その能力が高まると共に複雑になってきています。多様 化するプラットフォーム、プロトコル、物理的資産により、PC 管理およびリモートコント ロールソフトウェアのソリューションの提供を可能にしました。バラエティ豊かな設定に 対応でき、かつ重要な IT インフラストラクチャがいつでも利用できるようにするため の取り組みが続けられてきています。

リモートコントロールと PC 管理ソフトウェアの歴史は、サポートスタッフが実際に離れ た場所のユーザーの PC まで実際に行かずに解決できるようにすることをポイントに 開発されてきました。その結果、ユーザーは迅速な対応を受けることができ、重要な アプリケーションのダウン時間を縮小することができるようになりました。一方、企業で は従来は複数のアプリケーションを必要とした様々な機能が実行可能で効果的な経 済効果が得られる複合ソリューションの需要が高まっています。効率的なテクニカル サポートの提供だけでなく、管理タスクの簡易化、および安全なリモート作業やモバイ ルワークの実現が注目されています。

NetSupport Manager とは?

NetSupport Manager は、特に、ユーザーの生産性、顧客満足度、組織の柔軟性の改善において最速の ROI につながる高度なデスクトップ管理機能と PC リモートコントロールが組み合わさっています。

ワンアクションで複数のシステムを監視;手取り足取りの遠隔サポートを提供または 対話型のトレーニング;リアルタイムのインベントリおよびシステムデータを収集: NetSupport Manager は、単ーコンソールから Windows (Windows 8を含む)、 Mac そして Linux プラットフォーム、加えて Android および iOS モバイルデバイス すべてをサポートする機能を提供します。

お使いのネットワークで、モバイル通信経由で、またはファイアウォールの設定を必要 としない安全なインターネット上で操作するように設計された NetSupport Manager は、リモートサポート向けのシングルソリューションを提供します。従来のリ モートコントロールの互換性に加え、NetSupport Manager は、ハードウェアとソ フトウェアのインベントリレポート、システム管理ツール、オーディオ対応、さらにトレー ニングツールとしてオペレータの画面をリアルタイムで複数の接続されたシステムに 表示する機能を含むサポートを目的とした多岐にわたる支援ツールも提供します。

表記について

表記方法:

- 各章ごとにステップバイステップの説明により連続で操作する手順には番号が 付いています。
- 複数の操作方法がある機能には 'または' と表記しています。
- これらの手順に関する追加のヒントや注釈は「注意」の見出しにあります。
- 連続したメニュー操作は{}で表記しています。例:{クライアント}{ブロードキャスト}.

本マニュアルで使用している専門用語

コントロール	「コントロール」はクライアントに表示したり、クライアントを表示したり、操作を引き継ぐワークステーションまたはデバイスです。ビューアとも呼ばれています。
クライアント 接続可能 クライアント	「クライアント」は表示される、または引き継がれるワークステー ションまたはデバイスです。ホストとも呼ばれています。 コンピュータに NetSupport クライアントプログラムをインストー ルすると、それはコントロールが接続可能なクライアントになりま す。コントロールが接続する前には必ずクライアントは接続可能
選択クライアント	マウスを使って作業をするクライアントを選択してハイライトする ことを言います。
接続クライアント	全ての接続可能なクライアントやグループは同時接続が可能で す。コントロールは接続しているクライアントに対してのみリモー トコントロールが可能です。
クライアントリスト	クライアントまたは接続しているクライアントのグループは、コント ロールによって選択されます。その後、コントロールは画面受 信、画面送信そしてメッセージ等の様々な機能を実行することが できます。

NetSupport について

この章では ...

NetSupport Manager の特徴や導入効果をご紹介します。

特徴

NetSupport Manager はクライアントをトレーニング、サポート、モニタ、管理ための豊富な機能を搭載しています。

<u>環境</u>

ネットワーク上の NetSupport で管理されたシステムを検索、特定そして接続。 TCP/IP または HTTP プロトコルでの接続。 LAN、WAN、インターネット、GPRS、3G、無線接続での通信

リモートコントロール

解像度やネットワークプロトコル、オペレーティングシステムに関らずクライアントのキ ーボードやマウスや画面をウォッチ/シェア/コントロールできます。

モニターモード

接続中のすべてのクライアントコンピュータの縮小画面を表示することができます。縮 小画面のサイズは、調節可能です。もちろん更新間隔も。さらに、コントロールユーザ ーは、特定の縮小画面にマウスを重ねると選択した PC の画面を拡大することができ ます。

画面送信

個々のクライアントまたは複数のクライアントのコンピュータ上にコントロールの画面 を表示、または選択したクライアントの画面を他のクライアントに表示できます。

リモートシステムの自動グループ

コントロールのツリー表示は、環境とオペレーティングシステムのように予め定義した 条件を基に離れたシステムをグループ化することで、お使いの IT インフラの簡易概 要を提供します。例えば、特定の Windows OS または Linux ディストリビューショ ンが動作しているコンピュータを簡単に確認できます。これは、特に新しいテクノロジ ーの更新や展開を計画するときに便利です。

ショー機能

個々または複数のクライアント画面上にコントロール画面を表示、選択したクライアン ト画面を他のクライアントに表示します。さらに選択したモニタ、アプリケーション、動 画または再現ファイルを接続している任意の数のコンピュータにリアルタイムで表示 することもできます。

チャット

コントロール側のオペレーターと1~複数のクライアントによるリアルタイムチャットを 管理。 メッセージ

選択した 1~複数のクライアントにメッセージを送信、またはネットワーク上の全クライ アントにブロードキャスト送信。

サポートツール

リモート クライアント ハードウェア/ソフトウェア インベントリ

ハードウェアやクライアント PC の環境に関する 80 項目以上の情報を収集します。 パワフルなハードウェア/ソフトウェアリポートはメモリー内のアプリケーション、稼動し ているプロセス、インストールしているサービス

を統合して、スピーディーな問題解決に不可欠なキー情報を表示します。

電源管理

クライアントをリモートでログオフまたは電源消費を最小限に抑えるためにシャットダ ウン。

ヘルプ依頼

クライアントは、ヘルプの依頼ができます。ポップアップボックスで補助が必要なクライ アントをコントロールに通知します。

情報の移動

ファイルの転送と配布

ドラッグ & ドロップで PC 間のファイルを転送/操作。ロングファイル名に対応、リモートファイル編集、デルタファイル転送 や様々な機能を提供。PC から他の PC ヘコ ピー、ソフトウェアの配布、フォルダの同期化。転送中は全転送データを暗号化しセキ ュリティ保持。

バーチャルホワイトボード

NetSupportManager は、離れた場所の PC のアプリケーションを起動、インストー ラの開始などができるアプリケーション実行機能を搭載しています。この機能とファイ ル配布を組み合わせれば、素早く効率的な方法でリモートアップデートを実現できま す。

柔軟性

プロトコル

- ネットワーク上をダイナミックに検索し全クライアントを一覧表示。
- クライアント名による接続
- ネットワークアドレスによる接続
- 接続履歴から接続
- グループ接続

総合セキュリティ特集

以下を含む、広範囲にわたる優れたセキュリティオプションによりあらゆる必要性に対応します:-

- 56bit DES から 256bit AES 暗号化までのフルデータ暗号化オプション。
- ユーザー承認と暗号化パスワード。
- 他の NetSupport Manager 製品ライセンスと互換性をなくすためのセキュリティキー。
- NT アドミニストレーションを統合し接続をダイレクトに認証。
- Active Directory の統合と企業全体のポリシー管理用に提供される AD テン プレート。
- 選択した PC に接続するユーザーに応じて様々な機能を無効にできるプロファイル機能。
- OS イベントログとの統合を含むイベントと履歴ログ。

Apple 社 Mac システ接続時の主な機能:

- 新機能 システムとのリモートファイル転送を実行。
- ネットワーク上のシステムの検索と検出。
- Mac システムのフルリモートコントロール。
- 複数のクライアントシステムを巡視、一度に最大 16 台までの複数のシステムの モニタリング。
- コントロールとクライアント間のマンツーマンチャット。
- 1 台、選択した台数、またはすべてのクライアントシステムにメッセージを送信。
- 簡単で使い易いクライアント設定プログラム。
- リモートでシステムを電源のオンまたはオフ。
- クライアントシステムにコントロールの画面を「見せる」。
- システムをリモートでログアウト。
- リモートでシステムを再起動。
- 接続中のすべてのシステムの縮小画面をリアルタイムで表示。
- システムに対してリモートでアプリケーションおよびスクリプトを起動。
- 問題解決の支援にからリアルタイムでハードウェアとソフトウェアの構成情報を 取得。
- TCP/IP または付属の NetSupport インターネットゲートウェイ経由での HTTP 接続。
- 6ビット DES から 256 ビット AES まで設定可能なデータの暗号化。
- IP アドレス、ユーザー名そしてパスワードによる接続制限。
- すべての機能の有効/無効の許可が設定可能なセキュリティ。
- サポートに必要なシステム情報を取得する診断ツール。
- ヘルプ依頼 コントロールに送信されるヘルプ依頼をユーザーが作成可能。
- 離れたコンピュータのアプリケーションをリモートで起動。
- PIN 接続は中央 PIN サーバモジュールを経由して両者が一致する PIN コード を入力することで技術者が瞬時に企業全体のどこでもユーザーを検索できる機 能です。

インストール

この章では ...

Windows ベースのコンピュータに NetSupport Manager のコンポーネントのインストール方法を説明します。

システム条件

いくつかの NetSupport の機能は特定のファイル/アプリケーションに依存しています。

PC 動作環境:

Windows 8.1 (32bit および 64Bit)、Windows 7 (32bit および 64Bit)、 Windows 2008 (32bit、64 bit および R2)、Vista (32bit および 64bit)、 2003 (Service Pack 1)、XP (Service Pack 2).

TCP/IP、HTTP またはレガシー(IPX および NetBIOS)。

Linux 動作環境:

NetSupport は現時点では次の Linux 製品に対応しています: OpenSUSE 11.2 およびそれ以降、SUSE Enterprise 11、SUSE Enterprise Server 11、 Ubuntu/Edubuntu 9.04 へ 12.10、Debian 5 およびそれ以降、そして、Red Hat Enterprise Linux 6、Linux Mint 9 へ 13、そして Fedora 12 へ 17。

デスクトップマネージャー: Gnome、KDE、Unity 2D、Ubuntu Classic (No Effects Only)、MATE そして Cinnamon.

Mac 動作環境:

NetSupport Manager クライアントは MAC OS X と互換性があります。また Mac 用のユニバーサル証明を同梱しています。

NetSupport Manager Mac コントロールおよびクライアントは、Intel プラットフォ ームの Mac OS X バージョン 10.5 以降、Leopard、Snow Leopard、Lion そし て Mountain Lion をサポートします。

Mobile Control

iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロールは、既存の NetSupport Manager リモートユーザーのために iPad、iPhone、iPod、Android タブレットおよびスマートフォンまたは Kindle Fire からリモートでモバイルリモートコ ントロールを提供します。

NetSupport Manager Mobile App は、<u>Google Play</u>、アップルの<u>iTunes</u> <u>Store</u>、<u>Amazon</u>アプリストアからダウンロードすることができます。

Chrome OS クライアント:

既存または新規に NetSupport で管理されている環境で使用する場合、Crome ク ライアント拡張用 NetSupport Manager は、Google Chrome OS が実行してい る各 Chromebook にインストールすることができます。コントロールから、各システ ムに接続できるようになり、画面を監視したり、素早く効果的に各 Chromebook と 対話できるようになります。

レガシープラットフォーム対応

以下のプラットフォームのレガシー対応が提供されます:

Windows NT4、Windows 2000、Windows XP(Service Pack 2 以前)および Windows 2003(Service Pack 1 以前)。

注意: これらのプラットフォームには古いバージョンの NetSupport Manager が必 要になります。これらは、<u>www.netsupportmanager.com/downloads.asp</u> からダウンロード可能です。

Pocket PC:

OS:Pocket PC 2003 または Windows Mobile 2003 もしくはそれ以上 プロセッサ: Strong ARM プロセッサ ActiveSync/WiFi ワイヤレス LAN 互換 デバイス RAM: 32Mb (64Mb 推奨) ハードディスク: 最小 2Mb、フルインストールには 10Mb 必要

Windows CE

OS: Windows CE 4.2 またはそれ以上 プロセッサ: Strong ARM プロセッサ、X86 互換 ActiveSync 互換 デバイス RAM: 32Mb (64Mb 推奨) ハードディスク:5Mb 以上の空き容量

インストールを開始する

NetSupport Manager は標準的な Mac.DMG ディスクイメージで提供されていま す。マウントされていない場合、マシンにマウントするディスクイメージをダブルクリック します。このイメージ内には NetSupport Manager のインストーラがあり、インスト ールを開始するにはこのファイルをダブルクリックします。

ドロップダウンメニューから該当する言語を選択し、NetSupport Manager をインストールするには、[OK]を選択します。

NetSupport Manager のインストールプログラム

インストーラようこそ画面がが表示されます。続けるには「次へ」をクリックします。

NetSupport Manager の使用許諾契約書

NetSupport Manager の使用許諾契約書が表示されますライセンス使用許諾書 をよくお読みください。次へをクリックして続行します。

使用許諾契約書に同意しない場合は、「ライセンス使用許諾書に同意しない]を選択し、「キャンセル]をクリックしてください。 NetSupport Manager はインストールされません。画面の指示に従ってインストールプログラムを終了してください。

ライセンス情報

希望のライセンス方法を選びます。NetSupport Manager のライセンスを既にお持ちの場合は、「登録」を選択、一方 NetSupport Manager を評価する場合は、30 日評価オプションを選択して「次へ」をクリックします。

セットアップの種類の選択

コンピュータにインストールするセットアップの種類を選択します。

000	🔜 セットアップ
セットアッ	ブの種類 🛛 🕅
必要に合っ	たセットアップの種類を選択します。
● 標準	
1 1	先生、生徒、生徒用構成設定とヘルプファイルをインストールします。
○先生	
F	先生だけとヘルプファイルをインストールします。
◯生徒	
1 ¹	生徒、生徒用構成設定とヘルプファイルをインストールします。
BitRock Insta	dler
	<戻る 次へ > キャンセル

標準

コントロール、クライアント、クライアント設定そしてヘルプファイルをインストールしま す。

コントロール

コントロールとヘルプファイルだけをインストールします。

クライアント

クライアントソフトウェア、クライアント設定そしてヘルプファイルをインストールします。

インストール開始

プログラムのインストール

インストールを開始するには、インストールをクリックします。前の設定項目を変更す る場合は、[戻る]をクリックしてください。インストールを取りやめる場合は、[キャンセル]をクリックします。

インストール完了

インストールを完了するには、セットアッププログラムを閉じるために「完了」をクリック します。 インストールが完了すると、マシンの再起動を要求されます。セットアップを完了する ためにこれは必要になります。

Linux プラットフォームに NetSupport クライアントをインス トールする

NetSupport クライアントは Windows manager 上で動作するようにデザインされ ている Linux プラットフォームにインストールすることができます。これによりコントロ ールはリモートユーザーの画面に接続してビューや様々なリモートコントロール機能 を使用することができます。

注意:NetSupport は現時点では次の Linux 製品に対応しています:OpenSUSE 11.2 およびそれ以降、SUSE Enterprise 11、SUSE Enterprise Server 11、Ubuntu/Edubuntu 9.04 へ 12.10、Debian 5 およびそれ以降、そ して、Red Hat Enterprise Linux 6、Linux Mint 9 へ 13、そして Fedora 12 へ 17。

- NetSupport Manager Linux クライアントは、「tar.gz」フォーマットで提供されます。 www.netsupportmanager.com/downloads.asp にてダウンロードが可能です。(インストール方法の解説もそこでダウンロード可能です。)
- 2. Linux マシンのディレクトリにダウンロードします。
- 3. TAR BALL を解凍します。すると Install というサブディレクトリが作成されます。
- 4. ディレクトリを指定して、インストールを実行します。(ルートユーザーで行なってく ださい)
- 5. NetSupport クライアントは Linux daemon を提供する\usr\nsm にインスト ールされます。
- 6. NetSupport コントロールで通常のようにクライアントに接続します。
- **注意**: SuSE9.3 や SuSE10 ディストリビューションをインストール時に、次のような エラーメッセージが表示されます。「SuSEFirewall2: Warning: ip6table does not support state matching. Extended Ipv6 support disabled」。これは標準メッセージですので、無視して構いません。

現在対応している機能に関する詳細は下記 URL(英文)にてご確認ください。URL: www.netsupportmanager.com/linux.asp

Google Chrome OS デバイスに NetSupport Manager のインストールと設定

NetSupport Manager は、Google Chrome OS デバイス用のリモートコントロー ル機能を提供します。

Google Chrome 拡張用 NetSupport Manager クライアントが Google Chrome OS が実行されている各クライアントマシンにインストールされます。技術者 のデスクトップから、素早く効率的に各クライアントを監視し対話することができるよう に各システムに接続できます。

インストールを計画する

NetSupport Manager コントロールが Chrome OS デバイスと接続し対話できる ようにするには:NetSupport 接続サーバが Windows サーバにインストールされ ている必要があります。NetSupport Manager コントロール (Windows、Mac また はモバイル)が技術者のコンピュータにインストールされている必要があります。 NetSupport Manager Chrome クライアント拡張が各 Chrome デバイスにイン ストールする必要があります。

Chrome OS 用 NetSupport Manager クライアントには既存の既に購入した NetSupport ライセンスが使用されます(十分な未使用のライセンスをお持ちの場合 に限り)。または追加 Chrome OS クライアントだけを NetSupport 販売店から購 入することができます。

Google Chrome 拡張用 NetSupport Manager クライアントのインストール と設定

- Google Chrome 拡張用 NetSupport Manager を<u>Google Chrome</u>ストア からダウンロードします。
- 「拡張」設定ページにアクセスするための URL chrome: //settings/extensions を入力します。
- Google Chrome 拡張用 NetSupport Manager クライアントの場所を開き、 オプションをクリックします。
- 4. ゲートウェイのアドレスとのポート番号を入力します。
- 5. 必要に応じて、このクライアントを識別する名前を入力します。
- 6. 保存をクリックします。

Chrome インコグニートモード:

クライアントのフル制御を維持するには、Chrome OS ユーザー設定でインコグニー トモードを「許可しない」ことを推奨します。これは、Google 管理コンソール経由でセ ントラルで実行できます。

Chrome OS「クライアント」システムに接続時の主な機能:

環境

 NetSupport Manager コントロールは、HTTP 経由で Chrome 用 NetSupport Manager クライアントが実行してる Google Chrome OS デバ イスと通信します。希望のコンポーネントのインストールや設定のヘルプは下記 ドキュメントを参照してください。

リモートコントロール

- 各 Chrome OS クライアント画面の鮮明なサムネイルが単一ビューでコントロー ルに表示することができます。
- クライアントの画面を気づかれずに監視(観察モード)やリアルタイムでリモートコントロール(共有モード)することができます。
- リアルタイムの指導やデモに、Chrome OS クライアントをコントロール (Windows または Mac)画面にブラウザタブか全画面表示モードで表示することができます。
- クライアントにコントロールのデスクトップのアプリケーションを表示させることが できます。
- マルチモニタのサポート マルチモニタを実行している Chrome OS デバイス を監視。
- クライアントのマウスとキーボードをリモートで「ロック」することができます。
- Chrome OS クライアントはコントロールが開始するテキスト「チャット」に参加できます。
- Chrome OS クライアントはコントロールが送信したメッセージを受信することが できます。

サポートツール

- リモートクリップボード 画面受信中にクライアントのクリップボードの内容をリモートでコントロールが取得することができます。コントロールのクリップボードのコピーをクライアントに送信することもできます。
- ヘルプ依頼ファシリティ クライアントはコントロールにヘルプの依頼を送信する ことができます。

柔軟性

 PIN 接続 - 中央の PIN サーバモジュールを介して双方が一致する PIN コード を入力することでクライアントはコントロールと即時に接続を開始することができ ます。

セキュリティ

• ユーザー承認 - クライアントは受信した各接続要求を承認することができます。

iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロ ール

iOS および Android 用 NetSupport Manager コントロールは、既存の NetSupport Manager リモートユーザーのために iPad、iPhone、iPod、Android タブレットおよびスマートフォンまたは Kindle Fire からリモートでモバイルリモートコ ントロールを提供します。

新しいモバイルコントロールは、ユーザーが IP アドレスまたは PC 名のいずれかでロ ーカル検索し接続することができ、または無料の NetSupport Manager インター ネットゲートウェイコンポーネントを利用してリモートコンピューターを検索、接続そして 表示することができます。

The NetSupport Manager コントロール既存の NetSupport Manager クライア ントを実行しているリモート PC のフルリモートコントロール、チャットそしてメッセージ 機能を提供します(version 11.04 またはそれ以降)。

NetSupport Manager Mobile App は、<u>Google Play</u>、アップルの<u>iTunes</u> <u>Store</u>、<u>Amazon</u>アプリストアからダウンロードすることができます。

拡張インストール

この章では.....

サイレント ネットワーク インストールの準備と開始方法 NetSupport デプロイツールを使った複数のインストール

NetSupport コントロールを起動する

NetSupport Manager コントロールプログラムを起動するには

 /Applications/NetSupport/NetSupportManager ディレクトリ内のコントロ ールアイコンをダブルクリックします。

NetSupport Manager が初期化すると、画面中央に NetSupport のロゴとバー ジョン情報が表示されます。この画面は NetSupport を起動するほんの数秒間だけ 表示されます。その後、コントロール画面が表示されます。

注意: 初期設定では、コントロールは TCP/IP プロトコルを使用するように設定 されいますが、同時に複数のプロトコルにも対応しています。コントロール 起動時にプロトコルエラーメッセージが表示される場合または、別のプロト コルが動作しているクライアントに対応するように設定し対場合は、コント ロールウィンドウ のメニューから{ネットワーク}{環境設定 – プロトコル} を選択します。

コントロールウィンドウ

コントロールウィドウは:-

- コントロールの設定
- クライアントに接続
- クライアント情報の管理
- 作業をするクライアントの選択
- 実行するタスクの選択

		NetSupport :	tjm-MacBook-2				
ネットワーク(N) クライアント(C) グループ(G) 表示	(の) ツールの ウ	インドウ(W) へ	、ルブ(H)			Contract of Contract of Contract	_
	教理 ファイル	19259 E	副愛信 システム構成 著	() () () () () () () () () () () () () (4 BE 0779	ト ファイル記付	
選択できるすべてのコンピュータ					a	• ha	E) E)
▲ ● すべてのコンピュータ (クライアント数: 22) 第日できらすべてのコンピュータ	EN IL	INT	INTER OF	IN I	1000	and a	IN IS
Development (クライアント数: 7)				-	- 53	-0	
[]] Marketing (クライアント数: 3)	New Client	FOG	LINUXSTUDE	MKT001	MKT0002	PCS765	SG1
Sales (クライアント数: 4)							
Support (クライアント数: 7)	100	II.N.II	100	and the second s	and the second second	BNIE	100
自動ダルーブ (クライアント数: 22) 設立した基準でクライアントをグループ化します	TECMAC02	TECMAC04	TECSEW7	TECW801	TJM-IMAC	TJM-MACMINI	TJM-VM7
校覧 エットワークのコンピュータを検索します	1992	-	-	1000	-	and a	101
アクティブ 接受しているコンピュータをすべて表示します	TMBHP5000		1 TMBMAC03	TMBSERVER	TMRWS1	TMRWS2	52 TMBWS4
ヘルプ教育 ヘルプ教育 ヘルプ教育しているクライアント		11111111111				(Monore)	
・ インターネットゲートウェイ インターネット発血で提載可能なコンピュータ	XP-SP3						

タイトルバー

NetSupport コントロールのコンピュータ名を表示してあなたがコントロールユーザ ーであることを指します。

メニューバー

メニューバーは色々なツールや設定ユーティリティを呼び出すことのできるメニューの 集合体で構成されています。これらのメニューはクライアントに接続、作業するクライ アントを選択するためだけでなくグループのクライアントを管理運営するためにも使 用します。 ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。同じような機能は同じアイコンでグループ化されています。お好みでアイコ ンを追加したり、削除することもできます。詳しくは、「ツールバーをカスタマイズする」 を参照してください。

クイック実行バー

クイック実行バーは、ドロップダウンメニューから指定することなく、あらかじめ保存しているアプリケーションをクライアントで実行することができます。アプリケーション名のボタンとクリックすると、選択したクライアントもしくはグループでそれを実行します。

サムネイルツールバー

接続している各クライントの画面の縮小版サムネイルツールバーは接続しているクラ イアント画面のサムネイル表示に簡単に素早くアクセスするためのものです。

ツリー

ツリー画面は、エクスプローラ型の構造でクライアントやグループなどの NetSupport のオブジェクトを作成、表示、管理するためのものです。

リスト

リスト画面は、ツリー画面で現在の選択されたフォルダの内容を表示します。表示方 法を大きいアイコン、小さいアイコン、一覧、詳細またはサムネイル表示に切り替える ことができます。リスト画面は、目的に合わせて特定の情報だけを表示するようにカス タマイズすることもできます。



ステータスバー

ステータスバーはコントロールウィンドウ下部に表示されます。現在のコントロール の状態、現在の接続クライアント数、フォルダ内のオブジェクト数を表示します。

コントロールウィンドウのメニューの [表示] メニューのオプションでステータスバーの 表示または非表示の切り替えができます。

ツールバーをカスタマイズする

必要に応じてユーザーインターフェイスカスタマイズ機能を使って NetSupport をカ スタマイズすることができます。コントロールツールバーに表示するアイコンを設定す ることもその一つに含まれます。

コントロールウィンドウのツールバーをカスタマイズするには

 コントロールウィンドウのメニューから{表示}{ツールバー}{ユーザー設定}を 選択します または

ツールバー上で右クリックし、ユーザー設定(カスタマイズ)を選択します。

2. ツールバーのカスタマイズダイアログが表示されます。

用できるボタン(A):		現在のボタン(C):	
🕵 ウイック接続	-	新規	-
🕵 इल्टरण ह	18.000	()>>> 🖉 接続	
🗿 Alexan	(回知) (回知)	(8) >>>	
Aa ×vt-9	<< #ii	(R)	
ひんーフに追加		ト(E)	

ツールバーに追加できるボタンとツールバーに既に追加されているボタンの2つの 一覧が表示されます。ボタンをグループするには、その間に区切りを挿入します。

使用できるボタン

ツールバーに追加できるすべてのアイコンの一覧を表示します。この一覧は、アイコ ンとその説明を表示します。

現在のボタン

ツールバーに現在表示中のアイコンが含まれています。水平の破線は、グループ化 されたアイコンの境界線を表します。この境界線を挿入するには、このリストでアイコ ンをクリックし、区切り >>ボタンをクリックします。選択したアイコンの直後に区切り を挿入します。 追加 >>

利用可能ボタンのリストからアイコンを選択し、現在ボタンのリストで挿入位置を選択してから、このボタンをクリックすると、利用可能ボタンのリストで選択したアイコンが、現在ボタンのリストで選択したアイコンの後に挿入されます。

区切り >>

このボタンをクリックすると、現在ボタンのリストで選択したものの後に、境界線が挿入されます。この境界線は、複数のアイコンを視覚的にまとめるのに使用します。

<< 削除

現在ボタンのリストから削除するものをクリックし、このボタンをクリックすると、削除されます。選択したアイコンは利用可能ボタンのリストに移動します。境界線を選択したときは、削除されるだけです。

リセット

このボタンをクリックすると、現在ボタンのリストの内容が、デフォルトの設定に戻ります。

現在のボタンリストで選択したツールバーボタンを一つ上に移動します。現在のボタンリストで選択したツールバーボタンを1つ上に移動します。

現在のボタンリストで選択したツールバーボタンを一つ下にアイコンを移動させます。 このボタンを押すと現在ボタンリストの選択したアイコンボタンを1つ下に移動します。

NetSupport Manager コントロールツールバーボタン

いくつかのボタンには緑の矢印が表示されています。このアイコンには似たような機能のアイコンがいくつか含まれています。

以下のアイコンがデフォルトで設定されています。

ボタン	名称	機能
	新規	新しいクライアント、グループ、リモートネットワーク、スクリ プトオブジェクトまたはゲートウェイを作成します。
Ø	接続	選択したクライアントまたはクライアントのグループに接続 します。
R	切断	選択したクライアントまたはクライアントのグループから切 断します。
0	ブラウズ	ネットワーク上の接続可能なクライアントを検索します。
	アクション	選択したクライアントに対し数種類のリモート操作を実行し ます。リモートコマンドプロンプトを起動、ハードウェア/ソフ トウェアの構成を表示、クライアントとチャット、メッセージを 送信、またはクライアントでプログラムを実行します。
	デスクトップ	色々なリモートコントロール機能を実行します。クライアント 画面を表示、コントロール画面をクライアントに表示、クラ イアント画面を巡回、またはリプレイファイルを録画/再生 します。
3	管理	選択したクライアント PC を管理します。再起動、ログアウト、Ctrl-Alt-Del 送信、そしてクライアント PC の電源オン とオフ。
ł	ファイル	色々なファイル/フォルダの管理オプションにアクセスでき ます。ファイル転送、ファイル配布とファイル管理。
•	レジストリ	レジストリの編集ウィンドウ内では、クライアントワークステ ーションのレジストリを編集することができます。
9	画面受信	選択したクライアント画面を表示します。
	システム構成	選択したクライアントコンピュータのハードウェア/ソフトウェ アのシステム構成を表示します。

	画面送信	選択したクライアントにコントロールの画面を表示します。
.	プロパティ	選択したクライアントまたはグループのプロパティを表示し ます。
0	設定	現在の設定情報の設定を変更します。
	ログアウト	選択したクライアントをログアウトします。
	ファイル配布	選択したクライアントのファイル配布ウィンドウを表示しま す。

これらのボタンも必要に応じてツールバーに追加することができます:

ボタン	名称	機能
•	グループに追加	選択したクライアントを新規または既存のグルー プに追加します。
8	チャット	選択したクライアントとチャットします。
*	全て切断	接続中のすべてのクライアントから切断します。
	実行	選択したクライアントでプログラムを実行します。
	ファイル管理	コントロールコンピュータのファイル管理ウィンド ウを表示します。
	ファイル転送	選択したクライアントのファイル転送ウィンドウを 表示します。
	ログイン	選択したクライアントにログインします。
Aa	メッセージ	選択したクライアントにメッセージを送信します。

	リプレイ	録画したクライアントセッションを再生します。
	クィック接続	クライアント名または IP アドレスを入力して接 続します。
C	源オフ	クライアントPCの電源をリモートでオフします。
0	電源オン	クライアントPCの電源をリモートでオンします。
0	再起動	選択したクライアントを再起動します。
C:\>	リモートコマンド	リモートコマンドプロンプトウィンドウを起動しま す。

コントロールウィンドウ – ツリービュー

ツリービューは色々な NetSupport オブジェクトに関する情報のアクセスポイントで す。オブジェクトは個々のクライアント、グループ、もしくはクライアントが作成したへ ルプ要請などになります。コントロールウィンドウのツリービューに表示できるように各 オブジェクトはそれぞれフォルダに保存されます。

4	すべてのコンピュータ (クライアント数: 22) 選択できるすべてのコンピュータ
Ļ]] Development (クライアント数: 7)
Ę] Marketing (クライアント数: 3)
Ę] Sales (クライアント数: 4)
Ę] Support (クライアント数: 7)
	自動グループ (クライアント数: 22) 設定した基準でクライアントをグループ化します
0	検索 ネットワークのコンピュータを検索します
TT	アクティブ 接続しているコンピュータをすべて表示します
0	ヘルプ依頼 ヘルプを依頼しているクライアント
	インターネットゲートウェイ インターネット経由で接続可能なコンピュータ

フォルダ内の個々のオブジェクトは、隣接するリストビュー内に表示されます。[アクテ ィブ] フォルダを選択すると、リストビュー内に現在の接続しているすべてのクライアン トを表示します。



マウスのポインターでタイトルの左隣のアイコンをクリックすると、必要な情報に応じて ツリーを展開または縮小することができます。 利用可能なフォルダ:

すべてのコンピュータ

今まで接続したことがある全てのクライアントの一覧です。このフォルダから簡単に素 早く目的のクライアントに接続が可能です。最初の検索を実行したり、クライアントの ネットワークアドレスを覚えておく必要がありません。

すべてのコンピュータの隣のドロップダウン矢印を選択すると作成したグループを表示することができます。

個々のクライアントをグループで管理することができます。グループにクライアントを 所属させると、コンピュータごとに接続して選択する必要がなく、グループ全体としてド 同時に接続や作業をすることができます。

自動グループ

すばやく簡単にクライアントのプラットフォームや NetSupport Manager クライアントのバージョンが確認できるように、予め指定した基準に従ってクライアントは自動的 にグループ化されます。これらのグループは固定され、変更することはできません。

ツリー表示内の自動グループフォルダを隠すことができます。コントロールウィンドウ のドロップダウンメニューから{表示}{現在の環境設定の設定 – コントロールインタ ーフェース – 設定}を選択します。

検索

現在のセッションで、検索を実行して見つかったクライアントの一覧です。このフォル ダからクライアントに接続すると、今後使用できるようにすべてのコンピュータに保存 されます。

アクティブ

現在、接続中のクライアントがこのフォルダに表示されます。

ヘルプ要求

NetSupport には、クライアントユーザーがヘルプの要請を送信できる機能がクライ アント側に用意してあります。コントロールは、受信したクライアントからのヘルプ要請 を様々な方法で通知を受けることができます。すべてのヘルプ要請メッセージを受信 するようにコントロールが設定されている場合、ヘルプ要請フォルダが青色に切り替り すぐにコントロールに通知されます。ビープサウンドで受信することもできます。ヘル プ要請を受信可能な状態である場合のコントロールへの通知方法を変更するには、 コントロール設定のヘルプ要請タブで調整します。 インターネットゲートウェイ

ゲートウェイの主な役割は異なるファイアウォール配下に存在する PC 同士をシーム レスなリモートコントロールを実現させることです。

ゲートウェイはウェブベースのリモートコントロールをファイアウォールの設定を変更 せずに行えます。また http ベースのクライアント接続を安全で安定した接続方法を 提供しています。

オートメーション

NetSupport スクリプトエディタで作成したスクリプトをこのフォルダに追加すること ができます。リストビューは、各スクリプト名を表示、に新しいスクリプトを一覧に追加 することができます。

コントロールウィンドウ – リストビュー

リストビューは、ツリービューのフォルダに対応した内容を表示します。例えば、[アク ティブ] フォルダを選択すると、リストビューには、現在の接続中のクライアントの詳細 が表示されます。同様に検索を実行した場合は、検索結果が表示されます。

コントロールウィンドウのメニューから{表示}を選択、またはリストビュー内を右クリッ クすると、オブジェクトの表示方法を変更することができます。使用可能オプションは 大きいアイコン、小さいアイコン、一覧、詳細、サムネイルの表示オプションが利用で きます。

詳細を変更した場、各クライアントに関する情報が表示されます。

リストビューをカスタマイズするには

- 1. コントロールウィンドウのメニューから{表示}{列の設定}を選択します。
- 2. 列の設定ダイアログが表示されます。

すべてのコンピュータ	検索 アクティブ グル	レープメンバー ヘルプ依頼 イン	ノターネットゲートウェイ
すべてのコンピュータ 選 利用できる詳細(A): 連絡先 電話番号	Rできるすべてのコンピュー·	タ 現在の詳細(C): 名前 ユーザー名	±^
クライアント名 パージョン 発信元 ヘルプメッセージ 場所	追加(A) >> << 削除(R)	状態 説明 フロトコル アドレス システム	
ワイヤレス詳細 パッテリ詳細 ◀┃	▼ リセット(E)		ኾኅ

トップに表示されているタブは NetSupport コントロールで利用できる各クライアント リストウィンドウに関連しています。

希望するタブを選択して、追加可能なコラムが左ウィンドウに表示されます、右ウィン ドウには既に選択されているコラムが表示されます。単純に表示させたいコラム名を 選択して [追加]、または [削除] をクリックします。

ウィンドウの右端の矢印は、列の表示順を調整するのに使用します。一覧の上位になればなるほどリストの左寄りに位置します。
クライアントを検索する

ビューウィンドウ を開いてリモートコントロールやファイル操作を行う前にまず最初に クライアントに接続しなくてはなりません。

あらかじめ、すべてのクライアント名とそのネットワークアドレスがわからなくても、 NetSupport Manager は、自動的にクライアントを検出する検索機能を搭載してい ます。

ブラウズを実行すると、コントロール は設定した全てのプロトコル 上にメッセージを送 信します。コンピュータ名とネットワークアドレス とプロトコルを"サインイン"するように 全てのクライアントに要求します。

ツリービューの [検索] フォルダに応答したクライアントが追加され、リストビュー内に クライアントの詳細が表示されます。これらのクライアントに接続して一緒に操作する ことができますし、今後も使用できるようにグループで管理することもできます。

検索機能で見つかったクライアントに1度ても接続すると、その情報はツリービューの の [すべてのコンピュータ] フォルダに自動的に保存されます。これらのクライアント はクライアントリストに追加され、最初に検索を実行しなくても接続することができます。

注意: NetSupport ゲートウェイ 機能を使ってクライアント接続を確立することもで きます。この場合、検索時に [ゲートウェイクライアントを含む] を選択してく ださい。他のネットワーク」クライアントと同じように [検索] フォルダに表示さ れますが、クライアントリストには保存されません。

ネットワーク上のクライアントを検索するには

 コントロールウィンドウのメニューより{ネットワーク}{検索}を選択します。 または ツールバーの [検索] アイコンをクリックします。 または

ツリービューの [検索] フォルダを選択して、リストビュー内の [検索] アイコンを クリックします。

2. 検索ダイアログ が表示されます。

00	ネット	ワークの検索	
クライアント名の一 すべてのクライアン	部を入力してください。 トを検索します	。何も入力しない場合は、	
ヘルプを依頼	[しているクライアント	-のみ(0)	-
ゲートウェイ	クライアントを含む		
	ОК	キャンセル	ヘルプ(H)

部分的なクライアント名を入力もしくは入力せずに全クライアントをブラウズする

ここにクライアント名の最初の部分を入力して検索範囲を絞ります。ネットワーク上に クライアントが多数存在する場合、特定の単語や文字で始まるクライアントに絞ること ができます。ADMIN で始まるクライアントが存在する場合、入力するとADMIN1、 ADMIN_OFFICE、ADMINISTRATOR といったクライアントを検出します。接続可 能な全クライアントを検索する場合は、このフィールドに何も入力しないでください

ヘルプ要請のクライアントだけ

ヘルプ要請のクライアントだけを検索する場合は、このボックスにチェックをします。

ゲートウェイクライアントを含む

検索時にゲートウェイクライアントも含む場合は、このボックスにチェックをします。

検索を開始するには [OK] をクリックします。インフォメーションボックスはコントロー ルがクライアントを検索中であることを通知します。

NetSupport	
しています。お待ちください.	
	(++\\+)
	NetSupport しています。お待ちください.

クライアント検索を中止するには、[キャンセル]を押します。[検索] フォルダ内に検 索条件に一致するネットワーク上の接続可能なクライアントの一覧が表示されます。 右クリックで個々のクライアントに接続、プロパティの表示、または操作を実行するこ とができます。

クライアントに接続する

クライアントをリモートコントロールする前に、必ずクライアントに接続してください。

クライアントに接続するには

[すべてのコンピュータ] または [検索] フォルダ内で接続したいクライアントを選択し、{クライアント} {接続}を選択します。
 または
 クライアントアイコンを右クリックして [接続] を選択します。
 または
 クライアントアイコンをダブルクリックすると、すぐにクライアント画面を表示します。

クライアントプロファイクライアントプロファイルで設定した同一のユーザーIDと パスワードでなくてはなりません。ルが有効な場合、ユーザーIDとパスワードを 入力する必要があります。

クイック接続

クイック接続は、ネットワーク検索を実行してリストビューからせ接続したいクライアント を選択するという手間を省いて、**クライアント名、ログイン名、**もしくは**ネットワークアド** レスでクライアントリストのクライアントに直接接続できます。

NetSupport ゲートウェイ 経由の HTTP 接続が設定されているクライアントも選択 することができます。

クライアントに直接接続するには

- 1. メニューから{クライアント} {クイック接続}を選択します。
- 2. クイック接続ダイアログが表示されます。

00	クイック接続
接続するクライアントの名前または	:アドレスとプロトコルを入力してください:
● 名前(N)	
〇 ユーザー名(U)	
○アドレス(A)	
□ HTTP ゲートウェイ	Jane ÷
(●) TCP/IP	
	接続 キャンセル ヘルプ(H)

- 3. クライアント名、ログインユーザ名、ネットワークアドレス、もしくはプロトコルのい ずれかの接続方法を選択します。
 - 注意: ゲートウェイ経由の HTTP 接続が設定されているクライアントは、名前 またはユーザ名の他に該当するゲートウェイ名を一覧から選択する必 要があります。
- 4. [接続]をクリックします。
- 指定したクライアントに NetSupport が接続を試みているダイアログが表示されます。

接続が成功すると、[アクティブ] フォルダが開き、クライアントの詳細がクライアントの 状態に表示されます。ビュー画面を表示、1 対 1 またはグループ作業ができるように なります。

注意

- TCP/IP をお使いの場合、アドレスは>192.168.100.20 のようなフォームにないります。
- ユーザ名で接続する場合、この条件に該当するクライアントのコンピュータが 複数存在すると、選択できるようにクライアントの一覧が表示されます。

異なるプロトコルのクライアントに接続する

NetSupport は複数のプロトコル上でクライアント接続が可能です。対応している 2 つのプロトコルは、TCP/IPとHTTPです。

プロトコルは、クライアント設定の接続オプション内で設定およびテストすることができます。

コントロールがブラウズを実行すると設定した全てのプロトコルを検索します。クライアントを選択してクライアントメニューから接続を選択します。

異なるプロトコルのクライアント接続でもコントロールは共存できます。ファイル配布や 画面送信などの操作は異なるプロトコル上で動作します。

接続する全クライアントが、特定のプロトコルのみを使用することがわかっている場合 は、そのプロトコルだけ設定しておけば、コントロールの初期化にかかる時間を少し短 縮できます。

サブネットを検索できるように NetSupport コントロールを設定す る

ほとんどの企業ネットワークはエンドユーザがネットワークリソースにアクセスできるように小規模ネットワークの集合体となっています。NetSupport Manager はあるネットワーク上の NetSupport Manager のインストールが別の内部接続しているネットワーク上のコンピューターをリモードで管理できるような特徴を取り入れています。 WAN によってリモート LAN への接続が提供されている場合、デフォルト設定の NetSupport Manager では、リモート LAN 上のコンピューターを管理することができます。

しかし、NetSupport Manager コントロールがリモート LAN 上のクライアントを検 索できるようにするには設定をいくつか変更する必要があります。必要な設定変更は NetSupport Manager で使用するネットワークプロトコルによります。WAN 上で使 用される最も一般的なプロトコルは、TCP/IP です。

IP サブネットを検索できるように NetSupport Manager コントロールを設定する

リモート IP サブネットを検索するように設定する前に、IP アドレスがどうのように成り 立っているのか理解し、特にブロードキャストアドレスとは何かを理解すると大変役に 立ちます。検索したいサブネットごとに IP ブロードキャストアドレスを計算する必要が あります。コントロールがインストールされているローカルサブネットアドレスもブロー ドキャストアドレスも含まれます。詳細に関してはテクニカルレファレンスの'**IP アドレ** スを理解する'を参照してください。

IP サブネットを検索するように NetSupport コントロールを設定するには

- 1. コントロールウィンドウのメニューから{ネットワーク}{設定}を選択します。
- 2. [プロトコル TCP/IP] を選択します。検索の設定を選択します。
- 3. TCP/IP クライアント検索設定ダイアログが表示されます。
- [追加] をクリックし、検索したいネットワークのブロードキャストアドレスを入力します。

00	IP 検索アドレスを入力	してください	
ОК	キャンセル	拡張 >>	

または

NetSupport がブロードキャストアドレスを計算できるようにするには、[拡張] をクリックしてターゲット IP アドレスとサブネットマスクを入力、もしくはアドレス範 囲を入力します。

サブネット				
ターゲット	・IP アドレス:			_
サブネット	マスク:			
)アドレス範囲				
IPアドレス	えから:			
IPアドレン	スまで:			
)ターミナル サート	22			
IPアドレス	λ :			
ポート範囲	8:		»>	
OK)	キャンセル	ヘルプ	<< 拡張	

5. [OK] をクリックします。#

注意:

- リモートサブネットのアドレスを追加する時は、ローカルサブネットのブロードキャストアドレスも表記されていることを必ず確認してください。そうしないと、検索実行時にローカルのクライアントが検出されません。
- お使いのネットワークルータによっては、WAN 接続で受信されているブロード キャストパケットを隠します。その場合は、コントロールが正しく設定されていて も、リモートサブネットを検索できません。

NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接続する

NetSupport ゲートウェイの主な役割はファイアウォール配下の PC 間のリモートコ ントロールを実現することです。HTTP により安定した安全な方法でクライアント/コン トロール接続が可能です。既存のファイアウォール設定を変更せずに Web ベースの リモートコントロールが可能です。

特定のポートを開放されていれば接続は可能ですが、大部分の企業はファイアウォ ールによってインターナルネットワークを守っていると思います。ファイアウォールによ って通常の TCP/IP 以外の他の外部接続は制限されてしまいます。そのため NetSupport のコントロール/クライアント接続はブロックされてしまいます。

HTTP プロトコルを使用しコントロールとクライアントの中継をすることで NetSuport ゲートウェイではこの問題を解決しています。

ゲートウェイのインストールと設定

ゲートウェイはクライアントとコントロールの両方がアクセスできるコンピュータで動 作するように設計されています。そのため、固定または静的な IP アドレスを必要と します。

注意:

- ゲートウェイコンポーネントは、Windows マシンにインストールする必要があります。
- プロキシサーバをお使いの場合、それを経由して通信するように NetSupport を設定することもできます。

ゲートウェイコンポーネントをインストールするには、NetSupport インストールのイ ンストールの種類の選択で、必ず [カスタム] を選んでください。

通信に使用するポートとクライアントまたはコントロールからの接続を認証するための 暗号化キーなどのゲートウェイのプロパティ設定をする必要があります。 **クライアントの設定** クライアントのコンピュータは HTTP プロトコルを使用するように設定し、ゲートウェイ のアクセス詳細が必要になります。

♂ プロトコル ■ TCP/IP ■ HTTP:	HTTP(出) ITTP を使用する	
PINサーバ セキュリティ リオートコントロール	ゲートウェイアドレス:	ポート: 443
クライアントのインターフェイス	代替ゲートウェイ (オプション):	ポート:
	ゲートウェイキー:	
	ゲートウェイに設定されている Comms. Management Pa を変更するには、値をここで指定してください。	cket Interval CMPI (秒):
	□ ゲートウェイ接続には、プロキシサーバを使用する	
	アドレス: ポート:	

- 1. 基本または拡張クライアント設定から{プロトコル-HTTP}を選択します。
- [HTTP を使用する] にチェックをします。初期設定では、ポート 443 が設定されています。
- ゲートウェイコンピュータの IP アドレスを入力して、使用するゲートウェイを確認 します。プライマリゲートウェイが利用できない場合の代理としてセカンダリゲート ウェイを指定することができます。
- 4. ゲートウェイで設定したものと同じゲートウェイキーを入力します。
- 5. NetSupport は、必要ならばプロキシサーバを経由して通信するように設定で きます。サーバのアドレスとポート番号を入力します。推奨ポートは 8080 です。
- ここに値を入力すると、ゲートウェイで設定されている Comms. Management Packet Interval を変更することができます。
- 7. [OK] をクリックします。

コントロールの設定

クライアントと同様に、コントロール側も HTTP を有効にする必要があります。

- コントロールウィンドウのメニューから{ネットワーク}{環境設定}{プロトコル-HTTP}を選択します。
- [HTTP を使用する] にチェックをします。初期設定では、ポート 443 が設定されています。
- 3. [OK] をクリックします。

ゲートウェイを追加する

コントロールは、複数のゲートウェイと通信することが可能です。コントロール側でそれぞれの情報を追加する必要があります。

 コントロールウィンドウのツリービューから [ゲートウェイ] フォルダを選択します。 または

コントロールウィンドウのツールバーから [新規] を選択します

 [ゲートウェイ] または [新規作成] を選択します。ゲートウェイの追加ウィザード が表示されます。

名前	
説明	

- 3. ゲートウェイ名と説明を入力し、[次へ]をクリックします。
- 4. ゲートウェイがインストールされているコンピュータの IP アドレスを入力し、使用 するポート番号を確認します。初期設定では、443 が指定されています。必要な らばプライマリゲートウェイが利用できない時に使用するセカンダリーゲートウェ イを入力します。[次へ]をクリックします。
- 5. このゲートウェイがプロキシサーバを経由して通信する場合は、その IP アドレ スと使用するポートを入力します。[次へ] をクリックします。
- ゲートウェイキーを入力します。ゲートウェイとクライアントで設定したキーと一 致するものでなくてはなりません。
- リモートクライアントの検索と操作の使用を制限するには、ユーザー名とパスワ ードを入力してください。[完了]をクリックします。
- 8. 新しいゲートウェイがリストビューに追加されます。

9. 上記の手順を繰り返し、コントロールで使用する他のゲートウェイを追加します。

コントロール - ゲートウェイ - クライアントの接続

これで全ての要素が1つになり、ゲートウェイ経由での接続準備が完了しました。ゲートウェイには、3つの基本目的があります:

クライアント登録を受信し保存する

コントロールがクライアントに接続できるようにするにはクライアントはゲートウェイに 接続していなくてはなりません。クライアントは定期的にゲートウェイにポーリングし、 接続状態を報告します。ゲートウェイは内部テーブルにクライアント詳細を保存します。

コントロールからの検索コマンドに応答する

コントロールがゲートウェイを追加すると、ゲートウェイを検索してクライアント検索す ることができます。ゲートウェイはリスト内の接続可能クライアントをスキャンして検索 条件に該当するクライアントを返します。

- 注意: 今後も使用できるようにクライアント情報が保存されるような通常のネットワ ーク検索と異なり、ゲートウェイのクライアント情報はコントロールの終了時に 失われます。これはゲートウェイ側で情報を更新するためです。クライアント は常時ゲートウェイと接続していますが、コントロールは違います。このため、 その都度クライアントを見つけるにはゲートウェイを検索する必要があります。
- コントロールウィンドウのツリービュー内の [ゲートウェイ] フォルダから該当する ゲートウェイを選択し、ダブルクリックでゲートウェイ検索をします。ゲートウェイ 検索ダイアログが表示されます。クライアント名の一部を入力するか接続可能な すべてのクライアントを検索するには、空欄のままにします。 または ツリービュー内のゲートウェイ名を右クリックし、[開く]を選択します。この方法だ と接続可能なすべてのクライアントを自動的に検索します。
- リストビュー内に見つかったクライアントが表示されます。通常のようにクライアントに接続し、リモートコントロールができます

注意: コントロールウィンドウのツールバーから [検索] を選択し、[ゲートウェイク ライアントを含む] にチェックをするとネットワークとゲートウェイを同時に検 索するこもできます。見つかったすべてのクライアントはツリービューの [検 索] フォルダ内に表示されます。ゲートウェイクライアントは[インターネット ゲートウェイ] フォルダには追加されません。

接続中のコントロールとクライアント間の全データを中継する

データは、ゲートウェイ経由で接続中のクライアントとコントロール間でシームレスに 転送されますが、パフォーマンスが影響することはありません

ファイアウォールやプロキシサーバを経由して接続する

ファイアウォール/プロキシサーバの内側で動作している NetSupport クライアント/ コントロールは、ネットワークのセキュリティを損なうことなく、外部のコンピュータに接 続することができます。ファイアウォール/プロキシサーバの外側で動作しているコント ロールとクライアントのコンピューターへの接続も同様です。

注意: ファイアウォールで保護されている PC 同士でリモートコントロールが行える ようにデザインされています。ゲートウェイ により安全・安定したクライアント /コントロール接続を可能とします。既存のファイアウォール設定を変更せず に Web ベースのリモートコントロールを実現します。ゲートウェイ通信には ポート 443 で HTTP プロトコルを使用しています。お使いのファイアウォー ルでこのポートが開いているか確認してください。

ファイアウォールの内側のコントロールとクライアントに接続する

ファイアウォールの外側のネットワークにあるコントロールが、ファイアウォールの内 側のネットワークにあるクライアントに接続するためには、何かしらのアドレス変換方 法を有効にする必要があります。そうすることで、外側からは見えない内側のネットワ ークのコンピュータのアドレスが外側のネットワークからアクセスできるように変換され ます。ファイアウォールによっては、内側のコンピュータにアクセスできる IP アドレスと 解放するポートを指定できるものもあります。

NetSupport では TCP/IP ポートを使用

コントロールからクライアント

NetSupport コントロールは、TCP/IP ポート 5405 を使用してクライアントに IP リ クエストを送信します。NetSupport クライアントはコントロールからのインカミングリ クエストをポート 5405 で受信します。

クライアントからコントロール

NetSupport Manager 5.00 でクライアント接続機能を導入にあたり、2 種類の接続(コントロールからクライアントの呼出, クライアントからコントロールの呼出) が競合せずにそれぞれ独立して機能するために追加ポートを設けています。このために ポート 5421 を登録しています。

プロキシサーバの内側のコントロールやクライアントに接続する

アドレス変換の手段がないため、プロキシサーバでは接続できません。プロキシサー バの設計上、保護されたネットワークへの接続は許可しません。 ファイアウォールもしくはーバの内側から外側のクライアントに接続するには、次の条件を満たしている必要があります:

- ファイアウォールもしくはプロキシサーバで外部への接続するように、ポート 5405 が有効になっている。
- 外部のクライアントは同じポート番号で受信し、かつファイアウォール/プロキシ サーバの内側のコントロールに見える状態である。

クライアントがコントロールを呼出す場合

- ファイアウォールもしくはプロキシサーバがポート 5421 で外部への接続が可 能であるかどうか確認します。
- NetSupport クライアントのメインウィンドウのメニューから{コントロール呼出} を選択します。
- 3. NetSupport クライアントのメインウィンドウのメニューから{コントロール呼出} を選択します。
- コントロールは、クライアントが接続しようとしている通知メッセージを受信します。
 接続を許可するか拒否するか選択できます。

注意:ポート 5421 は設定変更できません。

コントロールがクライアントを呼出す場合

- 1. コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{クイック接続}を選択します。
- 2. 接続したいクライアントのホスト名またはクライアントの IP アドレスを入力します。
- 3. [OK] をクリックします。

注意: NetSupport は SOCKS を経由して直接プロキシサーバと通信できません。 TCP/IP によるダイレクト接続が可能な場合のみ機能します。

クライアントを切断する

接続したクライアントに対してリモートコントロールを終了したら、必ずセッションを切断 して NetSupport を終了してください。

クライアントを切断するには

- 1. コントロールウィンドウから [アクティブ] フォルダを選択します。
- 2. リストビューで切断したいクライアントを選択します。
- 3. コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{切断}を選択します。 または

クライアントアイコンを右クリックして [切断] を選択します。

すべてのクライアントを切断する

クライアントを1台1台切断しなくても、1回の操作で接続中のすべてのクライアントを切断できます。

複数のクライアントを切断するには

1. コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{すべて切断}を選択します。

クライアントに自動ログイン

お使いのコンピュータに名前の規則性が使用されている場合、時間を節約するため にクライアントに自動的にログインできます。

注意: この機能は、Windows クライアントで動作します。

クライアントのコンピュータに自動的にログインするには

- 1. ログインしたいクライアントを選択します。
- 2. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{クライアント}{ログイン}を 選択します。 または ツールバーの [ログイン] アイコンをクリックします。 または 右クリックして [ログイン] を選択します。

自動ログインダイアログが表示されます。

00	ログイン	
ログインの詳細		
ユーザー名(U):		ログイン(L)
パスワード(P):		
ドメイン(M):		
状態		0
名前 マーザー名		
Market SP3		
	C	閉じる ヘルプ

- 4. ユーザー名、パスワードとドメインを入力し、「ログイン」をクリックします。ログイ ンに成功するとユーザー名が表示されます。
- 5. 完了して終了するには、「完了」をクリックします。

電源管理 – 電源オン/電源オフ

電力消費は、大量の発熱、エネルギー消費の増加に相当します。使用中の数百万台 のワークステーション、同じ会社や学校内にある使用中の数百万台、時には数百台 のワークステーション。エネルギーを節約したいという願望は、過去 10 年以上の間 でマイナーな問題から主要な問題へと成長してきました。

電源管理は、システムの消費電力を削減するためにハードウェアとソフトウェアがで きるようになる技術です。停止期間中にハードウェアの一部をシャットダウンすること で動作します。つまり、ワークステーションは必要な時に作業できる準備ができていて、 そうでない時はエネルギーを節約することを意味します。

クライアント電源オン

NetSupport クライアントの電源をオンにするには、そのコンピュータが Wake-on-LAN ネットワークアダプターを BIOS がそれに対応している必要があります。(詳しく はネットワークアダプターのドキュメントを参照してください。) 既知のクライアントであ る必要もあります。コントロールは Wake-on-LAN パケットをクライアントのネットワ ークアダプターに送信して電源オンの命令出します。

NetSupport クライアントの電源をオンにするには

- 1. 電源オンにしたいクライアントアイコンを選択します。
- コントロールウィンドウのメニューで{クライアント} {電源オン}を選択します。 または 右クリックして [電源オン] を選択します。 または コントロールツールバーの管理アイコンをクリックして [電源オン] を選択します。
- 3. クライアントのコンピュータの電源がオンになります。

グループで電源をオンにするには

- 1. ツリービューの [すべてのコンピュータ] フォルダを開いて対象となるグループを 選択します。
- コントロールウィンドウのメニューから{グループ}{電源オン}を選択します。 または グループを右クリックして [電源オン]を選択します。 または コントロールツールバーの [管理] をクリックして [電源オン] を選択します。
- 3. クライアント PC の電源がオンになります。

クライアントの電源オフ

NetSupport 電源管理機能を使えば、コントロールはリモートでクライアント PC の 電源をオフにすることができます。

NetSupport クライアントの電源をオフにするには

- 1. クライアントで開いているアプリケーションが全て終了していることを確認します。
- 2. 電源をオフにしたいクライアントアイコンを選択します。
- コントロールウィンドウメニューから{クライアント}{電源オフ}を選択します。 または 右クリックして{電源オフ}を選択します。 または コントロールツールバーの[管理]をクリックして[電源オフ]を選択します。
- 4. クライアント PC の電源がオフになります。

グループの電源をオフにするには

- 1. クライアントで開いているアプリケーションが全て終了していることを確認します。
- ツリービューの [すべてのコンピュータ] フォルダを開いて、対象のグループを選 択します。
- コントロールウィンドウのメニューで{グループ}{電源オフ}を選択します。. または グループを右クリックして [電源オフ]を選択します。 または コントロールツールバーの [管理] をクリックして [電源オフ] を選択します。
- 4. クライアントのコンピュータの電源がオフになります。

クライアントを再起動またはログアウトする

コントロールは個々もしくはグループのクライアントをリモートで再起動/ログオフする ことができます

クライアントを再起動もしくはログアウトするには

- 1. コントロールウィンドウのリストビューでクライアントを選択します。
- メニューで{クライアント} {再起動またはログオフ}を選択します。 または クライアントアイコンを右クリックし [再起動またはログアウト] を選択します。 または コントロールツールバーの[管理] アイコンをクリックして [再起動] または [ログ アウト] を選択します。
- 3. [はい]をクリックして、再起動/ログアウト送信の確認をします。
- 4. クライアントからただちに切断されます。

または

1. ビュー中にビューウィンドウのメニューから[クライアント]-[再起動/ログアウト]を 選択します。 または

ビューウィンドウのツールバーで [再起動/ログアウト] アイコンを選択します。

- 2. [はい] をクリックして再起動/ログアウト送信の確認をします。
- 3. クライアントからただちに切断されます。

グループを再起動またはログアウトするには

- コントロールウィンドウのリストビューでグループのメンバーを選択します。または コントロールのツリービューですべてのグループを選択します。
- コントロールウィンドウのメニューで{グループ} {再起動/ログアウト}を選択します。

または

ツリービューでグループ名を右クリックし [再起動/ログアウト] を選択します。 または

コントロールツールバーの [管理] アイコンをクリックして [再起動] または [ロ グアウト] を選択します。

- 3. [はい]をクリックしてグループへの再起動/ログアウト送信を確認します。
- 4. グループメンバーからただちに切断されます。
- **注意**: この機能を使用する前にグループが有効で、かつ必ず誰も使用していない ことを確認してください!

Ctrl+Alt+Delete を送信する

ビュー中または接続中のクライアントに対して Ctrl+Alt+Delete を送信することができます。

接続中のクライアントに Ctrl+Alt+Delete を送信するには

1. Ctrl+Alt+Esc キーを同時に押します。

または

- コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{Ctrl+Alt+Delete 送信} を選択します。 または コントロールツールバーの[管理] アイコンをクリックして [Ctrl-Alt-Delete 送 信]を選択します。
 - または

右クリックして [Ctrl+Alt+Delete] を選択します。

2. [はい] をクリックして、Ctrl+Alt+Delete 送信を確認します。

ビュー中のクライアントに Ctrl+Alt+Del を送信するには

1. Ctrl+Alt+Esc キーを同時に押します。

または

- 1. ビューウィンドウのメニューから{クライアント}{Ctrl+Alt+Delete 送信}を選 択します。
- 2. [はい] をクリックして、Ctrl+Alt+Delete 送信を確認します。

クライアントの画面を表示する

ビューウィンドウ

ビューウィンドウは、個々のクライアントとインタラクティブな作業をするためのメインイ ンターフェイスです。それぞれのクライアントにはそれぞれビューウィンドウがあります。 クライアントのビューウィンドウは、コントロールにクライアントの画面を表示する際に 使用します。クライアントのビューウィンドウを複数開いて同時に表示させることもでき ます。



ビューウィンドウは 4 つのセクションで構成されています:

タイトルバー

クライアントの画面領域で表示されているクライアント名を表示します。

メニューバー

メニューバーは様々なツールやコンフィグユーティリティを実行するためのメニューの 集合体で構成されています。 ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。ドロップダウンメニューでの操作の手間を省き、アイコンをダブルクリックす るだけでタスクや機能を実行できます。マウスカーソルをアイコンに重ねるとその機能 の簡易説明が表示されます。

ツールバーを右クリックして [ユーザー設定] を選択すると、オブジェクトを追加また は削除できます。

クイック接続	^		新規	-
* すべて切断		追加(A) >>) 💉 接続	
再起動		区切り(S) >>	成 切断	
メッセージ		<< 削除(R)	😡 校案	1
グループに追加	-	リセット(E)	アクション	
•			1	

クライアントの画面領域

クライアントの画面を表示させるために使用します。

クライアントの画面を表示する

クライアントに接続したら、リモートコントロールできます。この操作を画面受信と呼び ます。コントロール PC にクライアント画面がウィンドウで表示されます。NetSupport では同時に複数のクライアントをウィンドウでそれぞれ表示することが可能です。

クライアントの画面を表示するには

- コントロールウィンドウのメニューより{クライアント}{画面受信}を選択します。 または 表示したいクライアントアイコンを右クリックし、[画面受信]を選択します。 または リストビュー内のクライアントアイコンをダブルクリックします。
- クライアント画面を表示したビューウィンドウが表示されます。クライアントがマ ルチモニターを使用している場合、ビューウィンドウツールバー下部に表 示されているタブをクリックするとデスクトップ画面を切り替えることがで きます。

コントロールウィンドウに戻るには

- 1. ビューウィンドウのメニューから{クライアント}{閉じる}を選択します。
- **注意**: クライアント画面を表示中は、コントロールウィンドウのエクスプローラからファ イルを直接クライアントのデスクトップにドラッグ&ドロップできます。

画面受信モード

3 つのモードでクライアントの画面を表示できます:

共有

コントロール側とクライアント側にクライアントの画面が表示されます。コントロール側 とクライアント側のユーザーがキーボード入力とマウス操作ができます。

観察

コントロール側とクライアント側にクライアントの画面が表示されます。クライアント側 のユーザーだけがキーボード入力とマウス操作ができます。コントロール側のユーザ ーは完全にロックされます。

制御

コントロール側とクライアント側にクライアントの画面が表示されます。コントロール側 のユーザーだけがキーボード入力とマウス操作ができます。クライアント側のユーザ ーは完全にロックされます。

注意:制御モードは Windows クライアントでのみ使用可能です。

画面受信モードを変更するには

1. 画面受信ツールバーの表示モードアイコンから共有、観察または制御を選択し ます。

または

画面受信ウィンドウのメニューから{クライアント}{観察、共有または制御}を選択します。

複数のクライアント画面を同時に表示する

NetSupport は、複数のクライアントの画面をウィンドウごとに同時に表示させること ができます。コントロールの画面サイズに合うようにビューウィンドウの大きさを合わ せることができます。

複数のクライアントの画面を表示するには

- 1. 表示したい各クライアントをビューします。
- コントロールのメニューから{ウィンドウ}{並べて表示}を選択します。表示したい NetSupport ウィンドウを選択します。

コントロールの画面に、選択したウィンドウが並べて表示されます。クライアントの画 面全体を見たい場合は、各クライアントのビューウィンドウのツールバーで [画面サイ ズ] オプションを選択してください。

注意: 初期設定では、[画面サイズ]が実行されます。通常の解像度で画面を表示 する場合は、画面サイズを無効にします。

クライアントの画面を表示中は、クライアントのモニタを黒抜けにする

セキュリティ上の理由から、リモートコントロールの間はクライアントのモニタに何も表示させない必要がある場合があります。

- 1. ビューウィンドウのメニューから{クライアント}{ブランク画面}を選択します。
- クライアントのモニタには、一時的に何も表示されなくなります。
- 3. モニタを元に戻すには、ビューウィンドウのメニューから{クライアント}{ブランク 画面}を選択します。

画面サイズ

画面サイズは、スクロールバーを表示して画面を切り替えることなく、リモートウィンド ウのサイズに合わせてリモート画面を表示することができます。

複数の画面を同時に表示することができます。.

注意: [画面サイズ]を使用すると、ビューウィンドウの画質と明度に影響があり ます。そこで作業するためというようりも、画面をモニタするために設計され ているためです。目的に合わせて画面のサイズを設定してください。

ビューウィンドウのサイズに合わせて表示するには

クライアントのビューウィンドウから{表示}{画面サイズ}を選択します。
 または
 ビューウィンドウのツールバーの [画面サイズ] アイコンをクリックします。

クライアントの画面受信の設定を表示する

複数のクライアントをリモートコントロール中に、コントロールは各クライアントの応答 方法をクライアントに応じて変更できます。例えば、あるクライアントは接続に使用す る回線が低速なので圧縮を使用し、別のクライアントでは圧縮を使用しないように設 定できます。個別のクライアントに対するコントロールの設定情報を変更すると、使用 中のコントロールのプロファイルの設定情報が一時的に修正されます

ビュー中にビュー設定を変更するには

- 1. ビューするクライアントを選択します。
- 2. ビューウィンドウのメニューから{表示}{クライアントの設定}を選択します。 または

ビューウィンドウのツールバーで [設定] ボタンを選択します。

- 3. 設定ダイアログが表示されます。
- 画面受信の開始時に有効にするオプションを設定してください。(詳しくは、本マニュアルの「コントロールの設定 リモートコントロール」を参照して利用可能なオプションを確認してください)
- **注意:** クライアント設定を編集する場合は、変更は現在コントロール中のクライア ントにだけ適用されます。変更した設定を今後も適用したい場合は、[設定 情報を更新する] にチェックをします。

縮小画面表示/モニタモード

縮小画面表示や監視モードでは、コントロールは同時に複数のクライアント画面を表示することが可能です。

接続中の各クライアント画面を便利な縮小画面で表示することでクライアントのアクテ ィビティをモニタリングする簡単な方法です。モニタモード中でもコントロールはビュー、 チャット、ファイル転送などの NetSupport の機能を使用することができます。

128 ピクセルより大きい縮小画面は、アイコンの選択肢が表示されます。色々なリモートコントロール機能が表示されます。アイコンをクリックするとそのクライアントに対して機能を実行することができます。使用している機能はハイライト表示されます。

- コントロールウィンドウのツリーでフォルダを選択してクライアントリストを表示します。表示する縮小画面の数を接続中のクライアントだけに制限できます。
- コントロールウィンドウのメニューから{表示}{縮小画面}を選択します。 または リストビュー内の空いている場所で右クリックし、[縮小画面]を選択します。 または リストビュー上部の [モニタ] アイコンをクリックします。 または

縮小画面ツールバーの [モニタ] アイコンをクリックします。



リストビューに各クライアントの縮小画面が表示されます。縮小画面をダブルクリック するとビューを開始します。右クリックで様々な機能を選択できます。例えば、複数の 縮小画面を選択してチャットに招待することもできます。

クライアントが複数のモニタを使用している場合は、すべてのモニタまたはモニタ1、2 のように表示する縮小画面を変更できます。縮小画面ツールバーのマルチモニタアイ コンをクリックし、対応するオプションを選択します。

リストビュー上部のスライドを使って縮小画面をリサイズできます。表示中の縮小画面 の幅が 128 以上の場合は、各縮小画面上にログオンユーザ名とOS が表示されま す。このデータは画面をズームイン時にも利用可能です。縮小ツールバーの更新間 隔をクリックすることで、表示されるデータが更新される頻度は調整されます。

リストビューのクライアントを管理する

オペレーティングシステム、接続方法などのいろいろなトピックを使って、クライアント をカテゴリー別に効率よく管理することができます。

- 1. コントロールのメニューから{表示} {カテゴリー}を選択します。
- 2. クライアントを管理したいカテゴリーを選択します。
- 3. クライアントはカテゴリ別にグループ分けされてリストビューに表示されます。

注意: ウィンドウズ XP かそれ以降に対応しています

アプリケーションを起動する

個々のクライアントまたはグループのクライアントをリモートコントロールせずに、クラ イアントでアプリケーションを起動する(実行する)機能です。

注意: アプリケーションがクライアント側にインストールされているまたは利用できる状態でなくてはなりません。

クライアント PC でアプリケーションを実行するには

- 1. ツリービューの [アクティブ] または [検索] フォルダを開いて、対象となるクライ アントを選択します。
- コントロールウィンドウのメニューから {クライアント} {クライアントで実行}を選 択します。 または リストビューでクライアントを右クリックして [クライアントで実行] を選択します。 または コントロールツールバーの [アクション] アイコンをクリックして [プログラム] を 選択します。
- 3. アプリケーション実行ダイアログ が表示されます。

	シライアンドビアフリリーションの美行	
	実行 一覧を保存	
	クライアントで実行するアプリケーションの名前とパス(コマンドライン	実行(E)
↓ '	(ファータを含む)を入力してくたさい。	閉じる
ų.		ヘルプ(H)
ゴ クライア:	ットがログオンしている場合のみ実行する	
✓ クライア: 課	ットがログオンしている場合のみ実行する	
 ✓ クライア: 課 結果を表が 	ットがログオンしている場合のみ実行する 	
 ✓ クライア: 課 ○ 結果を表示 名前 	ットがログオンしている場合のみ実行する 示しない 結果コード	

クライアントで実行するアプリケーション名とパスを入力します。
 または
 [ローカルの参照] ボタンをクリックし、コントロールのコンピュータで実行できる
 アプリケーションを選択します。

注意: 実行を成功させるにはクライアントのアプリケーションがコントロールと 同じ場所に保存されているかどうかを確認してください。

- [一覧に追加] にチェックをして [保存一覧] タブに今後使用できるように保存し ます。
- 6. 実行内容とパスを確認します。
- 7. [実行] をクリックします。

注意: ログオンされているクライアントにアプリケーションを実行したい場合は、[ク ライアントがログオンしている場合は実行する]を選択します。

選択したすべてのクライアントでアプリケーションが起動し、結果ボックスに操作結果 が表示されます。

実行可能ファイル

コントロールの実行ダイアログで入力されたアプリケーションまたはファイルがリモー トのクライアントマシン(複数可)上で実行されます。

使い易さのため、「クライアント実行」機能は、フルパスの場所とユーザーの環境設定 内で指定した場所の両方を使用してアプリケーションやファイルを実行することができ ます。

リモートの Mac システムで gedit を実行するには、次の操作をします:

- TextEdit.app
- /Applications/TextEdit.app

ファイルの関連付け

「クライアントで実行」を使用してファイルを開くときは、ファイル内容を表示するために 自動的に関連付けられたアプリケーションを使用します(例:インストールされている 場合、iWork または Word で file.doc が開かれます。)。

関連付けられていないアプリケーションでファイルを開くには、ファイルを開くアプリケ ーションを手動で指定することができます(例:file.txtを開くために TextEdit アプ リ)。

追加情報

クライアント実行を使って実行されるアプリケーションやファイルのデフォルトの場所 は、\$HOME(例:/Users/{username})です。これはスクリプトで相対パスを使用 して作成されたファイルがこの場所に作成されることを意味します。

フルパスを入力しなくてもスクリプトを実行したり、\$HOME の場所からファイルを開く ことも可能です:

- ./script.sh
- file.doc

アプリケーションまたはファイル名にスペースが含まれている状況では、「クライアント で実行」コマンドが二重引用符で囲まれていることを確認してください(例: "/Applications/QuickTime Player" "/Users/{username}/Documents/ video.mov")。

注意:

- ドキュメントがファイル実行権を与えられている場合は、「クライアントで実行」機 能でそれらを開くことができません。
- アプリケーションを実行するときは、アプリケーションの名前を入力することが重要です。これは表示名と異なる場合があります。

クライアントのグループでアプリケーションを実行するには

- 1. ツリービューの [すべてのコンピュータ] フォルダを開きます。
- 対象となるグループを右クリックして、[クライアントで実行]を選択します。 または コントロールウィンドウのメニューから {クライアント} {クライアントで実行}を選 択します。 または コントロールツールバーの [アクション] アイコンをクリックして [プログラム] を 選択します。
- 3. アプリケーション実行ダイアログが表示されます。
- クライアントで実行するアプリケーション名とパスを入力します。
 または
 [ローカルの参照] ボタンをクリックしてコントロール PC で実行できるアプリケーションを選択します。

- 5. [一覧に追加する] にチェックをして、[保存一覧] タブに今後使用できるように保存します。
- 6. 実行内容とパスを確認します。
- 7. [実行] をクリックします。

選択したグループのすべてのクライアントでアプリケーションが起動し、結果ボックス に操作結果が表示されます。

注意: 実行を成功させるにはクライアントのアプリケーションがコントロールと 同じ場所に保存されているかどうかを確認してください。

今後も使用できるように実行したアプリケーションの内容を保存するには

- 1. アプリケーション実行ダイアログを開きます。
- 2. [実行] タブを選択します。
- 3. 実行するアプリケーション名とパスを入力します。
- 4. [一覧に追加] ボタンをクリックします。
- 5. プログラム詳細の追加/編集ダイアログが表示されます。
- 6. アプリケーション実行の内容とパスを確認します。
- 7. [OK] をクリックします。
- 8. [一覧を保存] タブを選択します。
- [ツールバーを表示する] にチェックをすると、コントロールウィンドウのツールバーから実行できるようにします。
- 10. [閉じる] をクリックします。

簡単にアプリケーションを起動できるようにクイック実行ツールバーにショートカットボ タンが表示されます。

保存したアプリケーション実行を編集するには

- 1. アプリケーション実行ダイアログを開きます。
- 2. [一覧を保存] タブを選択します。
- 3. 編集するアプリケーションを選択します。
- 4. [編集]をクリックします。
- 5. プログラムの追加/編集ダイアログが表示されます。
- 6. 終了するには、[OK] をクリックします。

保存したアプリケーション実行を削除するには

- 1. アプリケーション実行ダイアログを開きます。
- 2. [一覧を保存] タブを選択します。
- 3. 削除するアプリケーションを選択します。
- 4. [削除]をクリックします。
- 5. 削除の確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。

コントロールの画面をクライアントに表示する

クライアントをリモートコントロールできるだけでなく、NetSupport ではコントロール 画面を次のクライアントに対して見せることができます。

- 選択した各クライアント
- クライアントのグループ
- クライアントのアドホック選択
- リプレイファイルをクライアントに見せることもできます。
- 注意: コントロール画面をクライアントに画面送信する時、各クライアントに画面情報 を順番に送信します。ネットワーク環境によっては帯域が制限されていたり、 大多数の PC に画面送信を行う場合、パフォーマンスに影響します。こういっ た状況では NetSupport のブロードキャストショー機能を有効にしてくださ い。画面情報を同時に全 PC に送信するようになります。従って転送スピード が向上します。NetSupport によって全体のネットワークトラフィックを減らし ますが、この機能によりネットワークにブロードキャストパケットが追加発生し ます。

コントロールの画面を表示するには

- 1. 接続中のクライアントを選択します。
- 2. コントロールウィンドウのメニューで{ツール} { 画面送信 } を選択します。

または

コントロールツールバーの [デスクトップ] アイコンをクリックして [画面送信] を 選択します。

3. 画面送信の設定ダイアログが表示されます。

	NetSupport - 圆面达语	
画面送信の開始準備ができました:		画面送信
● クライアント XP-SP3 ○ 一覧から選択(T)		キャンセル
名前 🔻 説明		ヘルプ(H)
Ø www.xp-SP3		
クライアントを画面送信の対象から除	外するにはチェックマークを外します	1
□ リプレイファイルを作成		
🗌 クライアントの表示設定	全面面表示 :	
□ クライアントの表示設定	全面面表示 :	

画面送信の対象とするクライアントを選択します。接続中のクライアントが一つだけの 場合や、[画面送信] ダイアログボックスを表示する前にクライアントを選択していた 場合は、そのクライアントだけが表示され、選択対象となります。それ以外の場合は、 以下の手順で画面送信の対象とするクライアントを選択してください:

一覧から選択

接続中のすべてのクライアントとその説明が一覧に表示されます。接続中のクライア ントが 1 台だけの場合は、一覧は無効となります。画面送信をするクライアントを選 択して、[画面送信] をクリックします。

リプレイファイルを作成する

画面送信のセッションを録画しリプレイファイルに保存するとクライアントは、後日セッションを再生することができます。

クライアントの表示モードの設定 (ウィンドウまたは全画面表示)

このオプションでクライアントにウィンドウまたは全画面表示で画面送信を実行するか どうかを設定します。

表示したい内容を選択する

コントロールがマルチモニタを使用している場合、NetSupport は認識します。ドロッ プダウンリストで表示させるモニタを選択できます。どちらが正しい画面か分らないと きは、[識別] を選択します。

画面送信を終了するには

- 1. タスクバーの NetSupport アイコンを右クリックします。
- 2. 画面送信の一時停止をクリックします。
- 3. 画面送信ダイアログが表示されます。

前	▼ 説明	
XP-SP3		再開(R)
5		総統
		ヘルプ(H)

以下の目的のボタンがあります:

終了

画面送信を終了してクライアントの画面とキーボードを解放します。

再開

画面送信を再開します。

継続

コントロールが別の作業をしている間、クライアントの画面とキーボードは引き続きロックします。 クライアントには、コントロールが何をしているのかは見えません。効率 よくショーを一時停止できます。

注意: コントロールからクライアントにショーを実行するには、コントロールのコンピ ュータにもクライアントプログラムを必ずインストールしてください。クライアン トプログラムが動作している必要はありません。

クライアント画面を複数のクライアントに表示する

NetSupport では、コントロールの画面を複数の接続中のクライアントに見せること ができます。特定のクライアントの画面を複数の他のクライアントに表示させることも できます。この操作をディスプレイといいます。

例えばコンピュータ_1のアプリケーションを経理部門に表示したい場合、コンピュー タ_1の画面をビューして、それを経理部門のメンバーにショーすることができます。。 これによりメンバーはコンピュータ_1の画面を見ることができます。

クライアント画面を表示するには

- 1. 画面送信の対象となるクライアントと画面受信の対象となるクライアントに接続します。
- 2. クライアントの画面を見せたいクライアントをビューします。
- メニューで[ツール]-[画面送信]を選択します。
 または
 ツールバーの [画面送信] アイコンを選択します。
- 4. [一覧から選択]を選択します。
- 5. 現在、画面受信中のクライアントを対象外にします:緑チェックを赤い×に変更 します。そうしないと、クライアントを画面受信した際に、「このクライアントにショ ーを行えません」というエラーが表示されてしまいます
- 6. 画面送信を開始するには、[画面送信]をクリックします。

画面受信しているクライアントの画面が他のクライアントに画面送信されます。

リプレイファイル

リモートコントロール中のコントロール側またはクライアント側の画面、キーボード、マウスの操作を録画、保存、再生することができます。

適切な設定オプションを有効にすることでコントロールは記録を行なうことが可能です。

- ローカルの記録
- 各クライアントまたはすべてのクライアント PC

ローカルの操作を記録する

ローカルコンピュータの操作を録画、再生することができます。リモートのクライアント にリプレイファイルを見せることもできます。

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューより{ツール}{記録}を選択しま す。

または

コントロールツールバーのデスクトップアイコンをクリックして記録を選択します。 2. ローカル操作の録画ダイアログが表示されます。

		OK
	参照(B).	· ++>t
		~,,,,,,,

3. サウンドを含む

画面、マウス、キーボード操作に加えてサウンド設定がされいるコンピュータの 場合は、ナレーションを収録することもできます。有効にするには、このボックス にチェックをします。

4. 物理フォントを記録

画面共有時のデータの送信量を減らすため、NetSupport では、参照用のフォ ント情報を送信します。対象のコンピュータは、内部のフォントマップを参照して 送られてきたフォント情報に一致するフォントを見つけます。ほとんどの場合は、 同じフォントを利用できますが、そうでない場合は完全なフォント情報を送信する ことができます。有効にするには、このボックスにチェックをしてください。
5. フォルダ

リプレイファイルの保存先を指定します。各ファイルを判別しやすいように'ローカ ル' と録画日時がファイル名の先頭に付きます。

- 6. 録画を開始するには [OK] をクリックします。[録画] アイコンがタスクバーに表示されます。
- 7. 録画を停止するには、[録画] アイコンをダブルクリックします。

クライアント PC 側のリプレイファイルを録画する

コントロールが、リプレイファイルを録画するように設定されているクライアントをビューすると、リモート PC の操作を録画します。

ビュー中のすべてのクライアントのリプレイファイルを録画する

この手順は、コントロールがクライアント PC をビューするたびにその都度リプレイファ イルを作成します。この設定は、現在のコントロールの設定、または名前付き設定フ ァイルに適用できます。

- 現在の設定を変更するには、コントロールウィンドウのメニューから{表示}{現 在の設定情報の設定}を選択します。 または ツールバーの [設定] をクリックします。
- 2. 設定情報の設定ダイアログが表示されます。
- [セキュリティ リプレイファイル]を選択し、該当するオプションを有効にしてください。詳しくは、本マニュアルの「コントロールを設定する セキュリティオプション リプレイファイル」を参照してください。

クライアントごとにリプレイファイルを記録する

この手順は、クライアント設定で [リプレイファイルを録画する] が有効になっているコ ンピュータにリプレイファイルを作成します。

- 1. 必要な PC でクライアントの構成設定を実行します。
- [セキュリティ リプレイファイル]を選択し、該当するオプションを有効にしてください。詳しくは、本マニュアルの「コントロールを設定する セキュリティオプション リプレイファイル」を参照してください。

録画したリプレイファイルを見る

ファイルにアクセスできるコントロールは、リプレイファイルを見ることができます。また クライアントにリプレイファイルを見せることもできます。

NetSupport クライアントプログラムには、クライアントがローカルでファイルを再生 するためのリプレイオプションがあります。

コントロール側で再生する場合

- コントロールウィンドウのメニューから{ツール}{リプレイ再生}を選択します。 または コントロールツールバーの [デスクトップ] アイコンをクリックして [再生] を選択 します。
- 2. リプレイファイルの保存場所を指定します。
- 3. 再生するファイルを選択します。
- 4. [開く] をクリックします。リプレイウィンドウが表示されます。リプレイコントロール を使ってファイルを開始/停止します。

クライアント側で再生する場合

- タスクバーのクライアントアイコンを右クリックして[再生]を選択します。
 または
 クライアントアイコンをダブルクリックしてドロップダウンメニューから{コマンド}{再生}を選択します。
- 2. リプレイファイルの保存場所を指定します。
- 3. 再生するファイルを選択します。
- 4. [開く] をクリックします。リプレイウィンドウ が表示されます。リプレイコントロールを使ってファイルを開始/停止します。

クライアントにリプレイファイルを見せる

コントロールまたはクライアント個別にプレイファイルを見ることができます。コントロールには、特定のファイルを複数のクライアントに見せるオプションもあります。

- 1. コントロールウィンドウのメニューから{ツール}{ショーリプレイ}を選択します。
- 2. ショーリプレイダイアログが表示されます。

リプレイファー	(ルの選択			
リプレイファ	イル:			画面送信
/Users/testi	g/Documents/Local_23112012_114	40_12.rpf	参照	キャンセル
クライアントロ	D選択			ヘルプ
Q クライア	V NP-SP3			
 一覧から 	選択(T)			
名前	▼ 説明			
🜌 🛄 XP-	SP3			
クライアント	を画面送信の対象から除外するに	はチェックマークを外します		
オプション				
	い、の事売設定	全面而表示		
0 0000	- 1- WARANDER	Care best best decides		

- 3. 希望するリプレイファイルを参照して選択します。
- 4. クライアントの一覧からショーリプレイの対象となるクライアントを選択します。
- 5. 必要な場合は、ショーのオプションを追加設定します。
- 6. [ショー] をクリックします。
- コントロール側にリプレイウィンドウが表示され、選択したクライアントにリプレイ ファイルの再生します。
- 8. 終了するには、リプレイウィンドウのツールバーの [終了] をクリックします。

ファイル転送

ファイル転送ウィンドウ

個別のクライアントに対してファイル転送を実行すると、ファイル転送ウィンドウが表示されます。ドラッグアンドドロップによる簡単な操作でローカルから別の場所にファイルを転送できます。

00	XP-SP3 - ファイル転送		
ファイル(F) ディレクトリ(D) 表示(V)	ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		
		ブロバティ 設定	
ローカルコンピュータ	/ の内容		
□ 🕎 ローカルコンピュータ	名前 🔻 種類	ファイルの説明	更新日時
Desktop:	👍 一つ上のフォルダ		
Documents:	Applications	ファイル フォルダ	06/03/20
⊕ 🔜 X	bin 🔄	ファイル フォルダ	15/06/20
	DamagedFiles	ファイル フォルダ	19/06/20
	dev dev	ファイル フォルダ	11/03/20
	home	ファイル フォルタ	11/03/20
		ファイル フォルダ	15/06/20
	net huice	ファイル フォルタ	11/03/20
	NetSupport	ファイル フォルタ	22/06/20
	Previous System	ファイル フォルダ	15/05/20
	a private	7541074109	13/06/20
クライアント XP-SP3	C:\ の内容		
	夕前 新新	ファイルの診明	雨新日時
Desktop:		2 7 1 7 2 3 2 5 3	241110
Documents:	Documents and Settings	ファイル、フォルダ	24/02/201
🂾 フロッピードライブ (A:)	Downloads	ファイルフォルダ	16/11/201
⊕ C:	Program Files	ファイル フォルダ	21/02/201
🔘 コンパクトディスク (D:)	WINDOWS	ファイル フォルダ	07/03/201
'common\$ ('nslfile002') (V:)	AUTOEXEC BAT		24/03/201
🛒 'marketing ('10.0.0.14') (W:)	CONFIG SYS		24/03/201
T 'testing\$ ('pcifile001') (X:)	DnaService LOG		21/03/201
Tersions\$ ('nslfile002') (Y:)	MSDE2kLog TXT		21/03/201
Tersions ('uk.pci-group\Data') (
	•		Þ
準備完了 2 個のファイル、合計 15,567,6	18 パイト		

ファイル転送ウィンドウは5つのセクションで構成されています:

タイトルバー

ここに、ファイル転送ウィンドウで作業をするクライアントの名前が表示されます。

メニューバー

メニューバーに、色々なツールや設定ユーティリティを実行するためのメニューの集合体で構成されています。

ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。ドロップダウンメニューによる操作の手間を省き、アイコンをダブルクリック するだけで、タスクや機能をダイレクトに実行します。マウスカーソルをアイコンに重ね ると簡易説明を表示します。 ローカルペイン

ローカルペインは、左側にコントロールのディレクトリのツリー階層、右側にディレクト リ内の一覧を表示します。リストビューの列を右クリックすると色々なコンテキスト機能 が利用できます。

リモートペイン

リモートペインは、左側にクライアントのディレクトリのツリー階層、右側にディレクトリ 内の一覧を表示します。リストビューの列を右クリックすると色々なコンテキスト機能 が利用できます。

ファイルやフォルダをコピーする

NetSupport は、コントロールとクライアント間でファイルの転送が可能な洗練されたファイル転送機能を標準搭載しています。

注意:

- 少しでもパフォーマンスが向上するように、NetSupport Manager は、転送 先にファイルが既に存在する場合、変更されたファイルの一部だけを転送する デルタファイル転送技術を採用しています。通信帯域が制限されている2つの ロケーション間でデータベースファイルの更新する状況などで、その有用性が 証明されることでしょう。
- コントロールウィンドウのメニューから{表示} {現在の設定情報の設定 ファイル転送}を選択することで、ファイル転送の機能を設定することができます。
- クライアント画面を表示中は、コントロールウィンドウのエクスプローラからファイ ルを直接クライアントのデスクトップにドラッグ&ドロップできます。

コントロールからクライアントにファイルやフォルダをコピーするには

- 1. リストビューで対象となるクライアントを選択します。
- コントロールのメニューから{クライアント}{ファイル転送}を選択します。
 または

コントロールツールバーの [ファイル] アイコンをクリックし、[ファイル転送] を 選択します。

または

リストビュー内のクライアントアイコンを右クリックして、[ファイル転送] を選択します。

または

クライアントの画面を表示している場合は、ビューウィンドウのメニューから{ツ ール}{ファイル転送}を選択します。

- 3. ファイル転送ウィンドウが開きます。
- クライアントペインのツリーからファイルをコピーする転送先のドライブまたはフ ォルダを指定します。
- 5. コントロールペインのリストからクライアントにコピーするファイルを選択します。

- 6. ツールバーの[ファイルコピー] ボタンをクリックします。
- 7. 確認ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- 進行を表示するコピー進行ダイアログが表示されます。ここから、完了までエラ ーメッセージや上書き確認を無視するかどうか選択できます、操作の終了時に、 概要ウィンドウ内にこれらは表示されます。

注意:

- コントロールリストから選択したファイルを"ドラッグ"して、クライアントビューの対象ドライブまたはディレクトリに"ドロップ"することができます。
- コントロールウィンドウのエクスプローラからファイルを「ドラッグ」して、ローカル またはリモートペインに直接「ドロップ」できます。

クライアントからコントロールにファイルやフォルダをコピーするには

- 1. リストビューで対象となるクライアントを選択します。
- コントロールのメニューから{クライアント}{ファイル転送}を選択します。
 または
 コントロールツールバーの [ファイル] アイコンをクリックし、[ファイル転送]を選

択します。

または

リストビュー内のクライアントアイコンを右クリックして、[ファイル転送] を選択し ます。

または

クライアントの画面を表示している場合は、ビューウィンドウのメニューから{ツール}{ファイル転送}を選択します。

- 3. ファイル転送ウィンドウ が開きます。
- 4. コントロールペインのツリーからファイルをコピーする転送先のドライブまたはフ ォルダを指定します。
- 5. クライアントペインのリストからクライアントにコピーするファイルを選択します。
- 6. ツールバーのファイルコピーボタンをクリックします。
- 7. 確認ダイアログが表示されたら、[はい]をクリックします。
- 進行を表示するコピー進行ダイアログが表示されます。ここから、完了までエラ ーメッセージや上書き確認を無視するかどうか選択できます、操作の終了時に、 概要ウィンドウ内にこれらは表示されます。

注意: コントロールリストから選択したファイルを"ドラッグ"して、クライアントビューの対象ドライブまたはディレクトリに"ドロップ"することができます。

クライアント間でファイルを転送するには

NetSupport のファイル転送では、2 台のクライアント間でファイルやフォルダをコピ ーすることはができます。それぞれのクライアントに接続し、それぞれのファイル転送 ウィンドウを表示します。

ファイル転送ウィンドウを自分が見やすい大きさに調節して、単純にクライアントから 別のクライアントにファイル/フォルダをドラッグアンドドロップするだけです。

クライアントのフォルダのツリー上部の最大化ボタンをクリック、または水平サイズバ ーを移動すればクライアントのファイルやフォルダを見ることができます。

ファイルやフォルダを削除する

ファイル転送ウィンドウを使ってコントロール、またはクライアントのコンピュータからファイルやフォルダを削除することができます。

ファイルを削除するには

- 1. 削除したいファイルを選択します。
- 2. ツールバーの [削除] ボタンをクリックします。
- 3. 削除の確認ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。

フォルダを削除するには

- 1. 削除したいフォルダを選択します。
- 2. ツールバーの [削除] ボタンをクリックします。
- 3. 削除の確認ダイアログが表示されます。
- 4. [内容も含む]を選択します。
- 5. [はい] をクリックします。

注意:

- 1度に1ディレクトリしか削除できません。複数のディレクトリを選択した場合は、 最後に選択したディレクトリが削除されます。.
- 既定では、ローカルペインから削除されたすべてのファイルは、ごみ箱へ送られます、これはファイル転送設定内で変更できます。

フォルダを作成する

- 1. コントロールまたはクライアントのツリービューを選択します。
- 2. フォルダを作成したいドライブまたはフォルダを選択します。
- 3. ツールバーの [作成] ボタンをクリックします。
- 4. フォルダの作成ダイアログが表示されます。
- 5. フォルダ名を入力し、[OK] をクリックします。

ファイル名を変更する

- 1. コントロールまたはクライアントペインのリストビューを選択します。
- 2. 名前を変更するファイルを選択します。
- 3. 「名前の変更」をクリックします。
- 4. ファイルの新しい名前を入力します。
- 5. [OK]を選択します。

ファイルの属性を変更する

読み取り専用など、必要に応じてファイルの属性を変更することができます。

ファイルの属性を変更するには

- 1. 対象となるクライアントのファイル転送ウィンドウを開きます。
- 2. 表示または変更したい属性のファイルを選択します。
- 右クリックし、[プロパティ]を選択します。
 または メニューから{ファイル}{プロパティ}を選択します。
- 4. ファイルのプロパティダイアログが表示されます。
- 5. 設定したい属性をチェックしたり、チェックを外してください。

フォルダを同期する

コントロールとクライアントの選択したフォルダの内容を同期させることができます。2 個のフォルダを同期させると、どちらかのフォルダにある新しいファイルまたは更新さ れたファイルをもう一方のフォルダに自動的にコピーされます。

フォルダを同期するには

- 1. コントロールのツリービューからクライアントと同期させたいフォルダを選択します。
- 2. クライアントのツリービューからコントロールと同期させたいフォルダを選択します。
- 3. ツールバーの [同期] ボタンをクリックします。
- 4. フォルダの同期ダイアログが表示されます。
- 5. 選択した2個のフォルダのパスを確認します。
- 6. サブフォルダも含める場合は、[サブフォルダを含む] にチェックをします。
- 7. [OK] を選択します。
- 8. 確認ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。
- 9. 同期の進行状況ダイアログが表示されます。
- 10. 完了したら、フォルダの同期結果ダイアログに結果が表示されます。
- 11. 内容を確認して、[OK] をクリックします。

リストビューのファイルにフィルタを適用する

コントロールまたはクライアントのリストビューの内容にフィルタを指定することができ ます。その結果、特定の条件に一致するファイル名だけが表示されます。両方のペイ ンのリストビューの上部にある [フィルタ] ボックスを使用します。

コントロールパネルに適用したフィルタ設定は、クライアントペインの表示に影響しま せん。その逆も同じです。

ファイル転送ウィンドウを閉じるか、フィルタをリセットするまでフィルタの設定は、コントロールまたはクライアントに適用されます。

リストビューのファイルにフィルタを適用するには

- 1. フィルタしたいリストビューの上部にある [フィルタ] ボックスをクリックします。
- 初期設定のフィルタ (*.*) を自分のフィルタに置き換えます。例えば、MKT の 文字列で始まるファイル名を表示したい場合は、フィルタボックス内に MKT*.* と入力します。
- 3. フィルタを適用するには、Enter キーを押します。

リストビューのファイルフィルタをリセットするには

- 1. リセットしたいリストビューの上部ある [フィルタ] ボックスをクリックします。
- フィルタボックスの内容を (*.*) に置き換えます。初期設定のフィルタに戻ります。そして現在のリストビューのファイルにフィルタが適用されていないことを意味します。
- 3. フィルタを適用するには、Enter キーを押します。

ファイル転送ウィンドウの表示方法を変更する

コントロールとクライアントのリストビューの内容は異なる形式で表示することができます。 す。簡単に追跡できるようにリストビューの内容を並べ替えることもできます。

ファイル転送ウィンドウではリストビューの内容を2種類表示方法で表示します:

アイコン表示	ファイルやディレクトリ名のみ表示します。
詳細表示	ファイルやディレクトリ名と関連する詳細を隣のコラムに
	表示します。

アイコン表示を変更するには

 ファイル転送ウィンドウの右端のアイコン表示ボタンをクリックします または リスト表示内を右クリックし、{表示}{一覧}を選択します。

81

詳細表示に変更するには

ファイル転送ウィンドウの右端の [詳細表示] ボタンをクリックします。
 または
 リスト表示内を右クリックし、{表示}{詳細}を選択します。

注意:

- ファイル転送ウィンドウのドロップダウンメニューから表示の種類を変更することもできます。{表示}{詳細/一覧}を選択します。
- 列の項目をドラッグ&ドロップすることで、列の並び順が変更されます。

ファイル転送ウィンドウの並び順を変更する

ファイル転送ウィンドウのリストビューの内容は次のソート順に並べ替えができます:

名前順	ファイル名のアルファベット順に並べ替えます。
種類順	ファイルの拡張子のアルファベット順に並べ替えます。リス
	トビューのドライブやディレクトリは対象となりません。
ファイルの説明	ファイルの説明に従ってコンテンツを並び替えます。
更新日時順	最後に更新した日付順に並べ替えます。
サイズ順	ファイルのサイズ順に並べ替えます。リストビューのドライブ
	やディレクトリは対象となりません。
ショートネーム順	ショートファイル名のアルファベット順に並べ替えます。

注意: 内容を昇順または降順に並べ替えることもできます。

並び順を変更するには

- 1. 該当するコントロールまたはクライアントペインを選択します。
- 2. ファイル転送ウィンドウの右端の [並べ替え] ボタンをクリックします。
- 3. ドロップダウンメニューが表示されます。
- 4. 並べ替え項目を選択します。

注意:

- リストビューを詳細表示しているときは、各列の項目名([名前]、[説明]など)を クリックすると、その項目に関して並び変わります。同じ項目名をもう一度クリック すると、昇順/降順が切り替わります。昇順/降順のどちらで表示されているか は、項目名の右側の小さい矢印の向きで表されます。上向き矢印のときは昇順、 下向き矢印のときは降順で並んでいます。
- 列の項目をドラッグ&ドロップすることで、列の並び順が変更されます。

ファイル配布

ファイル配布ウィンドウ

ファイル配布ウィンドウは、複数のクライアントに同時にファイルを配布する時に使用します。

000		すべての	カクライアント - ファイル	尼右			
ファイル(F) クライアント(C) ディレ	クトリ(D) 表示(V) ウィンド	ウ(W) ヘルブ	(H)				
1 2 × × ×	18 6 .	0 6					
EAR DY? IN ANDRE	NER II- BRITA AM	20 70/	THE BLE				-
ローカルコンピュータ	/ の内容					N N	
Period 2 2 2 - 9 Decision 2 2 - 9 Decision 2 2 2 2 - 9 Decision 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 Decision 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 Decision 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	 名前 ーフとのフォルグ ことだるたけやき Applications days dysers volumes volumes dysersel volumes days	▼] 动助	274.4.00281 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.4.274.87 774.87 774.87 774.87 774.87 774.87 774.7867 774.7877 774.7877 774.7877 774.78777 774.78777 774.787777 774.7877777 774.78777777777777777777777777777777777	(史紙日時 27/06/2012 15 30/10/2012 12 16/08/2012 32 07/03/2013 15 30/10/2012 12 10/10/2012 12 10/10/2012 12 30/10/2012 12 30/10/	94.X		
名前 * 配付先:	7メルダ 説明	27	ŦΔ				
ef Cocalhost /		10	Mountain				
単現元丁 1第077イム、介計 6,1	2,160 /F.1 F						

ファイル配布ウィンドウは5つのセクションで構成されています:

タイトルバー

ここに、ファイル配布ウィンドウで作業をするグループのクライアントの名前が表示されます。

メニューバー

メニューバーに、色々なツールや設定ユーティリティを実行するためのメニューの集合体で構成されています。

ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。ドロップダウンメニューによる操作の手間を省き、アイコンをダブルクリック するだけで、タスクや機能をダイレクトに実行します。マウスカーソルをアイコンに重ね ると簡易説明を表示します。 ローカルペイン

ローカルペインは、左側にコントロールのディレクトリのツリー階層、右側にディレクト リ内の一覧を表示します。リストビューの列を右クリックすると色々なコンテキスト機能 が利用できます。

リモートペイン

リモートペインは、左側にクライアントのディレクトリのツリー階層、右側にディレクトリ 内の一覧を表示します。リストビューの列を右クリックすると色々なコンテキスト機能 が利用できます。

ファイルを配布する

次の配布先を指定できます:

- 接続中のすべてのクライアント
- 選択したクライアント
- 設定したグループのクライアント

注意:この機能は、同じプラットフォーム上のマシン間で機能します。例:Mac コントロ ールに Mac クライアント

クライアントのグループにファイルを配布するには

- ツリービューの [すべてのコンピュータ] フォルダからファイルを配布したいグル ープのクライアントを選択します。
- コントロールウィンドウのメニューから{グループ}{ファイル配布}を選択します。 または コントロールツールバーの [ファイル] アイコンをクリックして [ファイル配布] を 選択します。
- 3. ファイル配布ウィンドウが表示されます。
- ローカルペインのツリービューから、クライアントにコピーするファイルを選択します。
- 5. クライアントのコンピュータにファイルやディレクトリをコピーする場所を配布先フ ォルダをいいます。指定しない場合は、クライアントの配布先ディレクトリはコント ロール PC と同じ場所になります。クライアントに同じディレクトリがない場合は、 デフォルトでは C ドライブにコピーされ、フォルダを自動的に作成します。 または クライアント PC の特定の配布先ディレクトリを設定するには、リモートペインのク ライアントアイコンを右クリックして配布先設定を選択します。配布先を指定した ら、[OK] をクリックします。
- 6. [コピー] をクリックします。

選択したクライアントにファイルを配布するには

- 1. ツリービューの全てのコンピュータ、検索またはアクティブフォルダを開きます。
- コントロールウィンドウのメニューから{ツール}{ファイル配布}を選択します。 または コントロールツールバーのファイルアイコンをクリックしてファイル転送を選択します。
- 3. ファイル配布ウィンドウが表示されます。
- 4. リモートペイン内のクライアント名の隣にあるチェックボックスにチェックをしてど のクライアントにファイルをコピーするのか指定します。
- 5. ローカルペインのツリービューからクライアントにコピーするファイルを選択します。
- クライアント PC にファイルやディレクトリをコピーする場所を配布先ディレクトリと 呼びます。指定しない場合は、クライアントの配布先ディレクトリはコントロール PC と同じ場所になります。クライアントに同じディレクトリがない場合は、デフォル トでは Cドライブにコピーされ、フォルダを自動的に作成します。 または クライアント PC の特定のディレクトリを設定するにはリモートペインのクライアン トアイコンを右クリックして配布先設定を選択します。配布先をしていして OK を
- 7. [コピー] をクリックします。

クリックします。

ファイル管理

ファイル管理ウィンドウ

ファイルマネージャーは、Finderと同じ目的で機能します。NetSupport プログラム を終了せずに、ここからファイルを管理することができます。

000	NetSupport ファイルマネーシ	Jヤ-	
ファイル(F) ディレクトリ(D) 表示(V)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)		
□ → → → → → → → → → → → → → → → → → → →			
ローカルコンピュータ	/ の内容	•••	
© ■ ローカルコンピュータ ■ Desktop: Documents: ● 2000000000000000000000000000000000000	名前 ・ 一つ上のフォルダ Applications bin DamagedFiles dev home Library net NetSupport Previous System private sbin System Users usr Volumes ・ mach_kernel statistic	種類 ファイルの説明 ファイル フォルダ ファイル フォルダ	更新日時 06/03/201 15/06/201 19/06/201 11/03/201 11/03/201 15/06/201 15/06/201 15/06/201 15/06/201 15/06/201 15/06/201 15/06/201 11/03/201 10/04/201 26/07/201
準備完了 2 個のファイル、合計 15,567,63	[4] 18757 F)

ファイル管理ウィンドウ4 セクションで構成されています。

タイトルバー

ここに、ファイル転送ウィンドウで作業をするクライアントの名前が表示されます。

メニューバー

メニューバーに、色々なツールや設定ユーティリティを実行するためのメニューの集合体で構成されています。

ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。ドロップダウンメニューによる操作の手間を省き、アイコンをダブルクリック するだけで、タスクや機能をダイレクトに実行します。マウスカーソルをアイコンに重ね ると簡易説明を表示します。 ローカルペイン

ローカルペインは、左側にコントロールのディレクトリのツリー階層、右側にディレクト リ内の一覧を表示します。リストビューの列を右クリックすると色々なコンテキスト機能 が利用できます。

コントロールのコンピュータのファイルを管理する

ファイル管理ウィンドウを使ってコントロールのコンピュータのファイルを管理できます。 ファイル転送ウィンドウに似ていますが、コントロールコンピュータの内容だけ表示し ます。

ファイル管理ウィンドウを表示するには

コントロールウィンドウのメニューから{ツール}{ファイル管理}を選択または、コントロールツールバーの [ファイル] アイコンをクリックして [ファイル管理] を選択します。

ツリービュー

- ツリービュー内のドライブやディレクトリを選択するには、単純にそれ羅をクリックします。選択した内容がリストビューに表示されます。
- 選択したドライブやフォルダにサブフォルダが存在する場合、左側に[+]マークが表示されます。
- ドライブやフォルダの中身を展開すると、リストビューにサブフォルダが表示されます。中身を表示させるには、ドライブまたはフォルダをダブルクリック、もしくはドライブまたはフォルダの左側の[+]マークをクリックします。

リストビュー

- リストビューのファイルを選択するには、単純にファイルをクリックします。
- リストビューの複数のファイルを選択するには:
 - 1. ファイル同士が隣接している場合は、最初のファイルを選択し Shift キーを 押しながら最後のファイルを指定します。
 - 2. ファイル同士が隣接しあっていない場合は、最初のファイルを選択して Ctrl キーを押しながらファイルをそれぞれ選択します。
 - すべてのファイルまたはフォルダを選択する場合は、メニューから{表示}{選択}を選択、またはリストビュー内の空いている場所を右クリックして[選択]を選択します。リスト内のすべて、ファイルだけ、もしくはフォルダだけを選択できます。
- 現在のフォルダから1階層上のドライブまたはフォルダの内容を表示するには、 リストビュー上部の[1つ上の階層]をクリックします。

コントロール/クライアントチャットセッション

NetSupport は、スクロール形式のテキストウィンドウ上で接続中の複数のクライア ントと同時にチャットができます。

チャットを開始するには

- リストビューでチャットをしたいクライアントまたはグループを選択します。クライア ントアイコンを選択しなかった場合は、すべてのクライアントが対象となります。
- コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{チャット}を選択します。
 または
 コントロールツールバーの [アクション] アイコンをクリックして [チャット] を選択

します。

または

クライアント個別に右クリックして、[チャット]を選択します。

3. 議題の作成ダイアログが表示されます。

	ОК
ンパー(M):	キャンセル
名前 👻 説明	
XP-SP3	へルプ(H)
オプション オプション → メンバーは参加を辞退できる(D) → メンバーはチャットを退出できない(L)	~JL7(H)

ダイアログには次のオプションがあります:

話題

チャットで議論する話題または説明を入力します。クライアントのコンピュータの チャットウィンドウに表示されるタイトルバーに表記されます。入力しなければ、コ ントロール名が表示されます。 メンバー

チャットからクライアントを対象外にするには、クライアント名の隣のチェックマークを外します。

オプション

メンバーは参加を辞退できる

有効にすると、チャットへの招待メッセージがクライアントコンピュータに表示されます。参加または不参加を選択できます。

メンバーはチャットから退出不可

有効にすると、クライアントの選択項目 [チャットから退出する] が削除されます。

チャットウィンドウを常に表示

有効にすると、チャットウィンドウは、クライアントのデスクトップ上にチャットウィンドウが表示され続けます。メンバーはウィンドウを最小化することができません。

チャットに参加するクライアントを確認して、追加プロパティを選択します。チャット を開始するには、[OK] をクリックします。

4. コントロールとクライアントのコンピュータにチャットウィンドウが表示されます。

ャット(C) ウィンドウ(W)	
(P-SP3 が参加しました	間じる ヘルプ メンバー(M) 別m-MacBook 2 XP:SP3
メッセージ送信(<u>S</u>)	送信(S)

チャットウィンドウ

このウィンドウは参加している各メンバーに表示されます。そしてチャットの進行をリスト 表示します。

チャットプロパティ ダイアログでオプションを無効にしない限り、クライアントはチャット を退出できます チャットウィンドウには次のオプションが使用可能です:

チャットメニュー

チャットの内容は保存することができます。[保存] を選択してテキストファイルを作成 するか[コピー] をクリックして別のアプリケーションやファイルにチャット内容を貼り付 けます。

チャットメンバーが応答しない場合、[ビープを送信する] を選択して各コンピュータに ビープ音を送信できます。(クライアントもチャットウィンドウから実行できます。) クラ イアントとコントロールが PC の内蔵スピーカーまたはサウンドカードからビープ音を 再生するように設定できます。 クライアント設定 - クライアントを設定する or コント ロール設定 - 設定を選択します。

ウィンドウメニュー

コントロールのチャットウィンドウのみドロップダウンメニューがあります。開いてる画 面を入れ替えたり、並べたりできます。

チャット進行

チャットウィンドウのメインボディはチャットの進行を記録するために使用しています。 メンバーによって送信されたメッセージだけでなく、参加者、退出者の詳細が表示され ます。

メッセージ

ここに文章を入力します。メッセージを入力して、送信をクリックします。

自動送信

各メッセージは、最大 128 文字に制限されています。有効にすると、制限に到達する とメッセージを自動的に送信します。

閉じる

チャットセッションを終了します。

メンバー

チャットに現在参加しているメンバーがここにリストされます。コントロールはチャットか らクライアントを追加または削除できます。無効にしない限り、クライアントはチャットを 退出するオプションがあります。

招待

チャットプロパティダイアログはクライアントをチャットの対象/対象外の選択をする際 に使用します。チャット進行中にクライアントを追加するには、招待をクリックします。メ ンバー追加ダイアログが表示され、クライアントを選択して追加をクリックします。 テャット履歴送信 ボックスをクリックすれば新しいメンバーにチャット進行の コピーを送信 できます。 **注意**: 退出させたクライアントまたはチャットを自ら退出したクライアントを再びチャットに招待することができます。

退出

チャットからクライアントを削除するには、メンバーリストのクライアントを選択して退出をクリックします。退出させたクライアントは再び招待することが可能です。

注意: クライアントのメインウィンドウを開いて{コマンド}{チャット}を選択すればク ライアントがコントロールとのチャットを開始することができます。

チャットを禁止する

クライアント設定でチャット機能を無効化することができます。コントロールもしくはクラ イアントがチャットを開始することを防ぎます。

コントロールがチャットを開始することを禁止するには

- 対象となるクライアント PC で、NetSupport プログラムグループから NetSupport クライアント設定を選択します。NetSupport クライアント設定が 表示されます。
- 2. 設定項目の一覧から [セキュリティーアクセス権限] を選択します。
- 3. チャット禁止オプションにチェックをします。
- 4. OK をクリックして、クライアントを再起動します。

コントロールがチャットセッションを開始しようとすると、そのクライアントに対してタスクを実行するためのアクセス権を持っていないことを通知されます。

注意: コントロールから全てのクライアントにチャットを防止するには、コントロール 設定で機能を禁止する必要があります。コントロールウィンドウのドロップダ ウンメニューから{表示} {現在の構成設定}を選択します。設定オプションリ ストからコントロールインターフェイス-機能を選択します。そしてチャット禁止 オプションにチェックをします。

クライアントからのチャットを防止するには

- 対象のクライアント PC で NetSupport プログラムグループから NetSupport クライアント設定を選択します。NetSupport クライアント設定が表示されます。
- 2. 設定オプションリストからインターフェイス-クライアント設定を選択します。
- 3. チャット禁止オプションにチェックをします。
- 4. OK をクリックして、クライアントを再起動します。

クライアントでのチャットオプションは使用できなくなります。

クライアントにメッセージを送信する

NetSupport では、クライアント個別、クライアントのグループ、ネットワーク上の全て のクライアントにメッセージを送信することができます。

メッセージを送信するには

- コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{クライアント}{メッセージ} を選択します。
 または
 コントロールツールバーのアクションアイコンをクリックしてメッセージを選択します。
 または
 右クリックしてメッセージを選択します。
- メッセージダイアログが表示されます。全てのクライアント、接続中の全てのクラ イアント、選択中のクライアントのいずれかを選択します。メッセージを入力して、 クライアント PC にメッセージを表示する時間を決定します。
- 3. 送信をクリックします。

00	メッセージの送信
メッセージの送信先:	
すべてのクライア:	ット(B)
○ 接続されているす/	ペてのクライアント(A)
()現在の選択されて	いるクライアント(C)
I	
メッセージの表示時間	(5): (秒)
Aa	送信 キャンセル ヘルプ(H)

クライアント画面のダイアログにメッセージが表示されます。ユーザが閉じるか指定した時間が経過するまで表示されます。メッセージだけでなく、カスタマイズしたタイトルを含めることもできます。コントロール設定 – 一般オプションで設定します。コントロールウィンドウのツールバーの**設定**をクリックしてください。

ヘルプ要求に対応する

NetSupportにはクライアントユーザーがヘルプ要求を送信できる機能がクライアント側にあります。コントロールが接続中の状態でクライアントがヘルプ要求を送信すると、ヘルプ要求フォルダが緑に変わるのでコントロールユーザーは直ちに気付きます。 コントロールが接続していない場合は、次回クライアントに接続した時にヘルプ要求フォルダが青に変わります。

コントロールのリストビューが{表示}{詳細}でクライアント詳細を表示するように設 定されていてヘルプメッセージを表示するようにカスタマイズしてる場合、クライアント のヘルプ要求メッセージはリストビューにただちに表示されます。

クライアントをブラウズ時、コントロールはヘルプ要求をしたクライアントだけブラウズ するオプションがあります。

ヘルプ依頼をクリアするには

- 1. ツリービューのヘルプ依頼フォルダを選びます。
- 2. クリアしたいヘルプ依頼を選びます。
- 3. 右クリックしてヘルプのクリアを選びます。

リモートクリップボード

ビュー中にコントロールとクライアント PC 間でクリップボードの内容をコピーできます。

クリップボードアイコンはビューウィンドウのツールバーから使用できます。そして以下のオプションがあります:

クリップボード送信

コントロールからクライアントにコピーする時に使用し、メニューオプションで{編 集}{切り取り/コピー}を使用します。

クリップボード受信

クライアントからコントロールにコピーする時に使用し、メニューオプションで{編 集}{切り取り/コピー}を使用します。

オート

有効時は、速い方法でデータコピーを行ないます。ショートカットキー(Cmd-C & Cmd-V)を使ってコントロールとクライアントコンピュータ間で切り取り、貼り付けを自動的に行ないます。

コントロールからクライアントコンピュータにクリップボードの内容を送信するには

- 1. クライアントをビューします。
- 2. クライアントとコントロールでアプリケーションを開きます。
- 3. コントロール側のアプリケーションからデータをコピーします。

オートが有効になっている場合、Cmd-C を使って職説クリップボードにデータを コピーします。

または

{編集}{切り取り/コピー}を使っている場合、クライアントのビューウィンドウに 戻ってビューウィンドウのツールバーのクリップボードアイコンをクリックして栗リ ップボード送信を選択します。

クライアントのアプリケーションのドロップダウンメニューから編集を選択して、貼り付けを選択します。
 または

ショートカットキー(Cmd-V)を使ってデータを貼り付けます。

クライアントからコントロールコンピュータへクリップボードの内容を送信するには

- 1. クライアントをビューします。
- 2. コントロールとクライアントでアプリケーションを開きます。
- クライアントのアプリケーションからデータをコピーします。ショートカットキーでは なくメニューオプションを使っている場合は、ツールバーからクリップボードーデ ータ受信を選択します。
- 4. コントロールのアプリケーションに戻り、メニューオプションかショートカットキー (Cmd-V)を使ってデータを貼り付けます。

リモートコマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを起動することでコントロールは接続中のクライアント側 にコマンドライン命令をリモートで実行できます。.

 クライアントに接続し、コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから{クラ イアント} {リモートコマンドプロンプト}を選択します。 または クライアントアイコンを右クリックし、[リモートコマンドプロンプト] を選択します。 または コントロールツールバーの [アクション] アイコンをクリックしてリモートコマンドを 選択します。

 リモートコマンドウィンドウが表示されます。タイトルバーで接続中のクライアント 名の確認ができます。

000	XP-SP3 - リモートコマンドプロンプト
Microsoft Windows XP [Verd (C) Copyright 1985-2001 M	don 5.1.2600) crosoft Corp.
C:\WINDOWS\system32>	

ウィンドウは、2 つのフレームで区切られています。ウィンドウの下部は入力フレーム で、必要な場合はサイズの変更できます。上部は出力/結果フレームになっています。

ウィンドウを開いている間は、既に実行した内容を再度呼び出せるようにコントロール に各コマンドがストックされます。エントリーを上下の矢印キーを使ってスクロールさせ て該当するコマンドが表示されたらエンターキーを押すか F7 を押してウィンドウに全 てのコマンドを表示します。該当するコマンドをクリックして Enter キーを押します。

最大 50 コマンドがストアされます。F8 を押すと履歴を消去します。コントロールがリ モートコマンドウィンドウを閉じると履歴は自動的に消去されます。

クライアントを使用する

この章では ...

接続しているコントロールとリモートユーザーの応答方法を説明します。

クライアントメインウィンドウ

クライアントがメニューバーの NetSupport アイコンをクリックすると、クライアントメ ニューが表示されます。ここからクライアントウィンドウを開くことができます。

クライアントウィンドウではクライアントは次のことが可能になります:

クライアントの機能:

- コントロールと チャット
- コントロールからのヘルプを依頼。
- 特定のコントロールへ ヘルプ要求
- 特定のコントロールの 呼び出し
- コントロールから 接続 または 切断
- PIN コードを使用して、コントロールとの接続を確立します。
- リプレーファイルを起動する

コントロールに接続する

クライアント機能は、TCP/IP 接続に対してのみ動作します。ファイアウォールやプロキシサーバを通して接続を確立するために用意されています。

注意: クライアントがコントロールを呼び出せるようにするために NetSupport は TCP/IP ポート 5421 を使用します。ファイアウォールを通過してクライアント が接続するには、このポートを使用すうようにファイアウォールを設定してくだ さい。

コントロールに接続するには

- 1. クライアントのドロップダウンメニューから{コマンド}{コントロール呼出}を選択 します。
- 2. コントロール呼出ダイアログが表示されます。
- 接続したいコントロールのホスト名または IP アドレスを入力します。 または 最近接続した 10 台のコントロールリストから選択します。
 注意:最大 10 コントロールを保存できます。その後は古いものから順に消えていきます。
- 4. コントロールは接続要求メッセージを受信し、接続を許可または拒否できます。

注意: クライアントが接続するにはコントロールが起動していなければなりません。

00		🔜 コントロールの呼出	
接続を希望するコントロールの	Dホスト名または	P アドレスを入力してください。	
TCP/IP 接続だけに機能し、フ	ァイアウォールを	越えて接続を確立します。	
			 •

PIN 接続を使用してコントロールに接続する

NetSupport のマネージャーは、コントロールが PC 名または IP アドレスがわから なくても、クライアントが Windows のコントロールに接続するための迅速かつ簡単な 方法を提供します。

注意:この機能を使用するには、クライアントとWindows コントロールの両方に PIN サーバがインストールおよび設定されている必要があります。

クライアント設定

- 1. クライアント設定から{接続 PIN サーバ}を選択します。
- 2. PIN サーバマシンの IP アドレスとポート(デフォルトは 443)を入力します。
- PIN サーバ接続にプロキシサーバを使用している場合は、サーバのアドレスと 適切なポートを入力します。
- NetSupport ゲートウェイと同じ設定を使用できます。ゲートウェイを選び、コピーをクリックします。
- 5. OK をクリックします。

クライアントから PIN を生成する

- メニューバーにある NetSupport Manager クライアントアイコンをクリックし、 PIN 接続を選択します。
- 2. クライアント情報ウィンドウが表示されます。
- 3. PIN を作成をクリックします。
- PIN サーバが固有のコードを生成します。通知されたら、コントロールは PIN を 入力し、接続を確立します。

クライアント側で PIN を入力する

- 1. コントロールはクライアントに PIN コードを通知します。
- メニューバーにある NetSupport Manager クライアントアイコンをクリックし、 PIN 接続を選択します。
- 3. クライアント情報ウィンドウが表示されます。
- 4. キーパッドが表示されます。PIN コードを入力して接続をクリックします。

コントロールから切断する

コントロールから切断するには

- クライアントのメインウィンドウで{コマンド}{切断}を選択します。
 または、
 メニューバーのクライアントアイコンをクリックして切断を選択します。
- 2. ダイアログボックスが表示され、現在接続中のコントロールがリストされます。切 断したいコントロールを選択します
- 3. 選択したコントロールから切断するには[OK]をクリックします。

ヘルプを要請する

NetSupport Manager は、クライアントがコントロールワークステーションからの手助けを依頼することができます。

ヘルプを要求するには

- クライアントメインウィンドウのドロップダウンメニューから{コマンド} {ヘルプ依頼}を選択します。
 または
 メニューバーのクライアントアイコンをクリックして、ヘルプ依頼を選択します。
- これによりダイアログボックスが開き、名前とヘルプ要求メッセージをタイプします。
- 3. クライアントは前回の要求取消しボタンをクリックすることにより前回の要求をキャンセルすることも可能です。
- 4. [OK]をクリックします。

コントロールとチャットをする

チャットウィンドウを開いて、接続中のコントロールとチャットが可能です。

チャットを開始するには

- クライアントのメインウィンドウで[コマンド]-[チャット]を選択します。 または
- メニューバーのクライアントアイコンをクリックしてチャットを選択します。
- 2. チャットウィンドウが表示されます。
- 3. メッセージを入力し、エンターを押すか[送信]をクリックします。
- 4. コントロールユーザーにチャット開始を知らせたい場合は、メニューで[チャット]-[ビープ音送信]を選択します。

コントロールのコンピュータからメッセージを受信する

クライアントはコントロールからのメッセージを受信することができます。メッセージは クライアントの画面に自動的にメッセージボックス表示されます。

メッセージボックスのタイトルバーにはメッセージ発信元のコントロール名、送信日と 時間が表示されます。

コントロールからのメッセージを読み終えたら、[OK]をクリックしてメッセージを削除します。

クライアントを設定する

この章では ...

クライアント設定の使い方を紹介します。

不正な接続に対してクライアントを守ったり、コントロールが選択したクライア ントで特定の操作を行なうことを禁止したりできます。NetSupport Manager には個々のクライアントのレベルに応じて設定できる様々な設定 オプションがあります。

クライアントを設定する

NetSupport クライアントは NetSupport クライアント設定で設定できます。初期化時の設定と必要なすべての項目を変更できます。

クライアント設定は NetSupport Manager のプログラムグループ内の NetSupport クライアント設定アイコンから起動します。クライアント設定ダイアログ が表示されます。

クライアント設定はクライアントで可能な全てのオプションを設定できます。また、ネットワークをテストして、クライアントに設定したネットワークのスタックがインストールされ、正常に動作していることを確認することもできます

プロトコルオプション

TCP/IP 接続を設定する

		ポート(P): <mark>5405</mark>
● ◆ セキュリティ ● ◆ セキュリティ ● ◆ リモートコントロール ● ◆ クライアントのインターフェイス	通信の受信用 IP アドレスの選択: (すべて :) 警告: 3	選択された IP アドレスは無効です!
		テスト(1)

TCP/IP を使用する

TCP/IP でクライアントと通信を行う場合に、このボックスにチェックします。

ポート

TCP/IP プロトコルでは、アプリケーションが通信できるようにポート番号を割り当てる 必要があります。初期設定の NetSupport 用の登録ポートは 5405 です。

受信する IP アドレスを選択:

このオプションは、クライアントが複数のネットワークカードをインストールしている場合、不正な接続を防止するのに役立てることができます。例えば、公衆ネットワーク とプライベートネットワークの両方を使用している場合。クライアントがインカミングの コントロール接続を受信するために使用している IP アドレスを指定することで強制 的に要求したネットワークに接続するようにします。

このコンピュータにプロトコルが正常にインストールされているか確認するには、[テスト] を押します。

注意

- ポートの変更は他の TCP/IP アプリケーションに影響する場合があります。
- ルータを使用している場合は、このポートを使用してデータが送られるように設定されているか確認してください。
- クライアントがコントロールに接続するすることができます。初期設定の登録ポートは 5421 です。

HTTP 接続を設定する

このプロパティシートで NetSupport ゲートウェイを経由して接続設定することが可能です。

 	HTTP(出) ✓ HTTP を使用する	
	ゲートウェイアドレス:	ポート:
		443
	代替ゲートウェイ (オプション):	ポート:
	ゲートウェイキー:	
		設定
	ゲートウェイに設定されている Comms. Management Packet Interva を変更するには、値をここで指定してください。	al CMPI (秒):
	□ ゲートウェイ接続には、プロキシサーバを使用する	
	דוע:	
	ポート:	

HTTP を使用する:

HTTP での通信を有効化する場合は、このボックスにチェックをします。

ゲートウェイアドレス:

ゲートウェイコンポーネントがインストールされているコンピュータの IP アドレスを入 力します。

セカンダリゲートウェイ (オプション)

必要な場合は、セカンダリゲートウェイの IP アドレスを入力します

ポート:

HTTP 通信用の NetSupport の初期設定のポートは 443 です。
ゲートウェイキー:

ここで設定したキーをコントロール側にも必ず設定してください。ゲートウェイで設定 したキーと完全に一致する必要があります。クライアント側で設定されたキーを持つ コントロール側のユーザーだけが接続できるようにセキュリティを強化します。

CMPI (秒)

ここに値を入力してゲートウェイ側で設定されている CMPI を上書きすることができ ます。ゲートウェイの初期設定値では、CMPI は 60 秒に設定されています。

プロキシサーバ

NetSupport は必要ならば、プロキシサーバを経由して通信するように設定することができます。サーバのアドレスとポートを入力します。推奨ポートは8080です。

PIN サーバ

PINU-IC	PINサーバアドレス:	ポート:
♂ セキュリティ	10.0.0.234	443
•	 PINサーバの接続にプロキシサーバを使用する 	
	アドレス:	
	ポート: 443	
	ゲートウェイから設定をコピーする	<u> </u>

<u> PIN サーバ</u>

PIN サーバアドレス

PIN サーバがインストールされているワークステーションの IP アドレスを入力します。

ポート

PIN サーバのデフォルトのポート番号は 443 です。

PIN サーバの接続にはプロキシサーバを使用する

PIN サーバへの接続にプロキシサーバを使用する場合は、このオプションを選びます。プロキシサーバのサーバアドレスとポート番号を入力します。

ゲートウェイからの設定をコピーする

NetSupport ゲートウェイを使用している場合は、PIN サーバに同じ設定を使用する ことができます。コピーを選び、ゲートウェイのアドレスとポートが使用されます。

セキュリティオプション

クライアント側のセキュリティを設定する時は、このプロパティシートを使用します。

ユーザ情報

 クロトコル セキュリティ エーゲー画様 クライント協定の保護 クラインとは定の保護 ファイル転送 リブレイファイル リブレイファイル リブレイファイル シリア・トコントロール クライアントのインターフェイス 	_ ユーザー情報 ユーザー名(* はワイルドカード)(U): 	₹₹(G)
	□ ユーザー名とパスワードを常に要求する	

<u>ユーザ情報</u>

ユーザー名

ユーザ名を使ってコントロールがクライアントに接続する時のコントロールの有効なユ ーザ ID とパスワードを設定します。

複数のユーザ名とそれに対応するパスワードを入力できます。変更をクリックして 個々のユーザ名とパスワードを追加します。

ユーザ名とパスワードを設定することで接続時に一致するユーザ名とパスワードを入 カしたコントロールだけがクライアントに接続するように制限できます。

ユーザー名とパスワードを常に入力する

チェックをすると、このクライアントに接続しようとするとコントローラは常にユーザ名とパスワードの入力を要求されます。

アクセス権限

コントロールのユーザーが利用できるリモートコントロール機能を制限する場合は、このプロパティシートを使用します。

 ○ プロトコル ○ せキュリティ ○ セキュリティ ○ マキュリティ ○ マキュリティ ○ マキュリティ ○ マキマン構築 ○ フィイーの確認 役場 ○ フィイルも送 ○ リブレイファイル ○ コントロントロール 	-アクセス権限(a) 一 親寮の営止 - 共有の営止 - ファイル転送の禁止 - 実行を禁止 - 再起動の営止	□ ログオフの禁止 □ メッセージを無視 □ メッセージー斉配信を無視
⊕ <i>∲</i> クライアントのインターフェイス	□ ユーザーがログオンしていない	時はファイル転送の禁止
	OK ++>>	セル ヘルフ

ウォッチ禁止

コントロールは全くクライアントをビューできなくなります。ファイル転送、スクリプトその他の機能は使用できます。

シェア禁止

コントロールはウォッチモードでのみクライアントをビューできます。

ファイル転送禁止

全ての状況でクライアントへまたはクライアントからファイルの転送を禁止します。

プログラム実行禁止

コントロールユーザーがコントロールプログラムでクライアントのアプリケーションをリ モートで実行することを禁止します。標準のリモートコントロール機能を使ってアプリケ ーションを起動することはできます。

リブート禁止

コントロールユーザーがコントロールインターフェイスのメニューオプションからクライ アントパソコンをリブートすることを禁止します。リモートコントロール中にはリブートで きます。

チャット禁止

コントロールがクライアントとチャットをすることを禁止します。しかし、クライアントはク ライアントメニューからコントロールとチャットを開始することができます。

ユーザーがログインしていない時は、ファイル転送を無効にする

ログオンしているユーザーがいないときはファイル転送を無効にする。パソコンに対し 有効なユーザーIDを所持している場合は、コントロールユーザーはそのユーザーID でしなくてはなりません。

ログオフ禁止

コントロールユーザーがコントロールインターフェイスからクライアントパソコンをログ オフすることを禁止します。リモートコントロール中にログオフすることは可能です。

メッセージ無視

接続中のコントロールからの送信されたメッセージを無視します。

ブロードキャストメッセージ無視

接続有無にかかわらずコントロールからのブロードキャストメッセージを無視します。

ユーザー認証オプション

これらのセキュリティオプオプションが有効な場合、コントロールのユーザーがリモー ト接続をしようとすると、クライアントのコンピュータの画面に通知されます。リモートコ ントロールを実行する前に、クライアントはメッセージを確認する必要があります。

	alications/NetSupport/NetSupportManager/client32.ini: Master Profile ユーザーの確認 ユーザーの確認 他のコントロールから接続があった場合は確認する 接続確認の表示テキスト:
0 0 0017250729-714	接続確認のタイムアウト: 残り (秒) 接続を拒否する :
	OK キャンセル ヘルプ

ユーザ認証

ユーザー認証要求

コントロールユーザーが接続を試みた時、クライアントにメッセージが表示されます。 クライアントユーザーが要求を許可しない限り、接続は拒否されます。

別のコントロールから接続時に通知する

別のコントロールが接続しようとした場合、クライアントはメッセージを受信します。

接続認証のテキストを表示:

クライアントのコンピュータに表示される認証メッセージをカスタマイズすることができます。クライアントに通知するコントロールユーザ名などのデフォルト設定を含めることができます。4 種類の構文を用意しています:

\$loginname\$	コントロール側にログオンしているユーザー名を表示し
	ます。
\$fullname\$	コントロール側にログオンしているユーザーのフルネー
	ムを表示します。
\$computername\$	コントロールのコンピュータ名を表示します。
\$userdomain\$	コントロールのコンピュータにログオンしているユーザー
	のドメインを表示します

接続認証のタイムアウト:

ユーザー認証画面の表示時間を 0-255 秒の間で指定し、制限時間が経過してもユ ーザーが接続を認証しなかった場合に実行するアクションを決定します。接続リクエ ストを取り消すには、[接続を拒否する]、またはコントロールの接続を許可するには [接続を許可する] を選択します。

コントロールにとっては緊急の接続が必要でも、リモートユーザーにファイルを閉じた り、タスクを完了したりする時間を与えたい場合にお役立ていただけます。

接続オプション

このプロパティシートは、どのコントロールのユーザーまたはコントロールのコンピュー タがこのクライアントに接続するかを管理します。使用する暗号化のレベルも設定で きます。

 ・	セキュリティーキー:	設定(E)
 アクセス権限 ユーザーの確認 算機 クライアント設定の保護 ファイル転送 リプレイファイル リモートコントロール グライアントのインターフェイス 	〜次のコントロールからの接続を許可する(*はす・ TCP/IP(P): 複数のアドレスを区切るには、;を使用します	শ্ব):
	暗号化 コントロールは常に暗号化を使用する 暗号化の最小レベルを設定:	56 bit (DES) :
	□ 複数のコントロールからの接続を許可する	
	OK ++>++	

セキュリティキー

コントロールにクライアントと同一のセキュリティーキーが設定されている場合だけ、コ ントロールのユーザーが接続できるセキュリティを追加できます。NetSupport ライ センスファイルのシリアルナンバーを使用することもできます。両サイドでセキュリティ キーを設定してください。

次のコントロールからの接続を許可します

TCP/IP ネットワークで動作しているコントロールへのアクセスを制限することができます。この機能は特定のアドレスのコントロールパソコンにアクセスを制限するた使用できます。アドレスフィールドにワイルドカードを使用できます。

例:

194.182.*.* TCP/IP サブネット 194, 182 のすべてのワークステーション

暗号化

暗号化を有効にすると、コントロールとクライアント間で通信されるすべての情報は外 部にはわからないようになります。セキュリティとパフォーマンスのバランスを調整でき るように、NetSupport では 56 Bit DES から 256 Bit AES までの暗号化オプシ ョンを用意しています。暗号化レベルが高いほど、パフォーマンス低下の可能性が高 くなります。

コントロールは常に暗号化を使用する

このボックスにチェックを付けると、コントロール側でオプションが有効になっていなく ても、同レベルの暗号化を使用するように強制します。コントロールがこのクライア ントに接続する時に暗号化オプションが適用されます。

暗号化の最小レベルを設定

コントロール接続時に使用する暗号化処理レベルを選択します。

複数のコントロールからの接続を許可する

NetSupport は、複数のコントロールが同時に同じクライアントに接続し、ビューする ことが可能です。グループ作業にお役立ていただけます。このオプションにチェックを すると、この機能を有効にできます。

クライアント設定を保護する このプロパティーシートはクライアント設定の保護が可能です。



クライアント設定のパスワード

クライアントプロファイル用のパスワードを指定します。

ファイル転送設定 このプロパティシートでファイルアクセスの制御を行ないます。



ファイル転送を禁止する

すべての場合において、クライアントとのファイル転送を禁止します。

ユーザーがログインしていない時はファイル転送を禁止

ログオンしているユーザーがいないときはファイル転送を無効にする。このパソコンに 対して有効な ID とパスワードを持っている場合はコントロールユーザーはそれでロ グオンしなくてはなりません。

リプレイファイル設定 リプレイファイル機能は、コントロールがリモートコントロール/ビュー中のクライアント のコンピュータで実行した画面操作を録画して再生することができます。

	参照(W)	保存先フォルダ(D):	2 ユーザーの確認 授続 クライアント設定の保護 ファイル転送 リプビイクテイル リビートコントロール クライアントのインターフェイス
--	-------	-------------	---

リプレイファイルを録画する

このオプションにチェックを付けると、リプレイファイルの録画を有効化します。コントロールがクライアント PC の画面を表示するたびに、リプレイファイルを作成します。

ファイル名にはクライアント名を使用する

それぞれのリプレイファイルを識別するために、クライアント名と録画日時をファイル に使用することができます。またオプションにチェックが付いていない場合は、 0000001.rpf などの連続した形式のファイル名になります。

フォルダ

リプレイファイルを保存する場所を指定します。ネットワーク共有に保存する場合、それぞれのクライアント別のフォルダにファイルを保存するオプションがあります。

ユーザー

ログファイルの書き込むために使用するユーザー名とパスワードを指定します。

リモートコントロールオプション

次のリモートコントロール設定が調整可能です:

ビュー設定

○ O /Application	ons/NetSupport/NetSupportManager/client3	32.ini: Master Profile
 ○ /Applicatio ○ プロトコル ○ セキュリティ ○ ジリモートコントロール ● 画面支信 ● クライアントのインターフェイス 	ns/NetSupport/NetSupportManager/client3	i2.ini: Master Profile 最大表示色数(<u>M</u>) 魚制限 (分)
	ОК * +>±л	^ <i>\\</i> \ <i>\</i> 7

<u>オプション</u>

最大色数

クライアント側の色数が高いほど、各画面の更新のためにコントロールに送信される データ量も増加します。色数を制限することで、遅い回線でもパフォーマンスが向上 する場合もあります。

注意: ここでの設定は、コントロール設定で設定している最大色数よりも優先されます。

タイムアウト

[複数の接続を許可する] オプションが設定されている場合を除いて、コントロールが クライアントに接続すると、他のコントロールは同じクライアントには接続できません。

コントロール側のユーザーが切断し忘れてしまった場合、接続しなくてはならない別のコントロールのユーザーが接続できない状態が発生してしまいます。

このオプションを設定することで、接続しているコントロールが、何もマウス、キーボード、またはファイル転送の操作を一定時間しなかった場合、クライアントは接続の必要性はないと判断し、自動的に切断します。これにより、別のコントロールが接続できるようになります。

ショー設定

00	/Applications/Net	Support/NetSupportM	anager/client32.ini: M	laster Profile	
 アロトコル アントロー <l< td=""><td>/Applications/Net</td><td>Support/NetSupportM 画面法信の受信オブショ 画面法信の受信を クインドウで開く ご 画面サイズ マ スクロールバー 自動スクロールの速度 オフ</td><td>anager/client32.ini: M ほかにする ((Δ) 最速</td><td>aster Profile スクロールの選延(S) 最小</td><td></td></l<>	/Applications/Net	Support/NetSupportM 画面法信の受信オブショ 画面法信の受信を クインドウで開く ご 画面サイズ マ スクロールバー 自動スクロールの速度 オフ	anager/client32.ini: M ほかにする ((Δ) 最速	aster Profile スクロールの選延(S) 最小	
		ОК	キャンセル		<u> て</u> ルプ

<u>ショー受信オプション</u>

ショーの受信を無効

コントロールはクライアントにショーできなくなります。

ウィンドウで開く

クライアントは、全画面表示ではなくウィンドウモードでショーを受信します。

画面サイズ

受信したショーウィンドウのサイズを自動的に表示可能な領域の画面のサイズに合わせます。

スクロールバー

受信したショーウィンドウにナビゲーション用のスクロールバーを表示させるかどうかを決定します。

オートスクロール速度

クライアント画面にウィンドウモードでショーを表示している場合、ウィンドウの端にマ ウスを移動させると、クライアントは、自動的に内容をスクロールさせることができます。 スライドコントローラーを調整して、ビュースクロールの速度を設定します。

スクロール遅延

オートスクロールを有効にする際、スクロールが有効になる前の遅延を変更すること ができます。マウスを画面の端に移動させた瞬間にスクロールさせたい場合は、[最 小]の方にスライドさせます。オートスクロールが有効になる前の遅延を長めにした い場合は、[最大]の方にスライドさせます。

クライアントインターフェイスオプション

このプロパティシートは、クライアントとコントロールのインターフェイスをカスタマイズ をするために使用します。

クライアント設定

00	/Applications/NetSupport/NetSupportManager/client32.ini: Master Profile
 ● プロトコル ● プロトコル ● セキュリティ ● リモートコントロール ● クライアントのインターフ ● グライアントのインター ● グライアントのオンター ● グライアントのオンター 	無効にするメニュー項目: ヘルプな現を無効にする コントロール呼出を無効にする(C) 切断を無効にする 子ケットを無効にする イズ クライアントンプグラムのオブション(Q): ダクスクトレイにアイコンを表示する 常に手削に表示する アイドル時は細す ビープに内蔵スピーケーたや電子しません) ダイントモード(画面を更新しません) ダイントモード(画面を更新しません) ダイントモード(画面を更新しません)
	OK キャンセル ヘルブ

<u>クライアントメニューの無効</u>

ヘルプ要求禁止

クライアントユーザーはヘルプ要求機能が使用できなくないます。

コントロール呼び出し禁止

クライアントドロップダウンメニューのコントロール呼出し機能を禁止します。

切断禁止

クライアントユーザがコントロールユーザを切断してしまうことを禁止します。

チャット禁止

クイライアントがコントロールとチャットを開始することを禁止します。コントロールがク ライアントとチャットを開始することはできます。

クライアントプログラムのオプション

タスクバーにアイコン表示

NetSupport クライアントアイコンはアプリケーションバーではなくシステムタスクバ 一に表示されます。

常に手前に表示

NetSupport クライアントアイコンが他のウィンドウで隠れてしまうことがあります。このオプションを設定すると、常に手前に表示され、クライアント側のユーザーは誰かが ビューしていることが常にわかるようになります。

アイコンを表示しない (タスクパーにアイコンを表示しません)

タスクバーのクライアントアイコンを非表示にするには、このボックスにチェックを付け ます。

サイレンモード (更新しません)

クライアントに気付かれずに、コントロールがクライアントに接続し、ビューできます。 サイレントモードが選択されていない場合、クライアントの画面とマウスアイコンはー 瞬点滅し、クライアントに接続が確立され、画面を見られていることを通知します。

ビープに内臓スピーカーを使用する

初期設定では、チャットやビュー機能でコンピュータ間に送信される警告ビープは、 PC の内蔵スピーカーから聞こえてきます。コンピュータのサウンドカードを使ってスピ ーカーからビープを鳴らす場合は、このボックスのチェックを外します。

ビュー中はビープを鳴らす(毎 n 秒)

コントロールがクライアントの画面を表示している間は、ビープを鳴らします。

テキストのカスタマイズ

このプロパティシートは、クライアントのコンピュータ側に表示させるカスタマイズ可能なメッセージを追加することができます。

 ● プロトコル ● セキュリティ ● リモ・トコントロール ● クライアントのインターフェイス ● クライアント設定 ● 満示デキストのガスタマイズ 	テキストを表示: パージョン情報ポックス内(A):	
	OK キャンセル	∧ルブ

<u>テキストを表示</u>

バージョン情報ボックス

クライアントのバージョン情報ボックスに表示するメッセージを設定します。

コントロールを設定する

この章では ...

コントロールの設定方法を紹介します。

個別のプロファイルを作成し、各コントロールユーザーがクライアント PC 側 で特定の操作だけ実行できるようにします。

コントロールを設定する

NetSupport では、コントロールプログラムの動作を完全に設定することができます。

コントロール設定にアクセスするには

- 基本オプション(全般、プロトコル、セキュリティ、スタートアップ)は、コントロール ウィンドウのメニューから{ネットワーク}{環境設定}を選択します。 または 設定オプションの設定アイコンをクリックします。
- 2. 現在のプロファイル用の設定ダイアログが表示されます。

コントロール設定オプションは次のカテゴリー分けされています:

一般

コントロールの ID 情報を設定します。

プロトコル

コントロールがネットワークで使用する通信プロトコルを指定します。

セキュリティ

NetSupport Manager はコントロールに適用できる豊富なセキュリティ機能を提供します。

スタートアップ

NetSupport Manager の起動時に影響するオプションを設定します。

リモートコントロール

各コントロールのプロファイルに適用するリモートコントロール機能を調整できます。

コントロールインターフェイス

コントロールウィンドウのインターフェースからコントロールが利用できる色々なコンポ ーネントを設定します。

ファイル転送

ファイル転送に関する設定を行います。情報の表示方法を変更したり、危険な操作の 前に確認のメッセージを表示するといった保護機能を設定したりできます。

ファイルの場所

名前付き設定クライアント、グループ、リモートネットワーク、ツールやスクリプトを保存 する場所を指定します。

コントロールセッションのクライアント設定を調整する

複数のクライアントをリモートコントロール中に、コントロールは各クライアントの応答 方法をクライアントに応じて変更できます。例えば、あるクライアントは接続に使用す る回線が低速なので圧縮を使用し、別のクライアントでは圧縮を使用しないように設 定できます。

ビュー設定を変更するには

- 1. クライアントをビューします。
- ビューウィンドウのメニューから{ビュー} {クライアントの設定}を選択します。
 または

ビューウィンドウのツールバーの [設定] ボタンを選択します。

- 3. 設定ダイアログが表示されます。
- 4. ビューを開始時に有効にするオプションを設定します。
- 注意: クライアント設定を編集する場合は、変更は、現在のコントロールセッション 中のクライアントだけに適用されます。その後も変更した設定を使用する場 合は、[設定情報を更新する] にチェックをします。

一般設定

コントロールに特定の名前を付けるには、このプロパティシートを使用します。何も入 カしなければ、コンピュータ名を使用します。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	環境設定の設定: Standard	
	OK キャンセル	ヘルプ

<u>ID</u>

コントロール名

クライアントに接続した時に識別する、NetSupport コントロールプログラムが使用する名前。

説明

このコントロール設定用の説明を入力します。

ユーザー ID

クライアントに接続する前にユーザー認証が必要な場合、コントロールのユーザーは、 有効なユーザー名とパスワードでログオンする必要があります。ユーザー名を毎回入 カする代わりに、デフォルトの ID をここに設定します。現在の接続中のユーザー名 をデフォルトにするために、%userdomain%\%username% という値が使用で きます。

メッセージ送信

題名

メッセージ送信ダイアログにカスタマイズした題名を追加することができます。

プロトコルオプション

ネットワーク上のクライアントに接続する前に、必ず使用するプ通信ロトコルを選択し、 設定してください。通信プロトコルを使用する前に、オペレーティングシステムで通信 プロトコルを必ず設定してください。

TCP/IP 接続設定

◆ 全般 ● ◆ フロトコル ■ FTCP/IP HTTP	_TCP/IP(C) ✓ TCP/IP を使用する □ ホスト名で接続する (DHCP/WINS)	ポート(P): 5405
🥜 開始		
		テスト(T)
	検索	
	クライアントを検索するときはサブネットを使用する	設定(S)
	画面の一斉送信の設定	
	✓ 画面の一斉送信とファイル配布を有効にする(E)	設定(S)

TCP/IP

TCP/IP を使用する

コントロールが TCP/IP プロトコルを使用するようにするには、このボタンにチェックを します。このプロトコルはインターネット、LAN、WAN で使用されます。TCP/IP クライ アントに接続するには、クライアントが受信するポート番号を指定しなくてはなりませ ん。

ポート

この値は、TCP/IP クライアントとのすべての通信に使用します。NetSupport の初 期設定で登録されているポートは 5405 です。必要に応じて、異なるポート番号で動 作するように、お使いのネットワーク上のクライアントを設定できます。他の NetSupport コントロールユーザーがどのポートにクライアントが設定されているか 知らなくてはならないので付加セキュリティにもなります。クライアント作成時または 接続時にポート番号を指定することもできます

注意: クライアントがコントロールに接続するための初期設定で登録しているポート は 5421 です。

ホスト名で接続する (DHCP/WINS)

通常、コントロールは名前によってではなく IP アドレスでクライアントに接続します。 DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用している環境では、クラ イアントコンピュータが再起動するたびにアドレスが変更されるので望ましくありませ ん。このオプションにチェックをすると、コントロールはホスト名で接続するようになりま す。

テスト

インストールされている TCP/IP スタックのバージョンと設定を確認するには、このボ タンを押します。現在の状態と一緒に Winsock のバージョンが返信されます。

検索

クライアント検索時はサブネットを使用する

複数のサブネットまたはアドレスでネットワークを運用している場合は、有効なネット ワークごとにブロードキャストアドレスを設定する必要があります。検索を実行すると、 それらのアドレスにブロードキャストメッセージを送信します。

画面の一斉送信の設定

一斉画面送信とファイル配布を有効にする

生徒に画面送信やファイル配布を実行する時は、画面情報/ファイルは各生徒マシン に順番に送信されます。画面送信とファイル配布の一斉送信を有効にすると、画面 情報とファイルはすべてのマシンに同時に送信されるようになります。ネットワーク帯 域限られたネットワーク環境または大多数のマシンに一斉配信するときに、これはパ フォーマンスの向上を提供します。

NetSupport で発生したネットワークトラフィック全体を軽減する反面、この機能を使 うことでお使いのネットワーク上に追加ブロードキャストパケットが発生することになり ます。この機能をお使いになる前にネットワーク管理者とご相談ください。

注意: クライアントへのブロードキャストが問題ある場合は、対象のコンピュータにイ ンストールされている NetSupport クライアントのバージョンをアップグレー ドが必要な場合があります。[ブロードキャスト送信のショー] は、バージョン 7.10 かそれ以降のバージョンだけに対応しています。

設定

ー斉画面送信とファイル配布オプションが有効の場合、ブロードキャストアドレスを設 定するにはこのオプションを選びます。ブロードキャスト設定ダイアログがッ表示され ます。

HTTP 接続設定

このプロパティシートは、コントロールが HTTP 経由で通信するように設定できます。 詳しくは、本マニュアルの「NetSupport ゲートウェイでクライアント/コントロールを接 続する」を参照してください。

00	環境設定 の設定: Standard	- Territoria
● 全般 ● グロトコル ● TCP/P ● HTTP: ● ● ● モムリティ ● 開始	- HTTP(<u>H</u>)	ポート(P): 443
		77. F(E)
	〇K キャンセル	「へルプ

HTTP を使用する

HTTP 経由でクライアントと通信をするには、このボックスにチェックをします。

ポート:

HTTP 通信用の初期設定の NetSupport のは 443 です。

注意: バージョン 9.10 で、以前使用していた 3085 に替わりポート 443 が HTTP 通信用の初期設定値として採用されました。今後アップグレードする 予定の既存のお客様用にゲートウェイ設定で保持しています。3085 を引 き続きお使いいただけますが、アップグレード時にコントロールとクライアン トの互換性を確実にするために、手動で HTTP ポートの再設定が必要な場 合があります。

セキュリティオプション

コントロール設定には、次に分類されるセキュリティ機能を用意しています: 設定 イベントログ リプレイファイル

セキュリティ設定

	設定 パスワード(P):		
イベントログ リプレイファイル			設定(S)
9 🎻 リモートコントロール 9 🧽 コントロールのインターフェース	セキュリティキー(K):		(時定(月)
& ファイル転送 & ファイルの場所 ●	 接続するときは追加情報を入力する(I) ✓ 前回接続したユーザー名を使用する(T) ✓ 圧縮を使用する ● 暗号化を使用する 	種類: 56 bit (DES) :

パスワード

この設定情報を使ってコントロールを起動する時に入力する セキュリティパスワード を設定します。コントロールにパスワードを設定するには設定ボタンをクリックして ください。

セキュリティキー

セキュリティキーは、クライアントに接続する際に必ず使用します。ここで入力したキ ーが、クライアントで設定されているのセキュリティキーと一致しない限り、クライアント のコンピュータへのアクセスは拒否されます。キーを変更するには、[設定] ボタンを 押します。NetSupport ライセンスファイルのシリアル番号を設定することもできます。

接続時に追加情報を入力する

このボックスにチェックを付けると、クライアントのコンピュータへの接続理由を入力す る必要があります。送信された理由がクライアント側に表示されます。ユーザー認証 が有効になっているクライアントのユーザーは、接続理由を知ることができます。

前回接続したユーザー名を使用する

名前付き設定で設定されているユーザー名とパスワードを記憶し、この情報を使ってログインします。

圧縮を使用する

圧縮を使用する場合は、このボックスにチェックを付けます。クライアントと通信時は、 (ファイル転送、ビューやチャットなど)送受信されるデータは圧縮されます。データは 暗号化されるので、これはセキュリティとしても使用できます。

暗号化を使用する

暗号化を有効にすると、コントロールとクライアント間で送受信されるすべての情報は 他からは見ることができません。NetSupport は、56 Bit DES から 256 Bit AES までの広範囲な暗号化オプションを用意し、セキュリティとパフォーマンスのバランス を調整できます。暗号化のレベルが高いほど、パフォーマンスが低下する可能性が 高くなります。

イベントログ

このプロパティシートは、NetSupport コントロールがクライアントをリモートコントロ ールしている間に実行した操作をテキストファイルに記録することができます。特定の クライアントがどんな目的でどれくらいの頻度で接続されているのかの履歴を管理す るためにお役立ていただけます。

0 0	環境設定の設定: Standard	
 全般 せまュリティ 投京 パベントログ リブレイクァイル リブレートのインターフェース ファイル応送 ファイルの場所 	□ ログを有効にする(L) ファイルへ出力: point.log	参照(B)
	OK キャンセル	イルプ

ログを有効にする

このボックスをチェックすると、[ファイルに出力] オプションが選択できるようになります。ログを残すように設定すると、その後コントロールがどれかのクライアントに接続 するたびに、そのセッションの動作が記録されます。

ファイルに出力

ログファイル用のパスとファイル名を指定します。NetSupportの初期設定のファイル名は、PCICTL.logです。このファイルは、ローカルコンピュータまたはサーバに保存されます。複数のコントロールが同じログファイルに書き込むことができます。

ログファイルに追加する

このボックスにチェックをすると、NetSupportは、ログファイルの既存のエントリーに 継続して追加します。チェックを外した場合は、既存の項目は上書きされます。

リプレイファイル

リプレイファイル機能はコントロールがリモートコントロール/ビュー中のクライアント側 で実行した画面操作を録画し、再生することができます。

00	環境設定の設定: Standard
 全校 サキュリティ 設定 イペントログ リブレイファイル リモーントロール コートコントロール ファイル転送 ファイル応送 	リプレイファイル(B) リプレイファイル(B) √ ファイルにはクライアント名を使用する(F) フォルダ(D): 参照(B)
	OK キャンセル ヘルプ

リプレイファイルを録画する

リプレイファイルを録画できるようにするには、このオプションにチェックをします。コン トロールがクライアント PC をビューするたびに、リプレイファイルが作成されます。

ファイルにはクライアント名を使用する

各リプレイファイルを識別するために、クライアント名と録画日時をファイルに使用することができます。またこのボックスのチェックを外すと、0000001.rpf などの連番のファイル名になります。

フォルダ

リプレイファイルの保存場所を指定します。

スタートアップ設定

このセクションは、スタートアップ時の NetSupport Manager に影響するオプション を設定します。クライアント、グループリモートネットワークに接続したり、ブラウズを実 行することができます。コントロール起動し、その次に実行する操作を実行できます。

 	開始時:	
	○ クライアントに接続する(C) TMBWS2 <tcp></tcp>	:
	 グループに接続する(G) 	\$
	 次の文字で検索する(B) 	
	画面受信を開始する(V)	3 1
	切断(D) □ 切断時にはプログラムを終了する これらのオブションは管理者以外の設定情報で使用できます	

<u>スタートアップ</u>

クライアントに接続する

コントロール起動時にクライアントに接続したい場合は、このボックスにチェックをしま す。クライアントリストのすべてのクライアントがここに、TEST1 < TCP>のように名前 とプロトコルが一緒に表示されます。

グループに接続する

コントロール起動時に、グループのクライアントに接続したい場合は、このボックスに チェックをします。この一覧に作成したすべてのグループが表示されます。

次のクライアントを検索する

コントロールを起動すると、与えられた情報を元に検索を実行します。接続可能なす べてのクライアントを見つけるには、クライアント名の一部を入力するか、何も入力し ないでください。見つかったクライアントはツリービューの [検索] フォルダに表示され ます。

ビューの開始

上記の接続ボックスのどれか1つにチェックをすると、コントロール起動時のビューオ プションを設定できます。次の3つのボタンを有効にするには、このボックスにチェック をします。これにより、クライアント画面の表示方法を選択できるようになります。

ウォッチ

コントロールを起動すると、クライアントをウォッチモードで開始します。

シェア

コントロールを起動すると、クライアントをシェアモードで開始します。

コントロール

コントロールを起動すると、クライアントをコントロールモードで開始します。

切断

管理者権限のない設定の場合に限り、次のオプションが使用できます。

切断するとプログラムを終了する

クライアントから切断したら、コントロールを強制的に終了するには、このボックスにチェックをします。このオプションは、上記のスタートアップ時の接続をオプションと併用 して使用できます。

リモートコントロール設定

次のプロパティシートは、クライアントのコンピュータをビューした時のリモートコントロ ールオプションの動作を設定できます。

ビュー

ビュー設定

このプロパティシートは、クライアントのコンピュータを表示するための設定オプション を用意しています。クライアント設定を編集している場合は、そのクライアントに接続し ている間だけ変更内容が適用されます。

🥐 ファイルの場所	 ビデオスキップ Num Lock の同期を無効にする 	 ゴランク画面 	
	既定のモード(D)	〔共有	;)
	展入家小ビ(M) スクロールの速度(A) スクロール	の遅延(5) マウスの遅延	im.
	オフ 最速 最小	最大最小	無限

<u>オプション</u>

画面合わせ

チェック時はビューウィンドウの表示内容をフレーム内に収まるように自動的に縮小します。

終了時に切断

チェック時はビューウィンドウを閉じるとクライアントから切断します。

スクロールバー

このオプションをチェックしないことでビューウィンドウのスクロールバーを表示しない ことができます。わずかな作業スペースが得られるのでオートスクロールを使用時に は便利です。

圧縮を使用

チェック時は、クライアント画面をビュー時に圧縮を行います。このチェックボックスの ステータスは一般設定でも反映されます。

壁紙

チェック時は、ビュー時にクライアントの壁紙を表示します。通常、パフォーマンス向上 のためビュー時は無効となります。このオプションの選択により画面更新速度に影響 すると思ってください。

ビデオスキッピング

コントロールのビューパフォーマンスのコンフィグ設定が可能です。クライアント画面 が連続的に更新しない限り、コントロールに表示中の画面を更新しません。ボックス のチェックを外すとコントロールで表示中のクライアント画面を更新するようになります。

ナムロック の同期禁止

ノート PC をコントロールとしてお使いの場合、このオプションにチェックをしてください。 キーボード挙動が標準のデスクトップ PC に一致します。.

オートクリップボード

有効時は、速い方法でデータコピーを行ないます。Use ショートカットキー(Cmd-C & Cmd-V) を使ってコントロールとクライアントパソコン間で切り取り、貼り付けを自動的に行ないます。

ブランクスクリーン

どのビューモードでもコントロールユーザはクライアント側の画面をブランクすることができます。

注意: ブランクスクリーン設定にチェックの入った別のコントロールですでにブランク スクリーンモードで接続されているクライアントに接続を試みた場合、オリジナ ルのコントロールは切断されます。これはを権限の高いユーザーの背後で権 限の低いユーザーが接続してしまうのを防止するためです。

<u>デフォルトモード</u>

デフォルトはクライアントをビューすると、シェアモードで開始します。違う方法でビューを開始したい場合は、リストからスタイルを変更してください。

最大色数

クライアント接続時の表示色数を制限することが可能です。これによりクライアント/コ ントロール間の通信量が軽減されます。 標準の 16 色パレットしか使用しないアプリ ケーションを使用を使用する場合は表示色数を 16 色に減らしてください。

注意:より高いレベルの色数の設定を防止するため、ここで設定した色数はクライア ント設定の設定で上書きされます。クライアント側でこれらのレベルを変更す るには、拡張設定を起動してリモートコントロール - ビューを選択して必要な レベルに最大色数を変更します。

オートスクロール速度

クライアント画面をビューすると、コントロールはマウスがウィンドウの端に移動すると 自動的にスクロールを行います。コントローラーをスライドさせてスクロール速度を調 節できます。

スクロール遅延

オートスクロールが有効な時、スクロールが動作するまでの遅延時間を変更できます。 マウスポインタをウィンドウ端付近に移動するとすぐにスクロールするようにしたい場 合は、スライドレバーを最小の方向に動かしてください。しばらく経過してから自動スク ロールが動作するようにしたい場合は、最大の方向に動かしてください。

マウス遅延

コントロールモードまたはシェアーモードでクライアントの画面を制御するときに、コン トロールからクライアントへ送信されるマウス位置の更新情報のレートを調整できます。 スライドレバーを無限の方向へ動かすと、更新間隔が長くなり、帯域幅を節約できま す。最小の方向へ動かすと、コントロールのマウス操作はすぐにクライアントのパソコ ンに反映されるようになります。ダイヤルアップ接続時や遅いネットワークをお使いの 場合は、「最小」に設定すると有効です。

コントロールインターフェイス設定

このプロパティシートは、名前付き設定情報で利用できる異なるコンポーネントを設定できます。

インターフェイス設定

このプロパティシートは、名前付き設定情報で利用できる異なるコンポーネントを設定できます。

● ○ ○	環境設定の設定: Standard	
 ◆ 全般 ● セキュリティ ● フトートコントロール ● コントロールのインターフェース ● 酸素 ● ファイル転送 ● ファイルの場所 	 設定(S) クライアントリストを隠す グループリストを隠す グートウェイを隠す 快爽を振効にする ✓ 内蔵スピーカーをピープに使用する 自動グループと隔す 空の自動グループを隔す(+) 	 クライアントリスト表示のみ グループリスト表示のみ グートウェイ表示のみ 切断メッセージを表示する サイレント切断
	OK キャンセル	

設定

クライアントリストを隠す

セキュリティ上の理由でクライアントリストの表示を無効にするには、このオプションに チェックをします。[クライアント] フォルダは、ツリービューから削除され、クライアント を操作するためのすべてのメニューやツールバーの項目は削除されます。

グループリストを隠す

セキュリティ上の理由ですべてのグループの表示を無効にするには、このボックスに チェックをします。 [グループ] フォルダはツリービューから削除され、それに関連する すべてのメニュー項目やツールバーボタンは削除されます。

ゲートウェイを隠す

ゲートウェイ機能を無効にするには、このボックスにチェックをします。[ゲートウェイ] フォルダがツリービューから削除されます。

検索を無効にする

検索機能を無効にするには、このボックスにチェックをします。[検索] フォルダがツリ ービューから削除され、ツールバーボタンと関連するメニュー項目が削除されます。

ビープに内蔵スピーカーを使用

デフォルトでは、チャットやビューなどの機能はクライアント間の PC の内蔵スピーカ ーから警告音を鳴らします。スピーカーを通してサウンドカードを使用したほうがいい 場合があります。そんな場合は、このボックスのチェックを外し t ください。

自動グループリストを隠す

ツリー表示から自動グループ機能を削除することができます。

空の自動グループを隠す

関連するクライアントが存在しない自動グループを隠すことができます。

クライアントリスト表示のみ

クライアントリストを変更できなくするには、このボックスにチェックをします。クライアン リストは、編集や新しいクライアントを作成できません。

グループリスト表示のみ

グループリストを変更できなくするには、このボックスにチェックをします。ツリービュー 内の**グループ**項目は利用可能ですが、編集や新しいグループを作成できません。

ゲートウェイ表示のみ

ゲートウェイの一覧を変更できなくするには、このボックスにチェックをします。とゲート ウェイリストを変更する能力を削除します。ツリービュー 内のゲートウェイ項目はその まま利用可能ですが編集や新しいオブジェクトを作成できません。

切断メッセージを表示する

チェックをすると、切断時にコントロールユーザーはクライアントにメッセージを入力す るように要求されます。これは、クライアントのコンピュータのユーザーに、コントロー ルのユーザーがコンピュータの使用を終了し、どんな操作を実行したかを通知する時 に非常に便利です。

サイレント切断

セッション中にクライアントが誤って切断してしまった場合、コントロールのコンピュー タ側にダイアログが表示されます。 警告ダイアログを無効にするには、このオプション にチェックをします。

機能

このプロパティシートは、コントロールで利用できる機能を制限することができます。

 ● セキュリティ ● リモートコントロール ● コントロールのインターフェース ● 設定 ● 数定 ● ブッイルの場所 	 制限する機能の選択(3) フィイル転送を集然にする チャットを無効にする メッセージの送信を無効にする スッセージの進名を無効にする フィイル管理を構成にする フィイル管理を構成にする ブログラムの実行を無効にする リモートコマンドプロンプトを能効にする 重載したクライアントの確認を無効にする 	 再起動を無効にする ログオフを無効にする リブレイ再生を無効にする レジストリ編集を無効にする ブランク画面を無効にする ジステム構成の取得を無効にする
	リモートコントロール(B) ○ 利抑を無効にする ○ 共有を無効にする	□ 観察を無効にする
	ОК ++>>±и	<u>へルブ</u>

制限する機能の選択

該当するチェックボックスをオンにして、次の機能をコントロールに表示しないようにすることができます:

- ファイル転送
- チャット
- メッセージの送信
- ブロードキャストメッセージ
- ファイルの管理
- 重複したクライアントの確認*
- クイック接続
- リモートコマンドプロンプト
- 再起動
- ログオフ
- リプレイ
- 実行
- レジストリの編集(このオプションはデフォルトで禁止になっています。)
- ブランク画面
- システム構成の取得

* クライアントを検索すると、NetSupport は、クライアントの詳細が重複していな いかどうかを確認し、特定のアドレスの最初に見つかったクライアントだけ接続し ます。お使いのネットワーク構成によっては、重複した ID を使用している場合が あるので、このオプションを使って確認を無効にできます。

リモートコントロール

次の項目は、NetSupport Manager のコントロールの異なるビュー機能を無効に します。

- コントロール
- シェア
- ウォッチ
- ショー
ファイル転送設定

このプロパティシートは、ファイルを転送するための設定オプションを用意しています。 情報の表示方法を変更したり、危険な操作の前に確認のメッセージを表示するといっ た保護機能を設定できます。

クライアント設定を編集している場合は、このプロパティシートで変更した内容は、そのクライアントに接続している時だけ適用されます。コントロールの既定値として変更したい場合は、[設定情報を更新する] ボックスにチェックをしてください。

環境設定の設定: Standard	
設定 表示オブション(D) ○ システム/隠しファイルを表示す ○ ファイルの詳細を表示 ○ ファイルなだけを表示	õ(H)
確認(C) ✓ フォルダのコピー ✓ フォルダの削除	 ✓ ファイルの上書き ✓ ファイルの削除
✓ 圧縮する ✓ 差分ファイル転送	
✓ コピーが終了すると進捗を自動的	に閉じる
✓ 設定情報を更新する(U): Standard	
	 環境設定 UNCA: Standard 設定 表示オフション(D) システム/線しファイルを表示 ファイルの詳細を表示 ファイルの詳細を表示 グァイルをおりを表示 確認(C) グァルグの副除 ダ フォルグの副除 ダ 圧縮する ダ 差分ファイル転送 ダ コピーが検了すると進捗を自動的 ✓ 設定情報を更新する(U): Standard

表示オプション

システム/隠しファイルを表示

システムおよび隠しファイル属性のファイルをすべて表示するには、このボックスにチ ェックをします。初期設定では、このオプションにチェックは付いていません。

ファイルの詳細を表示

このオプションを選択するとリスト内のそれぞれのファイルに対し情報を複数のカラム で表示します。ファイルサイズ、更新日時、属性そしてショートファイル名を表示します。 ファイル転送ユーザーインターフェイスのリストスタイルボタンを使って、この設定とフ ァイル名のみを切替えることができます。

ファイル名だけ表示

このオプションを選択するとファイルリスト内のファイル名だけを表示します。ファイ ル詳細よりもより多くのファイルを同時に表示できます。ファイル転送ユーザーインタ ーフェイスのリストスタイルボタンを使って、っこの設定と詳細設定に切り替えることが できます。

確認

フォルダやファイルの削除といった危険な操作を実行する際は、コントロールに確認 ダイアログを表示させることができます。不意な事故によるデータの損失を回避でき ます。ユーザーインターフェースに十分慣れている場合、必要に応じてこれらのオプ ションを無効にすることができます。初期設定では、すべての確認項目が有効になっ ています。

フォルダのコピー

フォルダ構造をコピーする前にユーザー確認をします。

フォルダの削除

フォルダ構造を削除する前にユーザー確認をします。

ファイルの上書き

チェックが付いている場合、既存のファイルを上書きする前に確認ダイアログを表示 します。チェックが付いていない場合でも、システム/隠しファイルを上書きしようとする と確認メッセージが表示されます。

ファイルの削除

1 個またはそれ以上のファイルを削除する前に確認ダイアログを表示します。

圧縮する

圧縮を使用するようにするには、このボックスにチェックをします。クライアントと通信 をする時は、送受信されるデータはアシュクされます。データは暗号化されるのでセ キュリティの1つとしてお使いいただけます。

デルタファイル転送

デルタファイル転送は、変更のない情報を転送しないことでパフォーマンスを向上させ ます。転送されるファイルが既に転送先のフォルダに存在する場合、ファイルの変更 された部分だけを更新します。

初期設定では、デルタファイル転送が有効になっています。

コピーが完了したら、進捗画面を自動的に閉じる

完了時にファイル転送の進捗ダイアログを自動的に閉じます。ファイル転送の結果を 確認したい場合は、このオプションのチェックを外します。

<u>設定情報を更新する</u>

現在選択している設定情報を更新するには、このボックスにチェックをします。

ファイルの場所設定

このプロパティシートは、クライアントとグループファイルの場所の設定オプションを提 供しています。どのコントロールコンピュータからでもコントロールユーザーがファイル にアクセスできるようにユニークなコントロールファイルをユーザに持たせることがで きます。

クライアント設定を編集している場合は、このプロパティシートで変更した内容は、そのクライアントに接続している時だけ適用されます。

0 0	環境設定の設定: Standard					
 ◆ 全般 ● ◆ セキュリティ ● ◆ リモートコントロール ● ◆ コントロールのインターフェース ◆ ファイル応送 ◆ アマイル応送所 	クライアントファイル(E) Client.nsm 変更(C) グループファイル(G) group.nsm 変更(t)					
	□ 共有データファイルを使用する					
	ОК ++уди ^	ルプ				

クライアントファイル

すべてのコントロールのクライアント詳細の場所を指定するには、[参照] を使用しま す。ファイルを読み取り専用にするには、コントロール設定のユーザーインターフェイ ス設定で [クライアントリスト表示のみ] にチェックをします。

グループファイル

すべてのプロファイル化されたコントロールのグループ詳細の場所を指定するには、 [参照]を使用します。ファイルを読み取り専用にするには、コントロール設定のユー ザーインターフェイス設定で [グループリスト表示のみ] にチェックをします。

共有データファイルを使用する

このオプションにチェックをすると、他のユーザーとデータファイルを共有することができます。

クライアントを管理及び構成する

この章では ...

クライアント PC のデータベースの管理、クライアントを部門や地域にグループ分け、クライアントのプロパティのカスタマイズ方法について説明します。

新しいクライアントを追加する

NetSupport Manager はすべての既知のクライアントのデータベースを維持します。 これらは、ツリービュー内の [クライアント] フォルダに保存され、検索を実行せずに これらのクライアントに接続できる手軽な方法です。

名前、連絡先などのクライアントに関する追加情報を確認することもできます。

クライアントリストデータベースを増やすには

 [検索] 機能を使って接続可能なクライアントを検索し、接続します。クライアント に関する必要な情報すべてが、[すべてのコンピュータ] フォルダに保存されま す。または

コントロールのメニューから{クライアント}{新規作成}を選択して手動で情報を 入力します。

- 2. 以下の情報を入力するように要求されます:
 - クライアントの名前
 - 使用しているネットワーク通信プロトコル
 - クライアントのネットワークアドレス

この時点で、いくつかの追加情報をそのクライアントの詳細に保存させることが可能 です。追加で保存できる情報は:

- コントロール側で表示させる別の名前
- クライアントに関するテキスト説明文
- 連絡先の名前
- 連絡先の電話番号

新しく作成されたクライアントは、[すべてのコンピュータ] フォルダに表示され、クライ アントリストビューに表示されます。

クライアントを削除する

クライアントリストのデータベースを管理、維持する一部として、効率よく管理するには、 コントロールのツリービュー内に累積される使わなくなったクライアントを削除する必 要があります。

データベースからクライアントを削除するには

- 1. ツリービュー内の [すべてのコンピュータ] フォルダを開いて対象となるクライア ントを選択します。
- クライアントを右クリックして、[削除]を選択します。
 または
 コントロールウィンドウのメニューバーから{クライアント}{削除}を選択します。
- 3. クライアントの削除ダイアログが表示されたら、削除内容を確認します。

クライアントの名前を変更する

クライアントの物理的名前を表示させるのではなく、NetSupport は、コントロール側に表示される別の名前を設定することができます。

例えば、クライアントが動作しているコンピュう一タに「Sales 2」という説明を割り当て ます。このコンピュ-タが経理部に異動した場合、「Accounts 3」に名前を変更するこ とができます。

クライアントの名前を変更するには

- 1. ツリービュー内の [すべてのコンピュータ] フォルダを開き、対象となるクライア ントを選択します。
- コントロールウィンドウのドロップダウンメニューバーから{クライアント} {プロパティ} {詳細}を選択します。
 または
 クライアントを右クリックして{プロパティ} {詳細}を選択します。
- 注意: これは、コントロールに保存されている名前だけ変更します。他のコントロー ル側に表示される名前や検索を実行して表示されるクライアントの物理的 名前には影響しません。

<u>[詳細] タブ</u>

クライアントコンピュータの責任者に関する詳細と説明がここに表示されます。これらのフィールドはすべてオプションです。

表示名

コントロール側に表示されるクライアントを覚えやすい名前にするには、[表示名]を 使用します。初期設定では、物理的なクライアントの名前が使用されます。

説明

クライアントの説明や、後で役に立つ注意書きなどを入力します。

連絡先

クライアントのコンピュータのメンテナンス責任者の名前を入力します。

電話番号

上記で設定したクライアントのコンピュータの責任者の連絡先の電話番号です。

Mac/Ethernet アドレス

クライアントのパソコンの Mac/Ethernet アドレス が表示されます。このアドレス は決して変更しないでください。

クライアントのプロパティの設定

クライアント用のプロパティシートを完成させることで、クライアントのコンピュータやそのユーザに関する追加情報を保存できます。この情報は詳細表示で表示したときに 確認できます。リストビューを詳細表示したときに、どの項目を表示するかは、コントロ ールウィンドウのメニューバーから{表示}{列の設定}機能を使ってどの列を表示さ せるかを選択できます。

クライアントのプロパティを変更するには

- 1. ツリービュー内の[すべてのコンピュータ] フォルダを開き、対象となるクライアン トを選択します。
- クライアントを右クリックして、{プロパティ}を選択します。
 または
 コントロールウィンドウのメニューバーから{クライアント}{プロパティ}を選択します。
- 3. クライアントのプロパティシートが表示されます。

クライアントのプロパティシートには一般、詳細、システム情報の3種類のタブがあります。システム情報タブは、クライアントに接続したときだけ表示されます。

一般タブは次の情報を表示します:

- 物理クライアント名と場所
- クライアントのネットワークアドレス
- クライアントで使用している通信プロトコル
- ショー/巡回の対象にクライアントを含めるかどうか

詳細タブは次の情報を表示します:

- このクライアントのコントロール側で表示さたい名前
- このクライアントに関する説明
- 連絡先
- 電話番号
- Mac/Ethernet アドレス

システム情報:

- クライアントで動作している NetSupport Manager のバージョン
- 動作しているオペレーティングシステム

新しいグループを作成する

NetSupport は、簡単にアクセスや管理ができるようにクライアントをグループにまと めることができます。例えば、経理部のすべてのクライアントを「経理」という1つのグ ループにグループ化することができます。そのグループに所属するサブグループを作 成することもできます。経理部が複数の営業所にある場合、東京営業所や大阪営業 所のサブグループを作成することができます。

注意: クライアントは、ツリー表示の自動グループフォルダ内に予め指定した基準、プ ラットフォームやクライアントのバージョンでもグループ化されます。これらの グループは固定されていて、変更することはできません。

グループを作成するには

- 1. 対象となるクライアントと接続したことがあり、クライアントリストに保存されててい てグループ化できる状態かどうかを確認します。
- コントロールのメニューから{グループ}{新規}を選択します。
 または
 コントロールツールバーの[新規]アイコンをクリックして、[グループ]を選択します。
- 新しいグループにクライアントを追加または削除する手順を案内する新規グループの作成ウィザードが表示されます。

サブグループを作成する

- 1. 対象となるクライアントと接続したことがあり、クライアントリストに保存されててい てグループ化できる状態かどうかを確認します。
- 2. サブグループを所属させたいグループを選択します。
- コントロールのメニューから{グループ}{新規}を選択します。
 または
 コントロールツールバーの[新規]アイコンをクリックして、[グループ]を選択します。
- 新しいグループにクライアントを追加または削除する手順を案内する新規グループの作成ウィザードが表示されます。
- **注意**: サブグループに所属するクライアントはその上の階層のグループにも表示されます。

グループにクライアントを追加/削除する

NetSupport は、簡単に管理できるようにクライアントを一つのグループにすることができます。

例えば、営業部の関連するコンピュータが数台あるとします。あらかじめ用意してグル ープに個々のクライアントを配置することで、そのグループに所属するすべてのメンバ ーに対して、ワンタッチで操作を実行することができます。

クライアントをグループに追加するには

- 1. リストビューでクライアントを選択します。
- コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{グループに追加}を選択します。
- 3. クライアントを追加したいグループを選択し、[追加]をクリックします。

または

- 1. [すべてのコンピュータ] フォルダを開き、クライアントを追加したいグループを選 択して右クリックします。
- 2. {プロパティ-メンバータブ}を選択します。
- 3. グループに追加したいクライアントを選択し、[追加]をクリックします。

または

- 1. リストビューのクライアントを選択します。
- 2. 右クリックして、[グループに追加]を選択します。
- 3. クライアントを追加したいグループを選択し、[追加] をクリックします。

または

- 1. リストビューのクライアントを選択します。
- 2. 左クリックして追加したいグループにクライアントをドラッグ&ドロップします。

グループからクライアントを削除するには

- [すべてのコンピュータ] フォルダを開き、クライアントを削除したいグループを選択し右クリックします。
 または
 コントロールウィンドウのメニューから{グループ}{プロパティ-メンバータブ}を 選択します。
- 2. グループから削除したいクライアントを選択し、[削除]をクリックします。
- 3. グループメンバーの整理整頓が完了したら、[OK] をクリックします。

注意:別のグループにクライアントを移動させる場合は、クライアントアイコンを右ク リックして新しいグループにドラッグ&ドロップします。所属していたグループ の全階層から、そのクライアントは削除されます。

グループのプロパティを設定する

グループを作成したら、グループ名、メンバーの説明を確認または変更する必要があるかもしれません。

グループプロパティを編集するには

- 1. ツリービューから対象となるグループを選択します。
- グループを右クリックして [プロパティ] を選択します。
 または
 コントロールウィンドウのメニューから{グループ}{プロパティ} を選択します。
- 3. グループプロパティシートが表示されます。

グループプロパティシートには、2 種類のタブがあります:

一般

グループの名前と説明を表示します。またクライアントの表示アイコンをカスタマイズ することもできます。

メンバー

グループ内のクライアントを一覧表示します。

インターネット経由で NetSupport を使用する

NetSupport は既存のファイアウォール設定を変更せずにウェブベースのリモートコントロール機能を実現する インターネットゲートウェイ 機能を提供しています。

インターネット経由でクライアントをリモートコントロールするには

- 1. コントロールとクライアント双方をインターネットに接続します。
- 2. コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{クイック接続}を選択します。
- クイック接続ダイアログで TCP/IP アドレス経由の接続を選択し、接続したいクラ イアントの IP アドレスを入力します。接続が確立すると、普段のようにコントロー ルできます。

Jane :

DHCP

基本的に、ISP にモデム経由で接続しているコンピュータは、接続するたびに違う IP アドレスが割り当てられます。そのため、接続するたびにコンピュータのアドレスを確 認する必要があります。コマンドライン "ipconfig" を使って確認します。

テクニカルレファレンス

この章では ...

NetSupport の特性をより深く理解するためのテクニカル情報をご紹介します。

圧縮を効率よく使用する

圧縮は、有効、無効または常時の3種類の異なった設定に設定できます。圧縮を有 効にすると、画面データやファイル転送の操作は圧縮されます。しかし、転送されるフ ァイルが既に圧縮されて保存されている(Zip ファイルや特定のグラフィックファイルな ど)場合、NetSupport は、64K バイト以降は圧縮しないようになっています。[圧縮 を使用する] が有効になっている場合、ファイルの内部構造に関わらず圧縮します。 これは、ファイルを暗号化する際に非常に役に立ちます。

情報の圧縮と非圧縮は、時間がかかります。ダイヤルアップ接続では、モデムの転送 速度と比較すると、圧縮と非圧縮にかかる時間は最小限です。しかし、ローカル LAN 環境だと、コントロールまたはクライアントのどちらかが低スペックのコンピュータの場 合、データの圧縮、転送そして非圧縮にかかる時間は、情報を直接送信するよりもは るかにかかります。このような場合は、圧縮しないほうがいいかもしれません。

ファイルや画面情報が効率よく圧縮されているか測定するには、ヘルプボックス内の [圧縮] タブを使うことができます。圧縮することで、クライアントとの接続がスピードア ップしているかどうかを判断するには、サイズがはっきりしたファイルをコピーして時間 を計測します。

リモートハードウェア/ソフトウェアのシステム構成

サポートチームにとって、問題解決プロセスの重要な部分は、コンピュータに搭載され ているオペレーティングシステムだけでなく、ハードウェアの仕様とコンピュータにイン ストールされているアプリケーションも知ることです。このような理由から、 NetSupport Manager は、離れたコンピュータの完全なシステム構成を提供する ためのツールを用意しています。

クライアント PC のハードウェアや環境に関する約 50 項目以上に及ぶ情報に特化した精巧なハードウェア/ソフトウェアの報告に加え、メモリ内のアプリケーション、インストール済みのホットフィックス、動作しているプロセスおよびインストールされているサ ービスの詳細を取得できます。

リアルタイムの報告だけでなく、NetSupport Manager は、リモートでサービスを停止または開始、アプリケーションやその他を終了するためのツールやセキュリティ許可も用意しています。

クライアントのシステム構成を取得するには

- 1. コントロールウィンドウのリストビューで対象となるクライアントを選択します。
- 2. コントロールウィンドウのメニューから{クライアント}{システム構成}を選択しま す。

または

クライアントアイコンを右クリックして、[システム構成]を選択します。

または

コントロールツールバーの [アクション] アイコンをクリックし、[システム構成] を 選択します。

または

クライアントの画面を表示している場合は、ビューウィンドウのツールバーから [システム構成] インベントリアイコンを選択します。

3. 選択したクライアントのシステム構成ウィンドウが表示されます。

注意:

- Mac クライアントでシステム情報を実行する場合、ハードウェアおよびソフトウェア報告だけを取得します。
- クライアントが選択されていない場合は、ローカルコンピュータのシステム構成 を取得します。
- 一度取得すると、様々なクライアントのシステム構成は、ローカルの NetSupport Manager のプログラムフォルダ内に保存されます。後日情報 を参照するために目的の PC に接続する必要はありません。リストビューから 目的のクライアントを選択して [システム構成] オプションを選択するだけです。 システム構成を最新の情報に更新したい場合は、目的の PC に接続する必要 があります。

システム構成ウィンドウ

システム構成ウィンドウは、NetSupportのシステム構成機能が提供する豊富な情報にアクセスするためのメインインターフェイスです。



ハードウェア構成 XP-SP3

更新日時: 07 March 2013 11:15:02

ステム全般	名前:	XP-SP3
	製造元:	Microsoft Corporation
	システム:	Windows XP Professional
	サービスパック:	Service Pack 3
	バージョン:	5.1.2600
	登録ユーザー名:	testing
	メモリ容量:	64 Mb
	ドメイン/ワークグループ:	WORKGROUP
	モデル:	Virtual Machine
	シリアル番号:	76487-112-0189145-22303
	組織:	NetSupport
	システム言語:	English (United States)
	システムタイムゾーン:	(GMT) GMT Standard Time
	ログオンユーザー名:	testing

ウィンドウは、次ように構成されています:

タイトルバー

システム構成を表示させるリモートクライアントの PC の名前、またはクライアントが 選択されていない場合はローカルコンピュータの名前が表示されます。

メニューバー

メニューバーは、様々なツールや設定ユーティリティを呼び出すことのできるドロップ ダウンメニューの集合体で構成されています。

ツールバー

ツールバーは、使用頻度の高いタスクやツールのショートカットの集合体で構成され ています。ドロップダウンメニューでの操作の手間を省き、アイコンをダブルクリックす るだけでタスクや機能を実行できます。マウスカーソルをアイコンに重ねるとその機能 の簡易説明が表示されます。

ハードウェアタブ

特にクライアント PC のハードウェアまたは環境に関する約 50 項目以上に及ぶ情報 を取得し、スピーディな問題解決を支援するために必要なすべてのキー情報を提供し ます。

```
🌠 ハードウェア 👩 ソフトウェア \ominus ホットフィックス 📰 アプリケーション 🧔 プロセス 🔅 サービス
```

```
ハードウェア構成 XP-SP3
```

更新日時: 07 March 2013 11:15:02

システム全般	名前:	XP-SP3
	製造元:	Microsoft Corporation
	システム:	Windows XP Professional
	サービスバック:	Service Pack 3
	パージョン:	5.1.2600
	登録ユーザー名:	testing
	メモリ容量:	64 Mb
	ドメイン/ワークグループ:	WORKGROUP
	モデル:	Virtual Machine
	シリアル番号:	76487-112-0189145-22303
	組織:	NetSupport
	システム言語:	English (United States)
	システムタイムゾーン:	(GMT) GMT Standard Time

注意: NetSupport Manager に収録されているシステム構成機能は、TCP/IP で動作するように設計されています。TCP/IP がインストールされていない 場合は、ネットワークアダプタの詳細は表示されません。

ソフトウェアタブ

選択したクライアント PC のソフトウェアの構成報告を提供します。インストールされて いる各製品名、製造元、製品アイコン、バージョンナンバー、関連するセットアップファ イルを含みます。

🊘 ハードウェア 🔂 ソフトウェア 🕒 ホットフィックス 🔚 アブリケーション 🧊 プロセス 🔅 サービス 更新日時: 07 March 2013 11:15:02 ソフトウェア情報 XP-SP3 説明 会社名 フォルダ名 バージョン ファイル名 Address Book Microsoft Corporation Outlook Express 6.00.2900.5512 wab.exe 10.1.3.23 Adobe Reader Adobe Systems Incorporated Reader AcroRd32.exe Buy Video Converter Ultimate 7.3.0.529 vc buy.exe Google Chrome Application 25.0.1364.152 chrome.exe Google Inc. Connection Wizard 6.00.2900.5512 icwconn1.exe Internet Connection Wizard Microsoft Corporation Internet Connection Wizard Microsoft Corporation Connection Wizard 6.00.2900.5512 icwconn2.exe Internet Connection Wizard Microsoft Corporation Connection Wizard 6.00.2900.5512 inetwiz.exe Internet Explorer Microsoft Corporation Internet Explorer 8.00.6001.18702 iexplore.exe 6.00.2600.0000 isignup.exe Internet Signup Microsoft Corporation Connection Wizard Microsoft (R) Address Book 6.00.2900.5512 wabmig.exe Microsoft Corporation Outlook Express Import Tool Microsoft Corp. Msninstaller 9.10.0375.1 Msn Installer Application msninst.exe

ホットフィックスタブ

NetSupport は、選択したクライアントのコンピュータにインストールされている 'ホ ットフィックス' の状態をスキャンしてチェックします。ホットフィックス ID がステータ スと一緒に一覧表示されます。ホットフィックス ID は、修正内容を確認できる適切 なマイクロソフトのサポートページにリンクしています。

🌇 ハードウェア 📑 ソフトウェア \varTheta ホットフィックス 🎦 アプリケーション 👹 プロセス 💿 サービス

ホットフィックス XP-SP3

更新日時: 07 March 2

ホットフィックス (クリックで詳細を表示します)

✓ <u>KB2447568-IE8 Windows XP SP0</u>
 ② <u>KB2467659 Windows XP SP4</u>
 ✓ <u>KB2559049-IE8 Windows XP SP0</u>
 ✓ <u>KB982381-IE8 Windows XP SP0</u>
 ✓ ホットフィックスが正常に確認されました。
 ※ ホットフィックスの確認に失敗しました。
 ④ 確認できません。

各フィックスの状態を確認すると、NetSupport は3種類のアイコンのどれかを1 つを表示します:

フィックが存在し、最新であることを確認します。



ファイルが存在しないもしくは最新バージョンではありません。フィックスを 再インストールすることをオススメします。

? NetSupport は、状態を確認するために必要な情報を集めることができません。

[アプリケーション] タブ

検出プロセスには、OS のアプリケーションの追加と削除に頼らずに目的のシステム で現在動作しているアプリケーションを特定するための NetSupport の新しい "イン テリスキャン" テクノロジを使用しています。情報を取得するには目的の PC に接続 する必要があります。コントロールは、必要ならば一覧から選択したアプリケーション を閉じることを選択できます。

📷 ハードウェア	🗟 ソフトウェア 🥥 ホットフィッ	クス 🎦 アプリケーション	🌍 プロセス 🔅 サー	22
名前 🔺		状態		
Calculator PC Remote Co Control Control Contro	LAPTOP3 ontrol Software with Remote D epad	作動中 作動中 作動中 作動中		

[プロセス] タブ

目的の PC で現在動作しているプロセスの一覧を表示します。情報を取得するには、 目的の PC に接続する必要があります。コントロールは、必要ならば一覧から選択し たプロセスを閉じることを選択できます。

🌇 ハードウェア 🔂 ソフトウェ	? 🥥 ホットフィックス 🛅 アブリケーション 🥨 プロセス 🔅 サービス
名前 🔺	メモリ使用率
ati2evxx.exe	1,876 K
ati2evxx.exe	1,920 K
calc.exe	2,172 K
client32.exe	7,3 4 8 K
csrss.exe	3,500 K
ctfmon.exe	1,828 K
explorer.exe	19,440 K
gateway32.exe	5,184 K
IEXPLORE.EXE	14,456 K
inetinfo.exe	8,676 K
jqs.exe	1,424 K
jucheck.exe	5,244 K
jusched.exe	3,080 K
lsass.exe	5,200 K
notepad.exe	2,212 K
NSConnSvrUI.exe	6,700 K
Pagent.exe	3,836 K

[サービス] タブ

目的の PC で現在動作しているサービスの一覧を表示します。クライアントに接続していない場合は、このタブは表示されません。[拡張クライアント設定 – アクセス権限] でこの機能を無効にしない限り、コントロールは、必要ならばサービスを停止または開始することができます。

📷 ハードウェア	אילע 🚮 🛃	🔶 ホットフィックス	📰 アプリケーショ	יחל 🥨 ע	セス	・サービス	
名前 🔺	I.	兑8月		状態			
Alerter	Ne	otifies selected users	and compute	停止			
O Application La	ayer Gate Pr	ovides support for 3r	d party proto	停止			
O Application M	anagement Pr	ovides software insta	allation servic	停止			
🕑 Ati HotKey Po	oller			作動中			
🕑 Automatic Up	idates Er	hables the download a	and installatio	作動中			
🔘 Background I	ntelligent Us	ses idle network band	width to tran	停止			
Client32				作動中			
🔘 ClipBook	Er	nables ClipBook Viewe	r to store inf	停止			
COM+ Event	System Su	upports System Event	Notification	作動中			
COM+ Syster	n Application M	anages the configural	tion and track	停止			
Computer Bro	owser M	aintains an updated li	st of compute	作動中			
🕑 Cryptographi	c Services Pr	ovides three manage	ment service	作動中			
DHCP Client	M	anages network confi	guration by r	作動中			
Distributed Lir	nk Trackin M	aintains links betweer	NTFS files wi	作動中			

IP アドレスを理解する

IP アドレスは 4 バイトから成り立っています。1 バイトは 8 ビットから成り立っていて、 1 ビットは1か 0 の値を持つています。これにより、IP アドレスは 0.0.0.0 から 255.255.255.255 までとなっています。

ネットそれぞれの IP アドレスはワークデバイスを確認するネットワークポーションとデ バイスを確認するローカルもしくはホストポーションの二つのポーションに分かれてい ます。.

サブネットマスクはアドレスに関連しているアドレスのネットワークとホストポーションとの間を分けるポジションを定義します。サブネットマスクは4バイトの数値でもあります。1に設定されているサブネットマスク内の各ビットはIPアドレスに対応するビットはネットワークポーションションの一部を寄与します。

IP アドレス 10.10.2.21 とサブネットマスク 255.255.255.0 を持っている場合。

IP アドレス	10		10		2		21	
サブネットマスク	255		255		255		0	
IP アドレスバイナリ	0000101	0.0	000101	10.00	00000	10.00	0010101	
サブネットマスクバイナリ	1111111	1.1	111117	11.1	111117	11.00	0000000	
IP アドレスのネットワークポー ション	0000101	0.0	000101	10.00	00000	10.00	000000	
IP アドレスのホストポーション	0000000	0.0	000000	00.00	00000	00.00	0010101	
IP アドレスのネットワークポー ション	10	•	10		2		0	
IP アドレスのホストポーション	0		0		0		21	
IP パケットを 10.10.2.21 に送作 10.10.2.0 のデバイス 21 にパ ^メ	言するという テットを送信	うこと して	は、実際いるとい	影には うこと	:ネットワ になりま	! — ク ミす 。		

上記の例では、ネットワーク 10.10.2.0 は 0 から 255 までの 256 のホストアドレ スを持つことができます。ただし、IP ネットワークのホストアドレスの先頭と末尾の 2 つは予め使用されています。全てのビットが 0 に設定しているリザーブホストアドレス がネットワークアドレスです。そして 1に設定されているものはブロードキャストアドレ スです。

10.10.2.0 のネットワーク例

10.10.2.0 はネットワークアドレスです。

10.10.2.255 はブロードキャストアドレスです。

IP パケットをネットワークブロードキャストアドレスに送信すると、IP ネットワーク上の それぞれのデバイスはこのパケットを受信します。

NetSupport IP サブネットをブラウズするように Manager コントロールを設定す る時に使用される IP ネットワークブロードキャストアドレスです。

コマンドラインを使用する

NetSupport コントロールプログラム PCICTLULEXE はコマンドラインから呼び出 すことが可能です。様々なパラメータが利用可能です。使用頻度の高い操作のショー トカットを作成することができます。

これらのパラメータを使用すると、例えば、特定のクライアントへの接続を設定し、必要なときに自動的にコマンドを実行するデスクトップアイコンを作成することができます。

NetSupport コマンドラインオプション

コマンドラインにて NetSupport プログラムフォルダから'PCICTLUI.exe'を実行します。次のパラメータを使用します:

/C 名前またはアドレスで特定のクライアントに接続します。

Syntax

IPアドレスで接続の場合:

PCICTLUI /CNN.NN.NN.NN (NN.NN.NN = IP アドレスまたは クライアント名)

クライアント名で接続の場合:

PCICTLUI /CNNNNNN (Where NNNNN = クライアント名)

/V /Cと一緒に使用します。接続したクライアントのビューウィンドウをシェアモー ドで開きます。

Syntax PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /V

/VC コントロールモードで接続しているクライアントのビューウィンドウを開きます。 Syntax

PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VC

/VW ウォッチモードで接続しているクライアントのビューウィンドウを開きます。

Syntax PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VW /VS シェアモードで接続しているクライアントのビューウィンドウを開きます。

Syntax PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VS

- /V オプションと一緒に使用します。コントロールを起動せずにビューウィンドウを開きます。ヴューウィンドウを閉じると、リモートコントロールを終了します。
 Syntax
 PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /V /E
 PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VC /E
 PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VW /E
 PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /VS /E
- /G スタートアップ時にクライアントの定義しているグループに接続します。
 Syntax
 PCICTLUI.EXE /GNNNNN (NNNNN = グループ名)
- /U 使用するプロトコルを指定します。TCP/IP には TC を使用します。 Syntax PCICTLUI.EXE /Unb1 (nb1 = netbios スタック 1)
- /R NetSupport リプレイファイルを表示します。 Syntax PCICTLUI.EXE /RNNNN.rpf (NNNN.rpf = ファイル名)
- /A 選択したクライアントとチャットを開始します。

Syntax PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /A

/ 選択したクライアントのコンピュータからハードウェア/ソフトウェアのシステム 構成を取得します

Syntax PCICTLUI.EXE /CNN.NN.NN.NN /I

読者のコメント

本製品のデザイン、インストール、設定、操作に関してご意見ご要望がございましたら 下記までご連絡ください。

全ての環境で本ソフトウェアの検証を行なうのは不可能なため、不具合などが発生す る場合がございます。大変申し訳ございませんが、そのような問題が発見されました ら至急我々までご連絡ください。解決するために最大限の努力に努めます。

UK & インターナショナル

ホームページ: <u>www.netsupportsoftware.com</u> テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com セールス (UK & アイルランド): sales@netsupportsoftware.co.uk セールス (インターナショナル): sales@netsupportsoftware.com

北アメリカ

ホームページ: <u>www.netsupport-inc.com</u> テクニカルサポート: support@netsupport-inc.com セールス: sales@netsupport-inc.com

カナダ

ホームページ: <u>www.netsupport-canada.com</u> テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com セールス: sales@netsupport-canada.com

ドイツ, オーストリア, スイス

ホームページ: <u>www.pci-software.de</u> テクニカルサポート: support@pci-software.de セールス: sales@pci-software.de

日本

ホームページ: <u>www.netsupportjapan.com</u> テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com セールス: sales@netsupportjapan.com